

令和3年度版（令和2年度実績）

大牟田の教育

～ 教育委員会の権限に属する事務の管理
及び執行状況についての点検及び評価 ～

大牟田市教育委員会
大 牟 田 市

目 次

はじめに	1
点検及び評価の概要	1
教育委員会の活動状況	
教育委員会の概要	3
教育委員会の主な活動実績	4
活動の評価	6
教育施策の推進状況	
(教育委員会関係分)	
令和2年度大牟田市学校教育振興事業計画	
趣旨	8
令和2年度の教育委員会の方針	9
成果指標の令和2年度実績値	10
基本方針に係る成果指標の令和2年度達成状況	11
令和2年度重点事業	13
基本施策Ⅰ 未来を創る児童生徒を育成する特色ある学校教育の展開	
主要施策1 ESDの推進	24
主要施策2 郷土を愛する心の育成	26
主要施策3 英語教育の充実	28
主要施策4 各学校における特色ある教育活動の推進	29
基本施策Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる	
主要施策1 確かな学力の育成	31
主要施策2 豊かな心の育成	34
主要施策3 健やかな体の育成	36
主要施策4 特別支援教育の推進	39
基本施策Ⅲ 学校教育環境の充実	
主要施策1 学校再編整備の推進	42
主要施策2 安全で快適な学校施設の整備	44
基本施策Ⅳ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり	
主要施策1 安心して学べる学校づくり	47
主要施策2 学校・家庭・地域の連携	54
基本施策Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進	
主要施策1 人権・同和教育の推進	57

(市長部局関係分)

「大牟田市まちづくり総合プラン」より	6 2
成果指標の令和 2 年度実績値	6 3
令和 2 年度重点事業	6 4
第 1 編第 4 章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち	
視点 1 次世代を担う子どもをはぐくむ	6 7
視点 2 ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり	7 5
視点 3 学習環境の整備・充実	7 8
視点 4 青少年の問題行動や悩みへの対応	8 2
その他 社会教育委員の会議	8 5
第 1 編第 5 章 スポーツを通して生きがいに満ち、活気にあふれるまち	
視点 1 気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり	8 8
視点 2 スポーツ活動を支える仕組みづくり	9 2
視点 3 スポーツがしやすい環境づくり	9 7
第 1 編第 6 章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち	
視点 1 まちの歴史や文化を知る・学ぶ	1 0 0
視点 2 文化芸術事業の充実	1 0 3
視点 3 文化芸術の環境づくり	1 0 6

学識経験者意見	1 1 0
---------	-------

資 料 編

歴代教育委員等	1 1 6
機構と職員数	1 1 8
教育財政	
令和 3 年度当初予算	1 2 0
令和 2 年度決算	1 2 1
教育費の当初予算・決算推移	1 2 2
各種委員会等	1 2 3
市立学校一覧	1 2 5
市立学校の通学区域	1 2 6
児童生徒数の推移	1 2 9
卒業後の状況	1 2 9
学校別児童生徒・教職員数	1 3 0
学校施設一覧	1 3 2
教育施設一覧	1 3 3

社会教育施設等の状況

地区公民館	1 3 4
多目的活動施設リフレスおおむた	1 4 8
大牟田文化会館	1 5 1
三池カルタ・歴史資料館	1 5 5
図書館	1 5 8
スポーツ施設	1 6 6
指定・登録文化財一覧	1 6 8

はじめに

このたび、大牟田市教育委員会と大牟田市（市長の関係事務部局）は、令和２年度の本市教育行政の実績を報告書「大牟田の教育」にまとめ、この中で教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行いました。

この点検及び評価は、令和２年度における「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」について実施したものであり、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。教育委員会は、この報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価の結果を今後の教育委員会の活動や教育施策の推進に生かすとともに、本市の教育行政が、市民の皆様の御理解のもとで効果的に推進できるよう、取組の充実を目指していきます。

点検及び評価の概要

１ 点検及び評価の対象並びに実施方法

（１）「教育委員会の活動状況」の評価は、教育委員会会議の実施状況や、学校訪問、各種行事、研修会等への参加状況などの教育委員会の活動とその情報発信について実施しました。

（２）「教育施策の推進状況」の評価は、以下の方法で実施しました。

① 教育委員会関係分

ア 「令和２年度大牟田市学校教育振興事業計画」に掲げる基本方針について、「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

イ 「令和２年度大牟田市学校教育振興事業計画」に掲げる各主要施策について、「主な事業」・「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

② 市長部局関係分

大牟田市総合計画「まちづくり総合プラン」に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策について、「主な事業」・「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

なお、市長部局関係分のうち、点検及び評価の対象となるのは、スポーツ及び文化芸術に関する事務などの市長が管理・執行する事務を除いた部分です。具体的には、６１～８１ページ、９７ページ（ただし、学校体育施設開放事業のみ）

及び100～102ページが対象となります。

③ 教育委員会関係分・市長部局関係分共通

令和2年度に重点的に取り組んだ事業については、個票を作成し、内容の充実を図りました。

2 教育に関して学識経験を有する者の知見の活用について

点検及び評価の客観性の確保の観点から地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項が規定する「教育に関して学識経験を有する者の知見の活用」については、教育学を専門とする大学教授に外部評価を依頼し、意見書を作成していただきました。

2〔教育委員会の活動状況〕

1 教育委員会の概要

（１）教育委員会の位置付け

大牟田市教育委員会は、地方自治法に基づく行政委員会であり、市長から独立した執行機関として設置されています。市長が市議会の同意を得て任命した教育長及び４人の委員で構成され、本市の教育行政における重要事項や基本方針について審議決定を行っています。

（２）教育委員会の所管事務

大牟田市教育委員会は、学校教育、社会教育、人権・同和教育等に関する事務を所管しています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づきH24年12月に制定した大牟田市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例により、次の事務については、H25年4月から、市長が管理し、及び執行しています。

- ・スポーツに関すること（学校における体育に関することを除きます。）
- ・文化に関すること（文化財の保護に関することを除きます。）

また、大牟田市教育委員会補助執行規程（H25年3月制定）に基づき、次の事務については、H25年4月から、市長の事務部局の職員が補助執行しています。

- ・文化財の保護及び活用に関すること
- ・社会教育の振興に関すること
- ・地区公民館、リフレスおおむた、図書館、三池カルタ・歴史資料館に関すること など

（３）教育長の職務

教育長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどるとともに、事務を統括し、事務局の指揮監督を行います。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（H27年4月1日施行。以下「法改正」といいます。）により、従前の教育委員会を代表する委員長と事務局を統括する教育長が一本化された新たな教育長を置くこととなり、本市では、法改正をふまえ、H27年4月1日から新たな教育長が任命されています。

（４）委員の職務

委員は、教育委員会会議に出席し教育行政に関する重要事項等についての審議を行っています。また、教育現場の視察、意見・要望等の聴取を行うほか、教育関係の各種行事に出席しています。このような活動を通して、教育における政治的中立性及び継続性・安定性を確保するとともに、広く市民の意向を反映した責任ある教育行政の実現を図っています。

（５）令和2年度における教育委員会の構成（歴代委員等は『資料編』に掲載）

大牟田市教育委員会は、教育長及び４人の委員で構成しています。教育長の任期は３年、委員の任期は４年です（再任可）。教育長職務代理者は、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、その職務を行います。

氏名（職名）	任期
安田 昌則（教育長）	H30年4月1日～R3年3月31日
山本 和夫（委員・教育長職務代理者）	H31年3月13日～R5年3月12日
嶋田 桂子（委員）	H29年6月1日～R3年5月31日
東 秀樹（委員）	H28年3月22日～R2年3月21日 R2年3月22日～R6年3月21日
笹井 葉子（委員）	H30年6月1日～R4年5月31日

2 教育委員会の主な活動実績

(1) 教育委員会会議の実施

原則として、定例会は毎月1回、臨時会は必要に応じて開催し、教育行政に関する重要事項等を適切に審議しました。

R2年度は、定例会を12回、臨時会を4回開催しました。なお、傍聴者は0人でした。

開催日	会議	議案番号	議案名等
4月15日	4月定例	—	報告事項9件（教職員異動状況 等）
5月13日	5月定例	1	大牟田市障害児就学指導委員会委員の任命について
		2	大牟田市いじめ防止対策委員会委員の任命について
		3	大牟田市立学校結核対策委員会委員の任命について
		—	報告事項5件（児童生徒数及び学級数 等）
6月1日	6月定例	4	大牟田市社会教育委員の委嘱について
		—	報告事項2件（令和元年度大牟田市一般会計予算繰越明許費に係る繰越しについて 等） 協議事項3件（令和2年度大牟田市一般会計補正予算（案）について 等）
7月8日	7月定例	5	大牟田市立学校管理規則の一部改正について
		—	報告事項5件（令和2年度学校施設の営繕要望の回答（案）について 等）
8月5日	8月定例	6	令和3年度使用中学校教科用図書の採択について
		7	令和元年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価（令和2年度版「大牟田の教育」）について
		—	報告事項5件（国登録有形文化財（建造物）の登録について 等）
8月24日	第1回臨時	8	大牟田市立学校通学区域審議会委員の任命について
		9	財産の取得についての専決処分に係る議案の作成について（大牟田市立学校学習用端末）
		10	財産の取得についての専決処分に係る議案の作成について（大牟田市立学校学習用端末）
		11	財産の取得についての専決処分に係る議案の作成について（みなと小学校外27校基幹通信設備）
		—	報告事項1件（大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価についての意見書について） 協議事項1件（令和2年度大牟田市一般会計補正予算（案）について）
9月30日	9月定例	12	大牟田市学校運営協議会規則の制定について
		—	報告事項1件（令和2年度（後期）大牟田市障害児就学指導委員会報告書について） 協議事項1件（「教育委員会だより」第16号の紙面について）

10 月 16 日	10 月定例	13	大牟田市立小学校給食調理業務委託者選定委員会の委員の任命について
		—	報告事項 3 件（令和 2 年度市 P T A 連合会「対市陳情」について 等）
11 月 17 日	11 月定例	—	報告事項 4 件（令和 2 年度大牟田市学校教育振興事業計画」重点事業の上半期の進捗状況について 等）
12 月 1 日	第 2 回臨時	14	令和 3 年度大牟田市教職員人事異動方針について
		—	協議事項 1 件（令和 2 年度大牟田市一般会計補正予算（案）について）
12 月 23 日	12 月定例	—	報告事項 1 件（学校給食週間の実施について）
R3 年 1 月 13 日	1 月定例	—	報告事項 3 件（大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第 2 期実施計画における小川町の通学区域について 等）
R3 年 2 月 4 日	第 3 回臨時	15	令和 3 年度教職員の人事について
		16	令和 3 年度市職員の人事について
		—	報告事項 1 件（第 7 3 回成人式の実施状況について） 協議事項 1 件（「教育委員会だより」第 1 7 号の紙面について）
R3 年 2 月 16 日	2 月定例	17	大牟田市立吉野小学校及び大牟田市立上内小学校通学区域の取扱いの変更について
		18	大牟田市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
		19	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例を制定する議案の作成について
		—	報告事項 3 件（令和 2 年度大牟田市立小・中・特別支援学校 P T A 連合会「対市陳情」に対する回答案について 等） 協議事項 3 件（令和 3 年度大牟田市学校教育振興事業計画（案）について）
R3 年 3 月 12 日	3 月定例	20	大牟田市立学校管理規則の一部改正について
		21	令和 3 年度教職員の人事について
		—	報告事項 2 件（地区公民館の在り方の検討について（中間報告）等）
R3 年 3 月 24 日	第 4 回臨時	22	大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設条例施行規則の一部改正について
		23	大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた条例施行規則の一部改正について
		24	大牟田市社会教育指導員設置に関する規則の廃止について
		25	大牟田市文化財保護審議会委員の委嘱について
		26	大牟田市文化財保護条例施行規則の一部改正について
		27	大牟田市立学校の学校医の委嘱について
		28	令和 3 年度大牟田市学校教育振興事業計画の策定について
		29	大牟田市教育委員会事務局事務分掌規則の一部改正について
		30	大牟田市教育委員会補助執行規程の一部改正について
		31	市職員の人事について

（２）総合教育会議への出席

法改正を受けて、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、本市の教育課題や目指す姿を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していくため、市長及び教育委員会で構成される大牟田市総合教育会議がＨ２７年度に設置されました。

Ｒ２年度の会議は１０月２１日に開催され、今後の教育環境の整備についての協議等が行われました。

（３）学校訪問

学校訪問は、市立学校の学校経営、教育活動及び施設・設備等の現状を視察し、教育施策の改善に資することを目的とするもので、授業参観や学校関係者との協議等を通して、学校の教育活動全般について指導・助言を行っています。

Ｒ２年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常の学校訪問より簡略化し、学校関係者との懇談や意見交換等を主な内容として６回実施しました。

（４）各種行事への出席

Ｒ２年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの行事が中止等となる中で、感染状況が比較的落ち着いていた時期に行われた中学校卒業式等の３行事に出席しました。

（５）研修会等への出席

Ｒ２年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、南筑後地区教育委員会連絡協議会等が主催する研修会等は中止されました。

（６）勉強会の開催

会議の円滑な運営と議論の活性化に資するよう、審議や協議を行う議題については、必要に応じ勉強会を開催しています。Ｒ２年度は６回開催しました。

３ 活動の評価

（１）教育委員会会議について

大牟田市教育委員会会議規則に基づき、定例会を毎月１回、臨時会を必要に応じ開催しました。事前に送付された会議資料により理解を深めた上で会議に臨み、常に市民の視点に立って議論を行うよう留意し、教育施策の議論等においては改善点や要望等を示しました。また、必要に応じ勉強会を開催し、事務局に説明を求め、内容の理解に努めました。

今後も、教育委員会として一層責任ある意思決定を行うため、教育施策等の特に重要な議題については、積極的に情報収集を行うとともに、継続的に勉強会を開催していきます。

（２）教育委員会会議以外の活動について

Ｒ２年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止ため、各種行事の多くが中止となり、教育委員会会議以外の活動に大きな制約を受けましたが、今後も、市民の意向を十分に反映した教育行政を展開するため、教育現場の実態把握や関係機関からの情報収集に努めます。

（３）教育委員会活動の情報発信について

教育委員会会議の開催情報については、大牟田市教育委員会会議規則に基づき、開会の日前３日までに市庁舎掲示場に告示するとともに、教育委員会のウェブサイト上にも掲載し周知に努めました。会議は原則として公開しており、会議資料は市情報公開センターでも閲覧できるようにしています。また、ウェブサイト上で会議録を公開しています。

Ｈ２７年度からは、教育委員会活動が市民により一層理解され、関心を持ってもらうため、「教育委員会だより」を発行しています。Ｒ２年度は７月・１１月・３月の３回発行し、情報発信の充実を図りました。

教 育 施 策 の 推 進 状 況

(教 育 委 員 会 関 係 分)

令和２年度 大牟田市学校教育振興事業計画

趣 旨

- 1 本計画は、本市における令和２年度から５年度までの教育の振興に関する基本的な計画である「大牟田市学校教育振興プラン 2020～2023」に基づく令和２年度の事業計画として、予算等との整合を図り策定するものです。
- 2 本計画は、令和２年度の教育委員会の方針、成果指標の令和２年度目標値、令和２年度に特に重点的に取り組む事業（以下「重点事業」といいます。）の内容等について掲載しています。

令和２年度の教育委員会の方針

１ 基本理念

「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方に立ち、本市の学校教育は、持続可能な社会の創り手となる子どもたちの育成を目指します。

２ 基本方針（令和２年度の取組方針）

持続可能な社会を創る「おおむたっ子」の育成

児童生徒が持続可能な社会の創り手となれるよう、夢や目標に向かって意欲的に学ぶ力を育成するとともに、自ら課題を発見し、多様な人々と協働しながら主体的に解決する力を育成します。

そのため、持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）や郷土愛をはぐくむ学習などの特色ある学校教育を展開するとともに、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育を推進します。また、各学校が多様な教育活動を展開することができるよう、学校教育環境を充実させます。

目指す児童生徒の姿 「おおむたっ子」

- | | |
|-----------|----------------------|
| おお | 大きな夢を抱き未来を創る児童生徒 |
| む | 難しいことにもねばり強く取り組む児童生徒 |
| た | たくましい心と体を備えた児童生徒 |

重点事業

- ・ 未来を創るＥＳＤ推進事業
- ・ 英語教育のまち・ＯＭＵＴＡ推進事業
- ・ 「学びに向かう力」育成推進事業
- ・ 「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業
- ・ 子ども大牟田体力検定推進事業
- ・ 人権・同和問題啓発事業

成果指標の令和2年度実績値

1 基本方針に係る成果指標

指標名	指標の概要	現状値 (H30年度)	目標値 (R2年度)	実績値 (R2年度)	達成度 (R2年度)
将来に向けて意欲をもって取り組もうとする中学3年生の割合	将来の夢や目標を持って努力していこうという生徒の割合(中学3年生へのアンケート)	78.6%	80.0% (毎年度維持)	82.6%	103.3%

2 主要施策の成果指標

基本施策	主要施策	指標名	指標の概要	現状値 (H30年度)	目標値 (R2年度)	実績値 (R2年度)	達成度 (R2年度)
I 未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開	1 ESDの推進	ESDを通じた地域や世界への貢献の意識	地域や世界のために頑張りたいという児童生徒の割合 (小学5年生・中学2年生へのアンケート)	89.7%	90.0% (毎年度維持)	91.0%	101.1%
	2 郷土を愛する心の育成	郷土大牟田に対する興味・関心	郷土大牟田のことをもっと知りたいと思う児童生徒の割合 (小学5年生・中学2年生へのアンケート)	89.0%	90.0% (毎年度維持)	92.8%	103.1%
	3 英語教育の充実	英語の授業の理解度	外国語科(英語科)の授業はよく分かると答えた児童生徒の割合 (小学5年生・中学2年生へのアンケート)	84.2%	85.0% (毎年度維持)	88.0%	103.5%
	4 各学校における特色ある教育活動の推進	小中連携・小中一貫教育の取組実績	全小中学校において小中連携・小中一貫教育に関する事業を実施した回数の合計	62回	63回	74回	117.5%
II 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる	1 確かな学力の育成	国語・算数(数学)の授業の理解度	国語・算数(数学)の授業がよく分かると答えた児童生徒の割合 (小学5年生・中学2年生へのアンケート)	90.6%	90.0% (毎年度維持)	90.5%	100.6%
	2 豊かな心の育成	児童生徒の規範意識	人の気持ちがわかる人間になりたいと答えた児童生徒の割合 (小学5年生・中学2年生へのアンケート)	95.6%	95.0% (毎年度維持)	95.5%	100.5%
	3 健やかな体の育成	児童生徒の体力向上の取組実績	子ども大牟田体力検定に参加した児童生徒の割合	90.5%	90.0% (毎年度維持)	94.6%	105.1%
	4 特別支援教育の推進	特別支援教育支援員の配置効果	保護者・学校へのアンケートで、特別支援教育支援員の配置効果を認める割合	100%	100% (毎年度維持)	100%	100%
III 学校教育環境の充実	1 学校再編整備の推進	学校再編に対する地域の理解と協力	歴木中・白光中・田隈中・橘中・甘木中の5校を3校に再編することを目指し、R5年度に2つの学校再編協議会を設置(なお、もう1つはR7年度に設置)	—	—	—	—
	2 安全で快適な学校施設の整備	校舎トイレの洋式化率	市立学校の校舎トイレを洋式に改修した割合	61.5%	63%	62.9%	99.8%
IV 安心して学べ、地域とともにある学校づくり	1 安心して学べる学校づくり	児童生徒の学校生活への満足度	学校に行くのは楽しいと答えた児童生徒の割合 (小学5年生・中学2年生へのアンケート)	89.3%	90.0% (毎年度維持)	90.9%	101.0%
	2 学校・家庭・地域の連携	学校教育活動へのゲストティーチャーの参加数	各学校の教育活動に対し、ゲストティーチャーとして支援をいただいた保護者や地域の方の延べ人数	1,898人 (H28~30年度平均)	1,900人	1,092人	57.5%
V 人権に関する教育・啓発の推進	1 人権・同和教育の推進	人権尊重意識の醸成度	人権・同和教育推進のための諸事業後の参加者アンケートで、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」と答えた人の割合	96.5%	100% (毎年度維持)	93.4%	93.4%

基本方針に係る成果指標の令和２年度達成状況

基本方針

持続可能な社会を創る「おおむたっ子」の育成

児童生徒が持続可能な社会の創り手となれるよう、夢や目標に向かって意欲的に学ぶ力を育成するとともに、自ら課題を発見し、多様な人々と協働しながら主体的に解決する力を育成します。

そのため、持続可能な開発のための教育（E S D）や郷土愛をはぐくむ学習などの特色ある学校教育を展開するとともに、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育を推進します。また、各学校が多様な教育活動を展開することができるよう、学校教育環境を充実させます。

成果指標の達成状況

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
将来に向けて意欲を持って取り組もうとする中学３年生の割合	目標値（％）	80.0	80.0	80.0	80.0	現状値を踏まえ80％以上を目指します。 〔現状値：78.6％（H30年度実績）〕
	実績値（％）	82.6				
	達成度（％）	103.3				

指標達成度に対する要因分析

- ・本施策の成果指標のR２年度の実績値は82.6％となり、目標を達成することができました。その要因として、次のようなことが考えられます。
- ・児童生徒は、自己の能力を発揮できたときや自己の目標の達成感を味わったとき、新たな目標を持ち、主体的に行動します。本市は、国連が定めたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に資することを目指し、持続可能な社会の創り手をはぐくむ教育であるE S Dの深化を図ってきました。各学校は、学校の特色や児童生徒の発達段階に応じ、E S Dで重視する「自ら考え行動する」児童生徒の育成を目指した教育活動を展開しました。教育委員会は、各学校の支援を行うとともに、E S Dに関する様々な全市的事業に取り組みました。その結果、児童生徒は、目標を持つことの大切さについて理解するとともに、目標に向けて頑張ったことによる達成感を味わうことができたと考えられます。
- ・これと併せ、児童生徒に「確かな学力（知）」、「豊かな心（徳）」、「健やかな体（体）」をバランスよくはぐくむとともに、その個性や能力を伸ばすため、各学校は、児童生徒の興味・関心や能力に応じた教育活動を展開し、教育委員会はその支援を行うとともに、様々な全市的事業に取り組みました。その結果、児童生徒それぞれが自己のよさを様々な場面で発揮でき、達成感を味わうことができたと考えられます。

今後の方向性

- ・これまでの継続的な取組の結果がR２年度目標の達成につながったと考えられることから、今後も、E S Dをはじめ、郷土愛をはぐくむ学習や英語教育など、本市の特色ある教育の充実を図るとともに、知・徳・体のバランスが取れた教育を推進することにより、児童生

徒が達成感を味わい、新たな目標と将来に向けた意欲を持てるようにしていきます。

- ・また、各学校が特色ある教育活動を展開することによって、児童生徒一人ひとりが自己のよさを発揮し、目標を持って主体的に学ぶことができるよう支援していきます。
- ・本施策を構成する事業の重点化を図り、効果的・効率的に取り組んでいきます。

令和２年度重点事業

施策体系		事業名	ページ
基本施策	主要施策		
I	1	未来を創るE S D推進事業	1 4
I	3	英語教育のまち・OMU T A推進事業	1 6
II	1	「学びに向かう力」育成推進事業	1 8
II	2	「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業	2 0
IV	1		
II	3	子ども大牟田体力検定推進事業	2 2
V	1	人権・同和問題啓発事業	2 3

令和2年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	未来を創るESD推進事業（24ページを参照）				
	基本施策：I 未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開				
	主要施策：1 ESDの推進				

目的
本市の特色あるSDGs（持続可能な開発目標）／ESD（持続可能な開発のための教育）の取組をさらに発展・拡充させ、持続可能な社会の創り手としての児童生徒の育成を目指します。また、ESDの先進都市・交流拠点都市として、SDGs／ESDを市全体に広めるとともに、「SDGs／ESDのまち・おおむた」を全国や世界に発信します。

事業内容
1 「大牟田市ユネスコスクールの日」（1月17日）の制定と「ユネスコスクール・ESDのまち おおむた宣言」を記念する「ユネスコスクールSDGs／ESD子どもサミット」を開催し、児童生徒による学習成果の発表や他地域の学校との交流を行います。また、「大牟田市ユネスコスクール週間」の期間中に各学校が行うESDの学習発表会等を支援します。 2 各学校のSDGs／ESDの充実を図るため、次のことに取り組みます。 （1）各学校が行う世界遺産学習、環境学習、福祉学習、国際理解学習等の教育活動、全国や世界のユネスコスクールとの交流活動の充実を支援します。 （2）市立学校の児童生徒を対象に、自然体験などのESD体験講座を開催し、体験を通して主体的に考え行動する態度を育成します。 3 学校教育において、地域のSDGsの達成に貢献しつつ、全国レベルで持続可能なESDの推進体制を構築するため、次のことに取り組みます。 （1）先進的にESDに取り組んでいる全国各地の教育委員会の参画により創設した「SDGs／ESD教育委員会コンソーシアム」と連携し、「ユネスコスクール・SDGs／ESD教育委員会サミット」・「ユネスコスクール・SDGs／ESD全国フォーラム in おおむた」を開催するなど、ESD推進のための政策的支援の枠組み作りを進めます。 4 国際連合大学（以下「国連大学」といいます。）が認定・推進する地域のESDの拠点である「RCE」（Regional Centre of Expertise on ESD）として、次のことに取り組みます。 （1）国連大学と連携し、SDGs／ESD関係者を対象とする研修会を開催します。 （2）国内及び世界のRCEとの交流を進めます。 5 市民を対象とする講演会、各種講座、展示会等を開催し、SDGs／ESDに対する理解を促進します。 6 啓発リーフレットや各学校の実践事例集の作成・配布、ホームページやSNSの活用等を通して、全国や世界に向けて本市のSDGs／ESDの取組を発信します。あわせて、市民向けの啓発（『広報おおむた』へのSDGs／ESD特集記事の掲載等）を行います。

指標名	目標値等	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
ESDを通じた地域や世界への貢献の意識	目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	地域や世界のために頑張りたいと答えた小学5年生と中学2年生の割合（H30年度実績・89.7%）を、毎年度90%以上を維持することを目標とします。
	実績値（%）	91.0				
	達成度（%）	101.1				

取組実績
1 7月の定例校長会で「ユネスコスクール・SDGs／ESD子どもサミット」での学校の発表について周知し、発表校の募集を行いました。R3年1月16日（土）に開催したサミット（無観客）で、小学校6校、中学校2校が発表しました。さらに、各学校が実施するユネスコスクール週間の企画に関する助言等の支援を行いました。 2 各学校のユネスコスクール・ESDの充実を図るため、次のことに取り組みました。 （1）各学校では、学校の特色に応じたESDのテーマを設定して、特色ある教育活動を展開しました。学校からの要請に応じ、校内研修に指導主事を派遣し、ESDに係る理論研修や実践のポイント等について指導助言を行いました。 （2）11月7日（土）に延命公園においてESD体験講座（環境学習）「ネイチャースクール」を開催しました。28人の児童が参加し、自然環境の大切さ等について学びました（5月30日（土）予定分は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。 3 学校教育において、地域のSDGsの達成に貢献しつつ、全国レベルで持続可能なESDの推進体制を構築するため、次のことに取り組みました。

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加対象者を市内の教職員等に限定し、10月31日(土)に「ユネスコスクール・SDGs/ESD 実践交流会」(名称も当初の予定から変更)を開催しました。実践交流会には約200人の教職員やESD関係者が参加し、SDGs/ESDについての講演、分科会での実践交流等を通して、SDGsの達成を目指したESDの充実について学び合いました。なお、全国各地で先進的にESDに取り組んでいる教育委員会の参加による「ユネスコスクール・SDGs/ESD 教育委員会サミット」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。
- さらに、市内の学校においてESDの中核となる指導的教員の養成を図る「ESD マスターティーチャー養成講座」を年間3回開催しました。市内の16人の教職員が参加し、SDGs/ESDに関する理論と実践の研修や授業実践の交流を行い、学びを深めました。
- 4 国連大学が認定するRCEとして、次のことに取り組みしました。
- (1) R3年1月16日(土)の「ユネスコスクール・SDGs/ESD 子どもサミット」では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、RCE関係者に来場いただくことはできませんでしたが、動画を通して本市の取組について指導助言を受けました。
- (2) 日本国内のRCE団体(本市を含む8団体)の会議(オンライン会議)を8月27日(木)と9月10日(木)に開催しました。また、9月10日(木)に開催されたRCEアジア太平洋地域会合(オンライン会議)に参加しました。会議の中では、今後、地域社会でESDを実践する拠点として取り組む内容を協議しました。
- さらに、R3年2月18日(木)に国内RCE実務者会議(オンライン会議)が開催され、大牟田市の取組の紹介や他のRCEの取組の情報交流が行われました。実務者会議後に開催されたRCEユース会議に市内の3人の教職員が参加して実践等の交流を行いました。
- 5 各種団体の会合等に指導主事が随時出向き、SDGs/ESDについての講話を17回行いました。また、校区まちづくり協議会等の地域講座を9回開催し、91人が受講しました。企業等の各種団体等の講座を8回開催し、187人が受講しました。講座の中では、本市が進めるSDGs/ESDや市立学校の取組等を紹介するなど、啓発を行いました。
- 6 「おおむたSDGsマップ」やポスターの配布、ホームページ、SNS等により、随時、本市のESDの取組を紹介し、市民への啓発を図りました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	1,506 千円 千円)				1,506

問題点及び課題

各学校のESDをリードしていく教員を今後も養成するとともに、市民団体や地元企業等との連携を図り、各学校が重点とするSDGsの達成を目指したESDの充実を図っていく必要があります。

今後の方向性(具体策)

「大牟田版SDGs(Ver.2)」を参考に各学校が目指すSDGsを重点化して、さらなるESDの充実を図り、その取組を「SDGs/ESD 実践交流会」や「ユネスコスクール・SDGs/ESD 子どもサミット」を通して取組の充実を図ります。

評 価

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、必要に応じてオンライン等を活用して、事業を展開することができ、成果も上がっています。今後も各学校のSDGsの達成を目指したESDの充実を図るとともに、本市のSDGs/ESDの取組を国内外に発信していきます。

令和2年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	英語教育のまち・OMUTA推進事業（28ページを参照）				
	基本施策：I 未来を創る児童生徒を育成する特色ある学校教育の展開				
	主要施策：3 英語教育の充実				

目的						
児童生徒が英語を実践的に使う機会を設けることで、英語が世界中の人々とコミュニケーションをとる有効な手段であることを実感できるようにするとともに、外国の言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。また、取組を広く全国に発信し、「英語教育のまち・OMUTA」をPRします。						
事業内容						
- 各小学校が夏季休業期間中に6年生を対象に実施する「イングリッシュ・サマースクール」に「イングリッシュ・アドバイザー」を派遣し、学習の充実に支援します。 - 中学生を対象に、次の2コースの「イングリッシュセミナー」を開催します。 - 大牟田の「宝もの」を外国人に英語で説明する「子どもイングリッシュボランティアガイド」育成コース 「英語版子ども大牟田検定（仮称）」の検定問題作成チャレンジコース - 各学校の英語教育の発表の場「オオムタ・E1グランプリ」を開催し、小学生コンテスト（スキット（寸劇））と中学生コンテスト（スピーチや暗唱）を行い、優れた発表者を表彰します。 - 新学習指導要領を踏まえた質の高い英語教育の取組として、小学生と中学生の各コースの「ジョイフル・イングリッシュ・タイム」を夏季休業期間中に開催し、英語を「聞く」「話す」「読む」「書く」を取り入れた学習や、双方向のコミュニケーション学習の機会を提供します。 - 小学校と中学校各1校を研究校「スーパー・イングリッシュ・スクール」に指定し、両校の連携のもと、新学習指導要領を踏まえた先進的な英語教育の研究と実践を進めます。 - 小学校において、大牟田市動物園を活用した特色ある英語教育を実践するとともに、全国に発信します。 - 小学校では英検5級の、中学校では英検3級の受験を希望する児童生徒に検定料の一部を補助します。 - 授業づくりの理論と実践、英会話等に関する教職員研修を実施します。 - 本市の英語教育の取組を教育委員会ホームページや『広報おおむた』等に掲載するなどにより、保護者や市民等への情報発信の充実に図ります。						
指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
英語の授業の理解度	目標値（%）	85.0	85.0	85.0	85.0	外国語（英語）科の授業はよく分かったと答えた小学5年生と中学2年生の割合（H30年度実績・84.2%）を、毎年度85%以上を維持することを目標とします。
	実績値（%）	88.0				
	達成度（%）	103.5				

取組実績						
- 各小学校での「イングリッシュ・サマースクール」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため夏季休業期間を短縮したことにより実施しませんでした。英語の指導のサポートを行う「イングリッシュ・アドバイザー」を7月から8月までの間に各小学校に派遣し、5・6年生の外国語科の授業で、英語を「聞く」「話す」「読む」「書く」の学習の充実に図りました。 「イングリッシュセミナー」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催しませんでした。「英語版子ども大牟田検定（仮称）」の検定問題については、セミナーとは別の方法でR2年度中に作成することとしました。学校を通して、児童生徒に「OMUTAの宝」に関する問題案を募集し、応募のあったものの中から選定を行って作成しました。 6月に小学校と中学校に対し、「オオムタ・E1グランプリ」への参加を募集しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各学校の発表は行わず、各学校が作成し提出した動画（全28本）を審査の対象として、12月に審査・表彰を行いました。 「ジョイフル・イングリッシュ・タイム」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催しませんでした。これに代えて、実用英語技能検定（英検）に関心がある児童生徒を対象に「英検チャレンジスクール」を3回（7月18日（土）・8月22日（土）・9月12日（土））開催しました。小学5・6年生82人、中学2・3年生20人が参加し、イングリッシュ・アドバイザーの指導を受けながら、「聞く」「話す」「読む」「書く」の問題に挑戦しました。 「スーパー・イングリッシュ・スクール」に指定した明治小学校において、R2年度から教科になった外国語科についての研究を行っています。11月9日（月）に講師を招いて拡大校内授業研修会を実施し、市内各校に研究内容を発信しました。また、明治小学校と白光中学校の英語担当者での情報交換等も行い、小中連携した英語教育の推進を図りました。						

- 6 11月に、大牟田市動物園と小学校（明治小学校及び大牟田中央小学校）が連携し、現地で、園内の動物について英語で紹介したり案内したりするなど、子どもの興味・関心を活かした英語教育を行いました。
- 7 10月と1月に、英検5級を受験する小学校5・6年生と英検3級を受験する中学生2・3年生を対象に、検定料の一部（小学生1,000円、中学生1,950円）を補助しました。小学生225人と中学生106人が受験しました。
- 8 1月に、小・中・特別支援学校の教職員が参加した拡大授業研修会を開催し、外部講師から、具体的な授業づくりの理論と実践について指導を受けました。
- 9 本市の英語教育の取組を教育委員会ホームページやSNS等で随時紹介するなど、保護者や市民への情報発信を行いました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越	893 千円 千円)				893

問題点及び課題

新学習指導要領の全面实施（小学校：R2年度、中学校：R3年度）に伴った学習活動の充実を図り、英語を使う実践力の向上が必要です。また、英検検定料の一部補助の継続を含め、児童生徒の興味・関心に応じた学習機会を継続的に提供することが必要です。

今後の方向性（具体策）

新学習指導要領の全面实施と合わせ、小学校段階での英語を「読む」「書く」の学習が充実するよう、学習展開の充実を図ります。また、R2年度に参加希望が多かった「英検チャレンジスクール」の開催、「オオムタ・E1グランプリ」の開催（内容や方法の変更）、英検検定料の一部補助について取組を継続します。

評 価

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、必要に応じて事業内容・方法等を工夫して実施でき、成果も上がっています。今後も、児童生徒の英語を使う実践力の向上に向けて事業の充実を図っていきます。

令和2年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	「学びに向かう力」育成推進事業（32ページを参照）				
	基本施策：Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる				
	主要施策：1 確かな学力の育成				

目的

本市のこれまでの学力向上の取組の成果と児童生徒の学習状況等を踏まえ、さまざまな学習機会の提供や指導方法の工夫改善等を行い、児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能と思考力・判断力・表現力等、主体的に学習に取り組む態度を育成します。

事業内容

- 各小・中学校が夏季休業期間中に実施する強化学習「サマースクール」や放課後等を実施する補充学習「アフタースクール」に学習サポーターを派遣し、個に応じたきめ細かな指導を支援します。
- 小学校高学年児童及び中学校生徒を対象に、国語・算数（数学）等の難問や応用問題等にチャレンジする「チャレンジスクール」を開催します。
- 小・中学校の児童生徒（個人やグループ）による理科や社会科等の学習に関する自由研究のコンテスト「学びのグランプリ」を開催し、教科別・学年別に優れた発表者を表彰します。
- 各学校や小・中連携のもと中学校区単位で行われる家庭学習習慣の定着の取組を支援します。
- 学力向上に関する校内研修等を行う学校に「学力向上アドバイザー」を派遣し、授業改善に向けた指導助言などの支援を行います。
- 本市の学力向上の取組を教育委員会ホームページや『広報おおむた』等に掲載するなどにより、保護者や市民等への情報発信の充実を図ります。

指標名	目標値等	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
主体的に学習に取り組む態度	目標値（%）	84.0	84.0	84.0	85.0	学習の進め方を自分で考えながら、ねばり強く取り組んでいると答えた小学5年生と中学2年生の割合（R元年度実績・83.2%）を、R5年度に85%とすることを目標とします。
	実績値（%）	84.8				
	達成度（%）	101.0				

取組実績

- 各小・中学校が夏季休業期間中に5日間程度予定していた強化学習「サマースクール」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しませんでした。放課後等を実施している補充学習「アフタースクール」等に学習サポーターを派遣し、児童生徒個々の実態に応じたきめ細かな指導を行いました。
- 夏季休業期間中に予定していた「チャレンジスクール」と1月に予定していた「学習チャレンジ大会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しませんでした。
- 「学びのグランプリ」については、小・中学校に対し、夏休みの自由研究の作品の中から理科や社会科等の学習に関する作品を募集し、それぞれ多数の応募の中から、小学校6点、中学校6点の作品を選出しました。R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、児童生徒による発表は行わず、表彰のみ行いました。
- 毎月11日（“いい日”）を「家庭学習の日」と定め、各中学校区において小学校と中学校が連携し、家庭学習強化週間の設定を行うなどの取組を展開し、家庭学習習慣の定着に取り組みました。
- 各学校の校内研修等へ指導主事を派遣し、主題研究による各学校の重点目標の達成に向けた取組や学校の学力向上プランの充実やPDCAサイクルによる授業改善サイクルの確実な実施についての指導助言を行いました。R3年2月25日（木）に学力向上実践報告会を開催し、小・中学校が連携して学力向上を図る取組について研修を行いました。
- 本市の学力向上に係る教育委員会や各学校の取組を教育委員会ホームページやSNS等で随時紹介するなど、保護者や市民への情報発信を行っています。今後も情報発信の充実を図ります。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	1,072 千円 千円		220		852

問題点及び課題

児童生徒一人ひとりの学力の実態に応じたきめ細かな学習指導の充実や、新学習指導要領の全面実施（小学校：R2年度、中学校：R3年度）の趣旨を生かした主体的・対話的で深い学びを推進する学習指導を実現するための教師の指導力向上が課題です。

今後の方向性（具体策） 「強化学習」や「補充学習」への学習サポーター派遣を継続し、個に応じたきめ細かな指導を行います。また、児童生徒の学習への興味関心を高めるとともに、各学校が作成する「学力向上プラン」の充実や授業改善の確実な実施についての指導助言を行い、学力向上を図る取組を実施していきます。
評 価 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、必要に応じて事業内容・方法等を工夫して実施でき、成果も上がっています。今後も、児童生徒の学力の向上に向けて事業の充実を図っていきます。

令和2年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業（34・48ページを参照）				
	基本施策：Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる				
	主要施策：2 豊かな心をはぐくむ				
	基本施策：Ⅳ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり				
	主要施策：1 安心して学べる学校づくり				

目的
児童生徒が日常的にいじめや不登校の問題を考えたり仲間づくりを推進したりすることで、「いじめを許さない・いじめのない学校づくり」や「みんなが笑顔で登校する学校づくり」に関する考えを深め、「思いやり・親切」のある楽しい学校生活、豊かな人間関係づくりを推進します。

事業内容

- 児童会・生徒会の代表児童生徒が集う「児童会・生徒会リーダーミーティング」を年2回（夏と冬）開催します。夏は中学校区ごとに、冬は全学校が一堂に会して開催し、「思いやり・親切」に係る各学校の取組の交流、良好な活動事例の全学校での共有、共通して実践する内容の採択等を行います。
- 「思いやり・親切」に係る各学校独自の取組や全学校共通の取組に対する支援を行います。
- 5月と10月を「思いやり・親切」に係る重点月間とし、全学校において次のような取組を行います。
 - 5月に各学校の児童会・生徒会において楽しい学校づくりの取組を話し合い、学校の取組を決定するとともに、友だちを大切にするポスターや標語の募集を開始します。
 - 10月に各学校の児童会・生徒会において楽しい学校づくりの取組の振り返りを行い、友だちへの関わり方の良かった児童生徒を紹介したり、認め合ったりする活動を行います。
 - 各学校で募集が行われた標語とポスターについては、10月に優れた作品を表彰します。また、学校代表の「友だち応援隊」については、1月の「大牟田地域教育力向上推進大会」で取組を紹介します。
- 各学校の児童会・生徒会が中心となって取り組む次のような広報啓発活動に対する支援を行います。
 - 楽しい学校づくりの実践を紹介するチラシやポスターの作成・配布等
 - 保護者や地域住民に向けた情報発信

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
友だちを大切にする意識	目標値	3.7	3.7	3.7	3.7	学校生活アンケート（1～4の4段階で評価）での「友だち関係」の項目のH30年度の平均値3.7ポイント（小学5年生と中学2年生が対象）を毎年度上回ることを目標とします。
	実績値	3.72				
	達成度（%）	100.5				

取組実績

- 1回目（7月～8月）の「児童会・生徒会リーダーミーティング」では、児童会・生徒会の代表児童生徒が、挨拶運動やメルシーアーチに係る取組の交流や「思いやり・親切」についての意見交換を行いました。2回目（12月～1月）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各学校での実施としたことで、次年度に全学校で共通して実践する内容の採択はできませんでしたが、それに代えて、各学校における成果と課題についての協議や次年度に取り組む内容の確認を行いました。
- 6月に児童会・生徒会担当者会を開催し、「思いやり・親切」に係る各学校の取組について情報の共有を行うなどして、各学校の児童生徒主体の取組の充実を図りました。
- 重点月間（新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月まで臨時休業としたことから、6月と10月に変更）では、以下の取組を行いました。
 - 6月には、各学校の児童会・生徒会において「思いやり・親切」のある楽しい学校づくりの取組を決定し、具体的な取組を開始しました。また、各学校に対して「思いやり・親切」に係るポスターと標語の募集を行いました。
 - 10月には、これまでの取組の振り返りを行うとともに、特に友だちへの関わり方のよかった児童生徒（個人やグループ等）を紹介し、お互いに認め合う活動（「友だち応援隊」等）を行いました。
 - 各学校で募集が行われた標語とポスターの審査を10月12日（月）に行い、優れた作品の表彰を同月26日（月）に行った後、学校や公民館等に掲示しました。各学校の「友だち応援隊」については、1月の「大牟田地域教育力向上推進大会」で取組を紹介する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客・時間短縮等の措置を講じて開催したことから、紹介はできませんでした。
- 各学校では、1月から2月にかけて、児童会・生徒会による自校の「思いやり・親切」取組を紹介するチラシやポスターの配布等を通して、各学校の取組を発信しました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	100 千円 千円)				100

問題点及び課題 今後は、コロナ禍の中でも、市全体の共通実践を採択し、実践の成果と課題を共有する仕組み作りが必要です。
今後の方向性（具体策） 中学校区ごとの取組と学校ごとの取組を市全体で共有し、その上で、市全体の共通実践を採択する仕組みを構築します。そして、この共通実践を各学校で更に具体化することで、取組の充実を図っていきます。また、各学校が保護者や地域に向けて積極的に情報発信するよう支援を継続していきます。
評 価 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、必要に応じて事業内容・方法等を工夫して実施でき、中学校区ごとの取組により、成果も上がっています。今後も、「思いやり・親切」のある楽しい学校づくりに向けて事業を実施していきます。

令和2年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	子ども大牟田体力検定推進事業（36ページを参照）					
	基本施策：Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる					
	主要施策：3 健やかな体をはぐくむ					

目的

児童生徒が主体的・日常的に運動に取り組み、体力を向上させるとともに、健康な生活の実践への興味・関心を持つことができるようにします。

事業内容

- 5月に「体力向上チャレンジカード」と「検定カード」を全児童生徒に配布し、日常的に運動に取り組めるようにします。
- 全ての学校において、年間2回（1回目：6月から12月、2回目：1月から2月）の子ども大牟田体力検定を実施します。児童生徒の到達度合いに応じ、体力認定証を配布します。
- 小・中学校体育科研究会と連携して、8月に全小・中学校の児童生徒の体力テストの結果（各学校5月から7月に実施）を分析し、必要に応じて9月以降の体力検定の行い方や内容を見直すとともに、2月に次年度の体力検定の行い方や種目等の検討を行います。

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の体力向上の取組み実績	目標値 (%)	63.0	63.0	63.0	63.0	運動を大切に思うと答えた小学5年生と中学2年生の割合(H30年度実績:62.2%)を毎年度上回ることを目標とします。
	実績値 (%)	64.8				
	達成度 (%)	102.9				

取組実績

- 6月に「体力向上チャレンジカード」と「検定カード」を全児童生徒に配布しました。各学校では、学校の実態に応じて、「体力向上チャレンジカード」を活用し、児童生徒の1日15分以上の運動実施の定着を奨励しています。また、体育の時間や朝の時間、昼休みの時間等に「検定カード」を活用し、個人縄跳びや集団縄跳びに挑戦する場を設け、児童生徒が自己の記録の伸びを実感しながら、敏捷性や全身持久力などの体力の向上を図るようにしました。
- 4月に各学校に対し、学校の実態に応じて年間2回の子ども大牟田体力検定を実施するよう周知しました。小学校の検定種目は、全校共通で個人縄跳びと集団縄跳びを取り上げています。中学校の検定種目は、より多くの生徒が参加しやすいように、学校や生徒の実態に応じて、個人・集団縄跳び、全校リレー、10分間持久走などを検定種目に取り上げ、それぞれ目標値を設定し、実施するようにしました。体力検定実施後は、各学校からの体力検定に係る児童生徒の到達度合い（体力の認定）の報告に基づき、学校を通して児童生徒に認定証を配布しました。
- 小学校体育科研究会では、10月11日（日）の「スポーツ市民の祭典」で実施される集団縄跳びに合わせて、各小学校での取組を一層奨励していくことを確認しました。中学校体育科研究会との検討では、前年度の取組を継続し、各中学校の実態に応じて種目の選定を行い、生徒の運動の習慣化を図ることを確認しました。また、小中学校体育科研究会と連携し、コロナ禍における児童生徒の体力テストの結果を踏まえた体力検定の行い方や内容について確認を行いました。2月に、R2年度の取組の検証を行い、次年度の体力検定の行い方や種目等の改善について協議を行いました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	94 千円 千円)				94

問題点及び課題

小・中学校において、子ども体力検定に係る取組を通して、運動の喜びや楽しさを味わわせ、さらなる運動の習慣化を図る必要があります。また、中学校においては、各学校の実態に応じた取組の工夫を継続していく必要があります。

今後の方向性（具体策）

小学校においては、運動の習慣化に重点化し、運動の喜びや楽しさを味わわせるため、「体力検定チャレンジカード」の活用の充実を図ります。中学校においては、各学校の体力に係る実態に応じて、学校独自の取組を重点化し、目標達成に向けた取組を継続していきます。

評 価

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、必要に応じて事業内容・方法等を工夫して実施でき、成果も上がっています。今後も、児童生徒の体力向上に向けて事業を実施していきます。

令和2年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：人権・同和教育課)

事業名	人権・同和問題啓発事業（57・58ページを参照）				
	基本施策：V 人権に関する教育・啓発の推進				
	主要施策：1 人権・同和教育の推進				

目的

人権・同和問題に対する理解と認識は、未だ十分とは言えません。学校、家庭、地域、職場など日常生活のあらゆる場を通して、市民一人ひとりが人権・同和問題を自らの課題として捉え、人権・同和問題に対する理解と認識を深めながら、「差別をしない」から「差別をなくす」取組を進めていくことにより、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指します。

事業内容

「第2次大牟田市人権教育・啓発基本計画」に基づき、市民の人権・同和問題に対する理解と認識を深めるための学習・啓発事業を実施します。

- 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）の趣旨を踏まえて、「人権・同和教育講演会」を開催します。
- 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）及び人権週間（12月）の期間中に市内商業施設等において、市・県関係者、人権擁護委員等による人権啓発のための街頭啓発活動を実施します。
- 人権意識の向上のため、「人権学習会」を開催します。
- 職場で行われる研修会等に講師を派遣するほか、ホームページにより各種啓発事業や地域や職場での学習を支援するための啓発資料（DVDや図書等）の案内を行うとともに、「広報おおむた」や「愛情ねっと」等に啓発記事や啓発事業の案内を掲載するなど、情報提供の充実を図ります。

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
人権尊重意識の醸成度	目標値(%)	100	100	100	100	諸事業の参加者アンケートで、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」と全ての人に回答していただくことを目指します。 (H30年度に実施した諸事業の参加者アンケートでの回答割合96.5%を踏まえて設定。)
	実績値(%)	93.4				
	達成度(%)	93.4				

取組実績

- R3年2月7日（日）に大牟田市労働福祉会館において、山口県人権啓発センター事務局長を講師に招き、「ネット人権侵害と部落差別の現実～コロナ禍で問われていること～」と題して、人権・同和教育講演会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。
- 福岡県同和問題啓発強調月間の7月に、大牟田駅とゆめタウン大牟田において、市長・教育長はじめ市・県関係者及び人権擁護委員等による人権啓発のための街頭啓発活動を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。また、12月の人権週間にあわせて、7月に実施する予定であった街頭啓発活動と同内容の活動を実施しました。
- 人権・同和問題に対する正しい認識と理解を深めるため、11月27日（金）に労働福祉会館において人権学習会を開催しました。57人の参加があり、「人権尊重意識の醸成度」は93.4%でした。
- 啓発用DVDについては貸出しを37件行い、地域や職場での研修に活用されました。また、同和問題啓発強調月間の周知及び事業案内については、「広報おおむた」、市ホームページのほか、「FMたんと」、「愛情ねっと」、フェイスブックを活用し、周知・啓発を図りました。なお、職場等における研修会には、講師を16回派遣し、1,023人の参加がありました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	221 千円 千円)		87		134

問題点及び課題

11月に開催した人権学習会におけるアンケート結果については、若年層（10歳代～30歳代）の参加者の割合が10.6%と低い状況にあります。このため、講演会等に若年層の参加者を増やすことが課題であると思われます。

今後の方向性（具体策）

諸事業を開催するに当たっては、開催テーマに対する理解や認識を深めてもらうとともに、若年層を含めた幅広い市民の参加が得られるように企画、周知することも重要です。このことから、周知方法についても、「広報おおむた」やホームページ、「ちようどよ課」、「FMたんと」等を活用し、広く周知、啓発していきます。

評 価

R2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業があった中、人権学習会における「人権尊重意識の醸成度」については、目標値には届かなかったものの、ほぼ近い数字となりました。今後も、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指して取り組んでいきます。

基本施策Ⅰ 未来を創る児童生徒を育成する特色ある学校教育の展開

持続可能な社会の創り手をはぐくむ教育であるE S Dをさらに推進するほか、英語教育の充実、世界遺産学習や海洋教育の推進、I C Tの活用、義務教育9年間を見通した小中一貫教育の一層の充実、学び直す教育の機会の確保などの特色ある学校教育を展開します。

主要施策1 E S Dの推進

持続可能な社会の創り手として、自分にできることについて考え、実践できる児童生徒を育成するため、ユネスコスクールである全ての市立学校において、世界遺産学習や、環境、国際理解、福祉などのE S Dを推進するとともに、市内外へのE S Dの普及・啓発に取り組みます。

【主な事業】

●未来を創るE S D推進事業〔指導室〕（14・15ページを参照）

○人と未来と世界をつなぐ海洋教育推進事業〔指導室〕

- （1）東京大学との連携による全国の海洋教育促進拠点等との交流
東京大学と連携し、本市の海洋教育推進校（以下「推進校」）と九州・沖縄の海洋教育推進拠点の研究の交流を支援しました。
- （2）推進校が行うカリキュラム開発等の研究の支援
推進校の公開授業に指導主事を派遣したり、学習交流会に講師を招へいしたりする等の支援を行いました。
- （3）推進校が行う公開授業や研究成果の発信、研究紀要の作成の支援
推進校の公開授業や研究成果の発信・交流の支援や、推進校と九州・沖縄の海洋教育推進拠点の学校の児童生徒との学習成果の発表と交流「海洋教育こどもサミット2021 in おおむた」をR3年1月22日（金）に開催しました。
- （4）推進校と市内外の関係機関との連携の支援
推進校が行う校外学習にゲストティーチャーを紹介する等、関係機関との連携を支援しました。
- （5）教職員対象の研修会の開催
「ユネスコスクール・SDGs／E S D実践交流会」に海洋教育の分科会を設定し交流しました。

○ユネスコスクール支援センターを活用したE S Dの推進

「ユネスコスクール支援センター」に専属職員1名を配置し、関係機関等との連携、E S Dに関する資料収集を行うとともに、各学校へユネスコスクールの情報を発信しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
E S Dを通じた地域や世界への貢献の意識	目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を踏まえ90％以上を目指します。 〔現状値：89.7％（H30年度実績）〕
	実績値（％）	91.0				
	達成度（％）	101.1				

【指標達成度に対する要因分析】

各学校は、SDGsの達成に貢献することを目指し、ESDの実践事例集や指導主事の指導助言、さらに、ユネスコスクール支援センターが提供する情報等をもとに、学校の特色や児童生徒の発達段階に応じてESDを推進しました。1月には、ESDの学習成果の発表の場である「ユネスコスクール・SDGs／ESD子どもサミット」や「大牟田市ユネスコスクールの日」の記念イベントにおいて、児童生徒は、自分たちの取組の意義やよさを実感することができました。

また、R2年度は、市内の教職員を対象に「ESDマスターティーチャープログラム」を実施したことで、ESD推進体制を整えるとともに、指導的立場の教職員の指導力の向上を図ることができました。

これらの取組を通して、児童生徒は、自分たちの取組が地域の人々やこれからの大牟田のまちづくりに役立っていることを実感でき、目標の達成に至ることができたと考えます。

【今後の方向性】

今後も、「ユネスコスクール・SDGs／ESD子どもサミット」や教職員研修会等を通して、市内並びに他地域との児童生徒や教職員の交流を推進するとともに、各学校や本市のSDGsの達成に向けたESDの取組に関する情報を市内外に向けて積極的に発信していきます。また、市民対象講座の開催や、企業・団体の会合等に出向いて説明することで、市民のSDGs／ESDに対する理解を促進する取組の充実を図っていきます。

さらに、先進的にSDGs／ESDに取り組んでいる全国の市町の教育委員会や教職員とのネットワークを拡充し、互いに学び合うことで、ESDの一層の充実を図っていきます。

主要施策 2 郷土を愛する心の育成

大牟田の歴史や世界遺産をはじめとする文化遺産、地域の伝統や自然についての主体的・協働的な学習を通して、児童生徒に、郷土を愛する心や自ら課題を発見し主体的に解決する力をはぐくむとともに、社会の形成に主体的に関わろうとする心情を醸成していきます。

【主な事業】

○おおむた郷土愛育成事業〔指導室〕

(1) 子ども大牟田検定（入門編・基礎編・上級編）の実施

郷土大牟田のよさを児童生徒が知ることができるよう、大牟田の自然や文化、伝統などの「大牟田の宝もの」に関する子ども大牟田検定を2回実施しました。

また、1,745人の一般の市民（高校生を含む）も子ども大牟田検定を受検しました。

学校・学年		検定の種類	受検者数（人）	
			1回目（通算19回目） 9月3日（木）	2回目（通算20回目） R3年1月12日（火）
小学校	1・2年生	入門編	—	1,687
	3～6年生	基礎編	2,531	2,119
	5・6年生の希望する者	上級編	963	1,380
	合 計		3,494	5,186
中学校	全学年（基礎編・上級編 のどちらかを選択）	基礎編	394	158
		上級編	1,814	1,973
	合 計		2,208	2,131

※小学校5・6年生は、基礎編・上級編のどちらか1つだけ受検できる。

○小中学生伝統文化等体験事業〔指導室〕

(1) 伝統文化体験事業

生涯学習課と連携し、音楽や総合的な学習の時間における伝統文化の学習において、学校へボランティア講師を派遣し、児童生徒の体験学習を支援しました。

(2) 各学校の読書活動における郷土出身作家作品の紹介・奨励

各学校が実施する読み聞かせ活動や読書祭り等の中で、本市出身の絵詞作家である内田麟太郎氏の作品を取り上げ、紹介する等の取組を行うよう周知を図りました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
郷土大牟田に対する興味・関心	目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を踏まえ 90%以上を目指します。 〔現状値：89.0%（H30 年度実績）〕
	実績値（%）	92.8				
	達成度（%）	103.1				

【指標達成度に対する要因分析】

各学校は、学校の特色に応じた郷土学習を実施しました。その中で、子ども大牟田検定の実施に向けて、「子ども大牟田検定ガイドブック」を授業や家庭学習でも取り上げたり、大牟田検定の過去の問題に取り組んだりするなどして、郷土学習の充実を図りました。教育委員会は、検定受検対象を広げ、小学校低学年を対象とした入門編検定を実施し、発達段階に応じた郷土

学習の充実に努めるとともに、小学校低学年児童には「がんばり賞」を、小学校中学年以上の児童生徒には各検定び結果に対して認定証を発行するなどの評価を行うことで、検定を通した郷土学習への意欲付けを行いました。

その結果、児童生徒は、郷土大牟田のことをもっと知りたいと思う気持ちが高まり、目標値の達成に至ることができたと考えます。

【今後の方向性】

今後も、子ども大牟田検定をはじめ、発達段階に応じた郷土学習の実施を進めていきます。また、伝統文化や本市出身の絵詞作家の作品に触れる機会の提供などを通して、さらに、郷土を愛し誇りに思う児童生徒の育成を図ります。

主要施策 3 英語教育の充実

全国に先駆けて取り組んできた本市の英語活動・外国語活動の成果を踏まえ、グローバル化の進展に対応できる人材の育成に向けて、英語教育のさらなる充実を図るとともに、市内外へ本市の取組を発信します。

【主な事業】

●英語教育のまち・OMUT A推進事業〔指導室〕（16・17ページを参照）

○外国語活動推進事業〔指導室〕

（1）小学校へのALT・LGT、中学校へのALTの派遣

小学校にALT（外国語指導助手）やLGT（外国語講師）を、中学校にALTを派遣し、授業や教職員研修の支援を行いました。また、外国語活動担当者を中心に、小学校外国語活動への対応や、小学校外国語活動から中学校の英語教育への小中連携についての教職員対象の各種研修会等を開催しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
英語の授業の理解度	目標値（％）	85.0	85.0	85.0	85.0	現状値を踏まえ 85％以上を目指します。 〔現状値：84.2％（H30 年度実績）〕
	実績値（％）	88.0				
	達成度（％）	103.5				

【指標達成度に対する要因分析】

重点事業である英語教育のまち・OMUT A推進事業の取組において、全小学校へのイングリッシュ・アドバイザーの派遣や「スーパー・イングリッシュ・スクール」に指定した明治小学校において、講師を招いて実施した拡大校内授業研修会や小中連携の研修会等により、小・中学校の英語教育の充実が図られました。また、「オオムタ・E1 グランプリ」や「英語検定チャレンジスクール」の開催、英検受験の支援を行ったことで、児童生徒の英語学習に係る目的意識を高めることができました。

小・中学校の英語教育担当者を中心に、小中連携の各種研修会により担当者の指導力の向上が図られるとともに、小・中学校へのALTやLGTの派遣により児童生徒の英語を使う目的意識を高めることができました。

その結果、児童生徒は、英語を学習する目的意識を持つとともに、英語教育担当者の指導力の向上により授業の充実が図られ、目標値の達成に至ることができたと考えます。

【今後の方向性】

各小学校が実施するサマースクールへの支援を継続するとともに、小学校段階での英語を「読む」「書く」の学習が充実するよう学習展開の充実を図ります。また、「英語検定チャレンジスクール」と「オオムタ・E1 グランプリ」の開催（内容や方法の変更）、英検検定料の一部補助についての取組を継続します。

主要施策 4 各学校における特色ある教育活動の推進

児童生徒の実態や地域の実情に応じ、小学校と中学校の9年間を見通した教育活動の推進や、幼稚園・保育園と小学校、中学校と高等学校の連携、ICTの活用などを通じた学ぶ力の育成など、各学校における特色ある教育活動の推進を図ります。

【主な事業】

○小中一貫校推進事業〔学校教育課ほか〕

（１）小中一貫校（原則併設型）モデル校区の研究指定〔学校教育課〕

小・中学校9年間を見通した教育活動を推進するための授業づくりや生徒指導等に係る合同研修会、管理職・担当者ごとの情報交換連絡会、先進校視察（宗像市・鳥栖市）などを実施しました。特に、宮原中学校区においては、先進校から講師を招き教職員対象の研修会を実施し、さらに先進校講師による校区の保護者を対象とした説明会を実施しました。

（２）小・中学校の9年間を見通した教育活動の推進〔指導室〕

各中学校区の小・中学校において、9年間を見通した教育活動を推進するため、授業づくりや生徒指導等に係る合同研修会、管理職・担当者ごとの情報交換連絡会などを実施しました。また、4月に研究担当者による小中合同の研修会を、11月に小中合同で研修会を開催し、各自の授業実践の情報交換会を行い、研究を深めました。

さらに、R3年2月25日（木）に、小中合同で「学力向上実践交流会」を開催し、小中学校が連携して学力向上を図る授業づくりについて研修を行いました。

○公立中学校夜間学級推進事業〔学校教育課〕

（１）公立中学校夜間学級（夜間中学）の調査研究

奈良市や大阪市の夜間中学、福岡市の自主夜間中学の先進校視察を実施しました。また、学校再編地域説明会及び設置校区となる大正校区まちづくり協議会において、それぞれ説明会を実施しました。さらに、大学教員を招いて教育委員会事務局や設置校となる松原中学校の教職員に対しての研修会を実施しました。その他、県教育委員会と設置に向けた協議を重ねました。

○幼保・小連携の推進〔指導室〕

（１）合同研修会、学校見学、体験授業、出前授業等の実施

小学校の授業を、関係する幼稚園・保育園の職員が参観したり、園児が小学校の授業や行事等に参加したりしました。

3学期に小学校に対して、幼稚園・保育園と小学校の情報の共有についての助言等を行いました。

○中学校の部活動の活性化〔指導室〕

（１）中学校連合音楽会の開催

11月4日（水）に大牟田文化会館において、各中学校がブラスバンド演奏を行いました。

○学校ICT活用推進事業〔指導室〕

（１）ICT活用のための環境整備

小・中・特別支援学校の全ての児童生徒に一人一台のタブレット端末と各教室に大型提示装置を整備しました。

さらに、小学校全学年用の算数と国語のデジタル教科書の整備と児童生徒向けの学習動

画を作成しました。

タブレット端末や大型提示装置等の導入時には、業者による管理職を対象とした管理者研修を実施しました。さらに、業者が各学校を巡回し、タブレット端末や基本的なソフトの利用方法等の研修を実施しました。

(2) ICTを活用した授業の充実

職員研修として、銀水小学校において、ICT教育の先進校に職員を派遣し、タブレット端末を活用した授業を参観しました。その後、先進校から講師を招き、銀水小学校全職員参加の校内研修会を開き、タブレット端末の操作や模擬授業等を行い、研修を深めました。さらに、大牟田市内の小学校教職員、中・特別支援学校教職員を対象にした研修会を開催しました。そして、参加した教職員がそれぞれの学校で研修内容を広め、授業におけるICTの効果的な活用の充実を図りました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
小中連携・小中一貫教育の取組実績	目標値(回)	63	63	64	65	現状値を踏まえ 65 回以上を目指します。 [現状値:62回(H30年度実績)]
	実績値(回)	74				
	達成度(%)	117.5				

【指標達成度に対する要因分析】

中学校区ごとに、年間計画に基づき小中連携による全員参加の研修会や担当者による研修会が行われました。その結果、教育委員会が主催する小中合同の実践交流会において、小学校と中学校が活発に意見交換を行い、研修会が充実しました。

ICTの活用については、先進的に研究を進めている銀水小学校において、タブレット端末等の授業での活用の仕方やICTを活用する効果など、理論面と実践面から小・中学校それぞれの研修会を実施したことで、研修を深めることができました。

【今後の方向性】

今後も、中学校校区ごとの研修会の定期的な実施と内容の充実を図るとともに、教育委員会が主催する各教科担当者会や教育講座等において、小中連携の視点を取り入れていきます。また、特に宮原中学校区においては、9年間を見通した教育課程の検討・作成を行っていきます。

ICTの活用については、R3年度から中学校においても推進校を位置付け、実践を進めながら拡大校内研修会等を実施し、情報交換等の機会を設け、研修の充実を図ります。また、必要に応じてヘルプデスクの人材を各学校へ派遣し、授業での活用等について教職員を支援します。

基本施策Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる

「確かな学力（知）」、「豊かな心（徳）」、「健やかな体（体）」を児童生徒にバランスよくはぐくむとともに、その個性や能力を伸ばし、可能性を広げます。また、障害のある児童生徒一人ひとりの状態に応じ、具体的できめ細かな支援や指導の充実に努めます。

主要施策１ 確かな学力の育成

児童生徒が意欲をもって主体的に学び、基礎的・基本的な知識及び技能とそれらを活用する力を確実に身に付けることができるよう、一人ひとりの学力の状況に応じたきめ細かな指導の充実に努めます。

【主な事業】

○教育研究事業〔指導室〕

（１）国、県、市の指定研究

県、市等の研究指定校で学習指導要領の趣旨に沿った指導内容・方法に関する実践的な研究に取り組み、その結果を各学校に広げました。

市研究指定校（研究指定は３年間で、３年次に発表会等を開催）

学 校 名	研 究 主 題	教科・領域等
大牟田中央小学校 （３年次）	生き生きと学び続ける子供を育てる学習指導 ～「見方・考え方」を働かせる課題解決活動を通して～	各教科等
宅峰中学校 （３年次）	学び合い、支え合い、認め合う生徒を育てる学習指導のあり方 ～主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた 授業づくりを通して～	各教科等
銀水小学校 （２年次）	自ら働きかけ生き生きと学ぶ児童の育成 ～プログラミング体験を位置付けた活動構成の工夫を通して～	プログラミング教育
宮原中学校 （２年次）	持続可能な社会を創造する資質・能力の育成 ～ホールスクールアプローチを取り入れた教育活動を通して～	E S D、総合的な学習の時間
大正小学校 （１年次）	主体的に学び、未来を拓く子どもを育てる小中一貫教育 ～小小・小中をつなぐカリキュラムの工夫を通して～	各教科等
宮原中学校区 （１年次）	小・中９か年を見通した教育課程の創造 ～志をもち自ら考え行動できる児童生徒の育成～	小中一貫教育

（２）教育調査（標準学力検査等）

基礎基本の確実な定着を図る教育課程の編成と実施のため、教育調査を行いました。

①全国学力・学習状況調査は中止

②全国体力・運動能力、運動習慣等調査は中止 ※本市は県の調査に合わせて２種目実施

③福岡県学力状況調査（調査対象 小５：国語・算数、中１・２：国語・数学）

④大牟田市学力状況調査（調査対象 小３：国語・算数、中１・２：国語・社会・数学・理科・英語）

（３）教職員研修会の開催

①市教科研究委員会等の研修として、１０月に授業研究会（教育講座）を開催しました。

②市内小・中・特別支援学校の校内研修会に指導主事を派遣して、新学習指導要領に基づく学習指導について指導・助言を行いました。

③市教育研究所の教育講座は、管理職・教員を対象に以下の研修会を実施しました。

○ESD（持続可能な開発のための教育）の基本的な考え 8月24日（月）＜1日間＞

○授業力アップ講座（中学校） ＜6日間＞

国語：11月13日（金）、12月15日（火） 数学：11月30日（月）

社会：12月17日（木） 理科：10月26日（月） 英語：11月13日（金）

④教育研究所研究員による研究について、6月に研究構想報告会、11月に中間報告会、2月に研究報告会を開催し、その成果を市内各学校へ広めました。

（4）教育論文の募集と表彰

大牟田市主催教育論文及び福岡県教育論文（教育論文、教育実践）を募集し、個人または共同研究の充実に努めています。

県論文には、11件の応募があり、市論文には、31件の応募がありました。R3年2月10日（水）に文化会館において表彰式を行いました。

（5）実践事例集・研究紀要の作成

学校経営、学校指導等の充実に資するため研究成果をまとめ、以下の教育資料を作成しました。

①学校外国語教育実践事例集 ②教育研究所研究紀要 ③ユネスコスクール実践事例集

（6）科学技術教育振興事業

有明工業高等専門学校との連携事業に取り組み、科学技術教育の振興を図りました。

①小中学校対象事業（出前授業） 5講座実施

②教職員対象研修事業 1講座実施

③その他の連携 3件実施

○少人数学級編制・少人数授業推進事業〔学校教育課〕

（1）小学校全学年の35人以下学級編制

H23年度からの法に基づく小学校1年生の35人学級実施に伴う教員配置に加え、小学校2年生から6年生までの全学年において、県からの加配教員20人を学級担任として活用し、10校20学年で35人以下学級編制を行いました。

（2）中学校の学校実態に応じた弾力的な35人以下学級編制

中学校については、学校の実態に応じ、弾力的に35人以下学級編制を行っており、R2年度は2校2学年で35人以下学級編制を行いました。

（3）少人数授業推進のための非常勤講師の派遣

小学校10校、中学校6校に習熟度別や課題別学習などの少人数授業や学校が特に学力向上を必要とする教科に非常勤講師（小学校14人、中学校7人）を派遣し、個に応じた学習指導の充実を行うことにより、学力の向上を図りました。

●「学びに向かう力」育成推進事業〔指導室〕（18・19ページを参照）

○学力向上推進事業〔指導室〕

（1）各学校の学力向上プランの促進

各学校は自校の各種調査結果を分析し学力向上プランを作成しました。各学校へ指導主事を派遣するなどして、学力向上プランの効果的な実施に向け、指導内容・指導方法・指導体制等の在り方について指導助言を行いました。

（2）自主学習サポート資料と1～4年生用教材集（国語・算数）の有効活用

国語科と算数科の教材集（1年～4年）と関連を図った自主学習用のサポート資料の有効活用を図るために、各学校の学力向上プランへの位置づけや活用方法について、指導主

事を派遣し指導助言を行いました。

(3) 研修会の実施等

県の「ふくおか学力向上推進事業」を活用し、南筑後教育事務所と連携し、学力向上に係る理論研修や授業研修において指導助言を行い、教員の学習指導力の向上を図りました。

○学習指導員等配置事業〔学校教育課〕

(1) 学習指導員の各学校への配置（新型コロナウイルス感染症対策）

児童生徒の「学びの保障」のため、27人の学習指導員を各学校に配置し、補習事業の実施等、教育活動の支援を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
国語・算数（数学）の授業の理解度	目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を踏まえ 90％以上を目指します。 〔現状値：90.6％（H30 年度実績）〕
	実績値（％）	90.5				
	達成度（％）	100.6				

【指標達成度に対する要因分析】

児童生徒に確かな学力を身に付けさせ、一人一人の個性や能力を伸ばすために、「学びに向かう力」育成推進事業を中心に各事業の推進・活用を図り、各種調査による児童生徒の実態に基づく学力向上プランの充実、教職員研修の推進による指導力の向上を推進することができました。また、少人数学級編制としたことで、教師が個々の理解度や興味・関心に応じたきめ細かな指導が可能となったほか、児童生徒の発言や発表の機会が増え、より積極的な授業参加が認められるようになりました。

その結果、各学校において児童生徒の実態に応じたきめ細かな学習指導の充実が図られ、目標値を達成できたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、「学びに向かう力」育成推進事業を中心に各事業の推進・充実を図り、学力向上プランが計画的・組織的・効果的に行われるとともに、児童生徒の課題に応じた指導が行われるよう学校への支援を進めます。また、県の指定事業を積極的に活用し、各学校の指導体制の充実や学力向上に係る研修の充実を進めていきます。さらに、中学校における少人数学級編制の弾力的な運用について検討するとともに、有効な教科の特性に応じた学習集団や習熟度別グループ編成の検証を行い、更なる個に応じた指導の充実を図っていきます。

主要施策 2 豊かな心の育成

規範意識や他人を思いやる心情、自然や文化を大切に思う心情や豊かな情操をはぐくむため、道徳教育をはじめ、読書活動や各種体験活動などの充実に取り組みます。

【主な事業・取組】

○道徳教育の充実〔指導室〕

学習指導要領の改訂に伴い、中学校では「特別の教科 道徳」の指導を行いました。また、道徳教育は各学校の年間指導計画に基づき、全教育活動を通して行っています。その際、副読本や福岡県の人権教育指導資料「かがやき」、「あおぞら」の活用等の工夫をしながら実施することを指導しました。

●「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業〔指導室〕（20・21ページを参照）

○読書活動推進事業〔指導室・学務課〕

（1）読書感想文コンクールの実施〔指導室〕

児童生徒の読書活動を推進する取組の一つとして、読書感想文コンクールを行いました。自由図書部門と併せ、H29年度から引き続き、本市出身の絵詞作家である内田麟太郎氏にちなんで「内田麟太郎部門」を設けました。R2年度の応募の状況は、自由図書部門と内田麟太郎部門を合わせて、小学校575点、中学校56点、合計631点でした。3月に読書感想文の優秀作品を冊子にまとめ、各学校や入選した児童生徒等に配布しました。

（2）学校図書館への司書配置の充実〔学務課〕

読書活動の推進をはじめとする学校図書館機能の更なる充実を図るため、専ら学校図書館の職務に従事する職員として、司書の資格又は司書教諭の資格を有する者をH28年度から計画的に各小中学校に配置しています。R2年度は3校（天の原小学校、高取小学校、倉永小学校）に配置しました。

○児童生徒の作品展〔指導室〕

（1）理科展

9月5日（土）から同11日（金）まで、エコサンクセンターにおいて、小中学校から出品された昆虫植物採集・理科作品研究物等を展示しました。小学校304点、中・特別支援学校85点、計389点の出品があり、6日間で857人の参観者がありました。

（2）小・中・特別支援学校合同作品展

各小・中学校に対して、絵画・版画・彫塑・工作・デザイン・工芸等の作品の募集を行いました。また、特別支援学校に対しては、児童生徒が日常の学習で制作した作品や学校生活の写真等の募集を行いました。R3年2月20日（土）から同24日（水）まで、文化会館において、1,700点の作品を展示し、1,665人の参観者がありました。

（40ページの「合同運動会・合同作品展の実施」の（2）を参照）

○自然体験・社会体験授業の充実〔指導室〕

（1）野外活動宿泊体験、職場体験等の実施

野外活動宿泊体験については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しませんでした。

中学校における職場体験学習については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所等での職場体験は行わず、学校に来ていただいて講話等を実施しました。

○非行防止教室推進事業〔指導室〕

（１）万引き防止、薬物乱用防止教室等の全校での実施

規範意識の醸成のために、各学校において外部指導者を活用して、非行防止教室として、万引き防止教室、シンナー薬物乱用防止教室、情報モラル学習等に取り組むよう指導助言を行いました。

（２）携帯電話やスマートフォンの使用に関する指導の充実

４月と７月の校長会で、Ｈ２７年１１月に策定された大牟田市「児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」について再周知し、学校を通して保護者等への啓発を図りました。

１１月に携帯電話やスマートフォンの使用に関する啓発資料を学校へ配布し、児童生徒並びに保護者等への啓発を行いました。

○早期教育相談事業〔指導室〕

（１）早期教育相談連絡協議会の開催等

４月に早期教育相談の啓発チラシを作成・配布し、各機関団体を通して保護者への啓発を行いました。

学識経験者や関係機関団体で構成する早期教育相談連絡協議会について、６月２９日（月）にＲ２年度１回目の会議を開催し、情報の共有を行いネットワークの強化を図りました。Ｒ３年３月５日（金）に２回目の会議を開催し、Ｒ２年度の取組の振り返りと次年度の計画について協議を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の規範意識	目標値（％）	95.0	95.0	95.0	95.0	現状値を踏まえ 95％以上を目指します。 〔現状値：95.6％（H30 年度実績）〕
	実績値（％）	95.5				
	達成度（％）	100.5				

【指標達成度に対する要因分析】

重点事業である「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業により、児童生徒が児童会・生徒会を中心に、主体的に楽しい学校・いじめのない学校づくりのための取組を考え、行動する姿が見られるようになりました。また、道徳教育や各種体験活動など豊かな心の育成に係る各種事業の推進により教師と児童生徒、児童生徒相互の共感的理解が進みました。これらの事業を通して、学校生活における支持的風土が高まりました。その結果、今まで以上に周りの友達やよりよい学校づくりのために何が大切かを考え、人の気持ちが分かる人になりたいと思う児童生徒の割合の目標値の達成ができたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業の一つである児童会・生徒会リーダーミーティングの推進・充実を進めるとともに、各学校での「思いやり・親切」に関するキャンペーンや「友だち応援隊」に係る取組の継続を図ります。また、道徳教育や各種体験活動の充実、児童生徒の作品展等の開催、非行防止教室等の実施を通して、児童生徒の規範意識を高める取組の更なる充実を進めていきます。

主要施策 3 健やかな体の育成

基本的な生活習慣が身に付いた心身ともにたくましい児童生徒を育成するため、学校での教育活動全体を通じて運動習慣の定着化を図るなど、体力向上に向けた取組を進めるとともに、食育、学校給食、学校保健などの取組の充実や家庭との連携を進めます。

【主な事業】

○体力向上推進事業〔指導室〕

（１）体力向上プランの促進

各学校は自校の児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等の実態を分析し体力向上プランを作成しました。校長会や担当者会等を通して各学校の体力向上プランの取組が組織的・効率的に実施できるよう指導助言を行いました。

（２）小学校地区競技会

① ５月に予定していたリレー大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しませんでした。

② １０月に予定していたソフトバレーボール大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区ごとの大会は実施せず、各学校で校内大会等を実施しました。

（３）中学校体育連盟の競技会

① ７月２５日（土）・２６日（日）に中体連夏季市内大会を市内の各会場で開催しました。

③ ９月１７日（木）、１０月２日（金）・３日（土）・５日（月）に新人大会を市内の各会場で開催しました。

④ １０月２０日（火）に駅伝の市内大会を諏訪公園で開催しました。

⑤ １２月１６日（水）に中学校体育連盟による市内駅伝新人大会を開催しました。

●子ども大牟田体力検定推進事業〔指導室〕（２２ページを参照）

○健康教育推進事業〔指導室〕

（１）エイズ教育・喫煙防止・薬物乱用防止教育等の実施指導

各学校において、性教育・エイズ教育・喫煙防止・薬物乱用防止等を教育課程に位置づけて実施するよう指導しました。

○食育推進事業〔学務課、指導室〕

（１）食育推進校に係る取組〔指導室〕

H28年度から引き続き、手鎌小学校を推進校に指定し、食育に関する理論研究や実践した内容を市内の各学校に啓発・普及することによって、本市の食に関する教育の充実に努めました。同校では、「食への関心を深め、健康な生活への実践力を育てる食育指導」を目標に掲げ、学校園を活用して地域とつながる農業体験や地域の食文化の体験等、３つの取組を中心に実践し、１１月３０日（月）の拡大校内研修会において、担任教諭と栄養教諭が連携して公開授業を行い、食に関する指導の研究協議を実施しました。また、食に関する取組の啓発用リーフレット等を作成し、R3年３月に市内の各学校に配布しました。

（２）早寝早起き朝ごはん運動推進校に係る取組〔指導室〕

R2年度は田隈中学校を推進校に指定し、早寝早起き朝ごはん運動に関する実践した内容を市内の各学校に啓発・普及することによって、本市の食に関する教育の充実に努めました。同校では、PTA成人教育委員会活動における生活習慣の指導、生徒会による睡眠時間の調査及び早寝早起きの啓発、特別活動や教科における指導に取り組みました。R3年３月には１年間の取組の成果をリーフレットにまとめ、市内の各学校に配布しました。

(3) 学校給食への地場産物の使用促進と食育の啓発推進〔学務課〕

地場産物の使用促進を図るため、学校給食における地場産青果物の優先活用基準に基づき、大牟田産や南関産の青果物を小学校給食（4校）及び中学校給食に8品目取り入れました。食育の啓発については、小学校の保護者に対し「もぐもぐ通信（食育通信）」と「給食だより」を交互に年9回、中学校では「食育通信」を年9回発行し、朝食の重要性や食生活に関すること、学校給食とSDGsの関わり、給食レシピの紹介などを行いました。

(4) 学校給食週間等の開催〔学務課〕

学校給食週間（R3年1月23日（土）～1月31日（日））では、ゆめタウン大牟田において児童生徒のポスター・標語作品展を開催しました。また、児童生徒を対象とした学校給食レシピコンテストを実施しました。

(5) 中学校給食センターを活用した食育の啓発〔学務課〕

例年、中学校給食センターにおいて、学校給食を通じた食育の啓発を推進するため、市民の方を対象に施設見学と栄養教諭による講話を含めた給食試食会を実施していましたが、R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

○中学校給食事業〔学務課〕

(1) 中学校給食センターの管理運営

学校給食法に基づき、生徒の心身の健全な発達に資する安全でおいしく楽しい給食を将来にわたって円滑に実施するため、中学校給食センターの管理運営を行うとともに、献立作成をはじめとする学校給食会の運営業務等を行いました。

○小学校給食事業〔学務課〕

(1) 直営拠点校・民間委託校併用方式の推進

学校給食法に基づき、小学校において、児童の心身の健全な発達に資する安全でおいしく楽しい給食を将来にわたって円滑に実施するため、直営拠点校と民間委託校による併用方式の推進を図りました。

(2) 給食室調理機器等の維持管理

各小学校の給食調理や給食室・調理機器等の管理を行うとともに、献立作成をはじめとする学校給食会の運営業務等を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の体力向上の取組実績	目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を踏まえ 90％以上を目指します。 〔現状値：90.5％（H30 年度実績）〕
	実績値（％）	94.6				
	達成度（％）	105.1				

【指標達成度に対する要因分析】

各学校においては、児童生徒の体力の向上に向けて体力向上プランを作成し、学校の実態や児童生徒の発達段階に応じた様々な取組が実施されました。特に、全校で実施された子ども大牟田体力検定推進事業の体力検定（年2回の実施）については、各学校の体力向上プランに効果的に位置づけ実施されました。また、中学校においては各学校の実態に応じて、重点とする種目を選定するなど、生徒の目的意識が高まる取組がなされました。

その結果、各学校において、体力検定に取り組みやすい状況の中で、児童生徒が自己の体力

の向上に係る目標意識を持って主体的に取り組むことができ、体力向上の取組み実績の目標値の達成ができたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、各学校の体力プランの充実について指導助言を行うとともに、子ども大牟田体力検定推進事業の各取組の啓発と各競技会への支援を行います。また、健康教育に係る各教育の推進、食育の充実に取り組んでいきます。さらには、小学校給食の直営拠点校・民間委託校併用方式のR3年度以降の在り方について検討していきます。

主要施策 4 特別支援教育の推進

障害のある児童生徒の個別の指導計画・支援計画や指導方法などの改善・充実を図るほか、特別支援教育センターとしての特別支援学校の相談機能の充実を図ります。また、特別支援教育支援員の配置など、一人ひとりの障害の状態に応じた具体的な支援を行います。

【主な事業】

○特別支援教育支援員活用事業〔学校教育課〕

（１）要支援と判断された児童生徒への支援員の配置

就学指導委員会等により要支援と判断された全ての児童生徒 154 人に対し、小学校 18 校に 36 人、中学校 8 校に 19 人、計 55 人の特別支援教育支援員を派遣しました。きめ細かな支援を受けることで、対象児童生徒本人の精神的な安定が図られ、周囲の児童生徒の理解も進み、学級全体が落ち着き、集中して学習に取り組むことができました。また、保護者の介助等の軽減も図られました。

（２）校内支援体制及び支援内容の充実

全支援員を対象とした研修会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6 月に 1 回（例年は年 3 回（4 月・9 月・1 月））実施し、その他 2 回については、各学校に参考資料等を配布し、校長を中心に校内研修を実施しました。その中で、支援員による児童生徒の発達障害等への理解促進と個に応じた具体的な支援内容の充実に努めました。

○特別支援学校医療的ケア事業〔学校教育課〕

（１）医療的ケアを行う看護師の配置

大牟田特別支援学校の対象児童生徒 5 人に対し、2 人の看護師を配置しました。校長を中心とした医療的ケア運営委員会を毎学期 2 回開催し、主治医・指導医の指導のもと、保護者の理解も得ながら医療的ケアを行うことで、児童生徒の症状は安定し、保護者の負担も軽減されました。また、対象児童生徒の年度途中の増加に対しても対応できるよう、看護師の一定の増員も可能としました。

○教育相談事業〔指導室〕

（１）教育相談員による児童生徒の障害に関する相談への対応

教育相談室に寄せられる電話や面接での相談の中から、保護者や児童生徒の問題行動等の背景に障害や発達障害等の特別な配慮を必要とする状況があった場合に、学校や関係機関との連携を図り、教育的なニーズに対応しました。

（２）ひきこもり児童生徒訪問員による家庭訪問

不登校や引きこもりになっている児童生徒の背景に、障害や発達障害等の特別な配慮を必要とする状況があった場合に、学校や関係機関、保護者等との連携を図り、家庭訪問を実施するなど不登校等の解消に向けて対応しました。

（３）就学指導委員会の開催

在学中の児童生徒及び令和 3 年度入学児を対象に、就学指導委員会を 6 月と 9 月の 2 回開催し、医学・心理・教育の面から就学指導における教育相談を行いました。

教育相談者数

小学校	中学校	特別支援学校	入学予定児	合 計
15 人	7 人	0 人	29 人	51 人

○通級指導教室運営事業〔指導室〕

（１）専門の教職員による指導・支援

生涯学習支援センターに設置している通級指導教室で、言葉や情緒等に課題がある児童生徒に対して、個別や集団での指導を行いました。

「あじさい教室１組」への通級者	１０人（小学校：情緒）
「あじさい教室２組」への通級者	１１人（小学校：LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害））
「こすもす教室」への通級者	８人（中学校：ADHD）
「ことばの教室」への通級者	１３人（小学校：言語）

（２）保護者相談

教育相談室に寄せられる相談の中から、通級指導に関する相談について、通級指導教室担当教員が保護者からの相談に対応しました。

○交流教育推進事業〔指導室〕

（１）学校間交流

特別支援学校と小・中学校間の交流、小・中学校の特別支援学級間の交流など、様々な交流を行いました。

（２）市民交流「ふれあい共室」

中央地区公民館で「ふれあい共室」を年６回開催し、障害のある子どもと障害のない子ども及びボランティア団体、福祉関係団体等の市民との交流を行いました。

（中央地区公民館での活動については、「社会教育施設等の状況 地区公民館」の「３ 中央地区公民館」の「交流教育地域推進事業 ふれあい共室」（１３５ページ）を参照）

（３）交流教育の啓発

６月に「ふれあい共室」の参加募集を市内の全学校に配布するとともに、１月に合同作品展（令和３年２月２０日（土）～同２４日（水）実施）の広報を行いました。

○合同運動会・合同作品展の実施〔指導室〕

（１）特別支援学級・特別支援学校合同運動会

合同運動会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しませんでした。

（２）小・中・特別支援学校合同作品展

令和３年２月２０日（土）から同２４日（水）まで、文化会館において、小学校・中学校・特別支援学校による合同作品展を開催しました。特別支援学級、特別支援学校の児童生徒からは１，７００点の出品があり、作品を通して児童生徒相互の理解を深めました。期間中に１，６６５人の参観者がありました。（３４ページの「児童生徒の作品展」の（２）を参照）

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
特別支援教育支援員の配置効果	目標値（％）	100	100	100	100	全ての対象児童生徒について状態の改善が図られることを目指します。 〔現状値：100%(H30 年度実績)〕
	実績値（％）	100				
	達成度（％）	100				

【指標達成度に対する要因分析】

特別支援教育支援員活用事業については、支援員の配置によって、対象児童生徒が情緒的に安定し、落ち着いた学習態度や行動へとつながり、学習効果の向上が図られたほか、学校生活での安全性の確保においても効果をあげています。また、児童生徒の人間関係作りにおいて、互いを理解し合うことができるような支援により、周囲の児童生徒も落ち着きます。さらに、担任教師も学級全体に目が行き届くようになることで、学級が落ち着き、そのような児童生徒の姿が保護者に安心感をもたらしたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、特別な支援を要する児童生徒の個別の指導計画・支援計画の作成、特別支援学校における相談活動、特別支援教育コーディネーターの育成など、学校と連携した取組を進めていきます。また、関係機関相互や専門家と連携を図り相談体制等の充実を進めるとともに、特別支援教育に関する研修会等を開催し、各学校における児童生徒の教育的ニーズに応じた具体的な支援の実践へつないでいきます。

基本施策Ⅲ 学校教育環境の充実

本市の実情に応じた活力ある学校づくりの実現のため、適正規模化と適正配置による学校再編整備を推進するとともに、多様な学習活動に対応でき、児童生徒等が安全で快適に過ごすことができるよう施設整備を図るなど、学校教育環境を充実させます。

主要施策 1 学校再編整備の推進

適正規模（適切な学級数）と適正配置（適切な通学距離・時間等）による学校再編整備（大牟田市立学校適正規模・適正配置計画）を進め、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨（せっさたくま）することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことができるよう教育環境を整備します。

【主な事業】

○学校再編整備推進事業〔学校再編推進室、学校教育課〕

（１）市立学校適正規模・適正配置計画第２期実施計画の周知〔学校再編推進室〕

市立学校適正規模・適正配置計画第２期実施計画の周知を図るため、小・中学生、幼稚園・保育園児の全保護者へ計画の概要版を配布するとともに、再編に係る１４小学校区のまちづくり協議会等の町内公民館や自治会へ、計画概要版の回覧依頼を行いました。加えて、関係団体へも計画の説明を行いました。

また、再編に伴う橘中学校の施設整備について、地域へ説明を行いながら、関係部局等と協議を行い課題等の整理に取り組みました。

さらに、小川町の通学区域の見直しについて、天領小学校の入学説明会や地域説明会を開催し、丁寧に説明を行い、意見聴取に努めました。

（計画の主な内容）

- ・ ３校同時の再編時期を見直し、２段階に分けて再編。
- ・ 中学校の再編は、現計画の３校案（白光・歴木・橘中学校）に加えて、松原中学校を活用。（併せて、Ｒ９年度から小川町の通学区域を現在の宅峰中学校区から松原中学校区へ、天領小学校区から大正小学校区へ見直す。）
- ・ 小学校の再編は、次期計画で改めて策定。
- ・ 小中一貫校については、市内全小中学校を小中一貫校とする（原則「併設型」）方向で検討。
- ・ 多様な学習機会の提供を行うため、夜間中学を松原中学校に設置することを検討。

（２）上内小学校における小規模特認校制度の運営〔学校教育課〕

Ｈ２４年度から本制度を導入したことにより、Ｈ２４・２５年度に生じた複式学級編制は、Ｈ２６年度以降は解消しています。また、Ｒ２年度は、全校児童５７人中２５人の児童が本制度により校区外から通学しており、引き続き複式学級が解消されているとともに特色ある教育活動が展開されています。今後も、次年度入学者の児童募集について周知を図ります。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
学校再編に対する地域の理解と協力	目標値	—	—	—	2	適正規模・適正配置計画に基づく学校再編協議会の設置数
	実績値	—	—	—		
	達成度(%)	—	—	—		

【指標達成度に対する要因分析】

次期目標として、「R 5 年度に 2 つの学校再編協議会を設置する」ことを成果指標としています。

【今後の方向性】

市立学校適正規模・適正配置計画の第 2 期実施計画について、R 2 年度に引き続き保護者や地域等を実施計画の内容の周知を行うとともに、R 5 年度の学校再編協議会の設置に向け、橘中学校の施設整備等、課題の整理を行っていきます。

また、学校再編の実施に当たっては、保護者や地域等の理解・協力を得ることが重要であるため、丁寧な説明に努め計画の推進に取り組めます。

上内小学校については、小規模特認校制度の導入による複式学級解消の成果が上がっており、検証結果や適正配置の観点などを踏まえ、今後も引き続き小規模特認校制度を継続していきます。小規模特認校制度を運用しても、なお複式学級が生じる状況となった場合は、吉野小学校との再編について改めて検討を進めていくこととします。

主要施策 2 安全で快適な学校施設の整備

老朽化した学校施設の長寿命化改修を行うとともに、校舎トイレの洋式化、施設のバリアフリー化などの改修を進めることにより、安全で快適な学校施設の整備を行います。

【主な事業】

○学校施設長寿命化改修事業〔学務課〕

大牟田市学校施設長寿命化改修計画に基づき、学校施設実態評価により早期に改修が必要な施設の課題整理等を行いながら長寿命化改修を行うこととしています。

R 2 年度は、羽山小学校校舎（鉄筋コンクリート造 4 階建 4, 279 m²）の外壁等の改修を行いました。

（単位：千円）

内容	事業費
学校施設長寿命化改修工事（羽山台小学校）	150,666

○GIGAスクール構想整備事業〔学務課〕

GIGAスクール構想の実現に向けて、小・中・特別支援学校の教室にWi-Fi 設備や充電箱等の情報通信及び基幹通信設備を整備しました。

（単位：千円）

内容	事業費
情報通信及び基幹通信設備整備業務委託	201,498

○令和 2 年 7 月豪雨被害復旧事業〔学務課〕

R 2 年 7 月 6 日に発生した豪雨によるみなと小学校の校舎及び体育館の冠水被害、上内小学校・橘中学校の河川氾濫による校地への土砂堆積被害、宮原中学校の校地からの流水による法面崩壊被害その他各学校における被害の復旧を行いました。なお、みなと小学校の受変電設備のかさ上げ及び宮原中学校の法面の本復旧に要する経費については、R 3 年度へ予算の繰越しを行いました。

（単位：千円）

内容	事業費
各学校災害復旧工事（25校） ※閉校した3校を含む	238,855
みなと小学校受変電設備及び宮原中学校法面復旧工事 （R3 年度へ予算繰越し）	32,500

○学校施設・設備改修事業〔学務課〕

（1）トイレ洋式化の計画的推進

トイレの洋式化率が 50%に満たない学校や特別に要請のある学校を中心に計画的に洋式化を図っています。

R 2 年度は、洋式化率が低い又は洋式化の要請のあった小学校 3 校（玉川小学校：1 か所、中友小学校：2 か所、明治小学校：2 か所）及び中学校 2 校（松原中：1 か所、甘木中学校：2 か所）を改修しました。

校舎トイレの洋式化率は、R 元年度の 62.2%から 0.7 ポイント向上し、62.9%になりました。また、校舎、体育館、プール等を含めた全体の洋式化率は 63.3%になりました。

(2) 体育館トイレ改修

高取小学校及び羽山台小学校の体育館男女共用トイレを多目的トイレを併設した男女別トイレに改修しました。中友小学校の体育館については、R 2 年度中の工事完成が見込めないため、R 3 年度へ予算の繰越しを行いました。

(単位：千円)

内容	事業費
高取小学校及び羽山台小学校体育館トイレ改修工事	21,258
中友小学校体育館トイレ改修工事 (R3 年度へ予算繰越し)	16,000

(3) 公共下水道切替え

公共下水道の供用開始に伴う公共下水道切替え工事を三池小学校及び吉野小学校において実施しました。なお、吉野小学校については、R 元年度に行った入札が不調だったため、R 元年度から 2 年度へ繰り越した予算により実施しました。

(単位：千円)

内容	事業費
吉野小学校公共下水道切替え工事 (R 元年度から予算繰越し)	24,620
三池小学校公共下水道切替え工事	15,251

(4) LED 電灯への更新

従来型蛍光灯 (FL 型) や HID ランプ (水銀灯類) を使用していた天領小学校、大牟田中央小学校、大正小学校、高取小学校、三池小学校、上内小学校、吉野小学校、倉永小学校及び手鎌小学校の使用頻度の多い教室や体育館アリーナ等の電灯を LED 型電灯に更新しました。

(単位：千円)

内容	事業費
LED 電灯更新工事	27,696

(4) 空調設備更新

管理諸室等の空調設備の老朽化により、平原小学校 (図書室、コンピュータ室、職員室、事務室、校長室、保健室)、甘木中学校 (職員室、事務室、校長室、保健室) 及び大牟田特別支援学校 (普通教室、軽作業室、和室、プレイルーム等) の設備を更新しました。また、老朽化しているみなと小学校、中友小学校、三池小学校及び松原中学校の空調設備については、R 2 年度中の工事完成が見込めないため、R 3 年度へ予算の繰越しを行いました。

(単位：千円)

内容	事業費
平原小学校空調設備更新工事	8,140
甘木中学校空調設備更新工事	1,095
大牟田特別支援学校空調設備更新工事	10,147
みなと小学校、中友小学校、三池小学校空調設備更新工事 (R3 年度へ予算繰越し)	23,300
松原中学校空調設備更新工事 (R3 年度へ予算繰越し)	15,100

(5) 新型コロナウイルス感染症対策に係る施設整備

新型コロナウイルス感染症対策として、給食室排風機 (みなと小学校、玉川小学校、明治小学校、上内小学校) の更新、28 校の換気ファン、手洗器設置等その他関連工事 (電源工事) を実施しました (換気ファンのみ白川小学校を除く。)

(単位：千円)

内容	事業費
新型コロナウイルス感染症対策施設整備	25,606

(6) 学校施設・設備の維持補修

日々の小規模補修は学校現場で対応できるよう、各学校に平均82万円の予算配当を行いました。また、教育委員会事務局では、年次計画により、給食用リフトの更新（みなと小学校・高取小学校）及び体育館アリーナ研磨塗装（大正小学校）など、学校の安全確保と教育環境の整備に努めました。

(単位：千円)

内容	事業費
給食用リフト更新工事（みなと小学校・高取小学校）	5,995
体育館アリーナ研磨塗装等工事（大正小学校）	4,136

(7) 机、椅子等の更新

学校毎に傷み具合などを判断し、小・中・特別支援学校全校で、児童生徒用の机324台、椅子329脚を更新しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
校舎トイレの洋式化率	目標値(%)	63.0	64.0	65.0	66.0	洋式化率が50%に満たない又は特別に要請のある学校を集中的に洋式化します。 [現状値：61.5%（H30年度実績）]
	実績値(%)	62.9				
	達成度(%)	99.8				

【指標達成度に対する要因分析】

校舎トイレの洋式化は、年次計画で行い洋式化率が50%に満たない学校や洋式化の要請のあった学校の4校（8か所）の改修を行いました。校舎トイレの洋式化率は、62.9%となり、目標にはわずかに届きませんでした。

【今後の方向性】

学校施設長寿命化改修事業については、学校施設長寿命改修計画に基づき、総合計画の財政計画との整合を図りながら改修工事を進めていきます。

トイレの洋式化の推進については、引き続き、学校再編整備等との整合を図りながら、洋式化率が50%に満たない学校等を重点的に進めることとします。また、R3年度には、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、R2年度2月補正予算を3年度に繰り越して、校舎トイレを40か所、集中的に整備することとしており、R5年度の目標である66%を早期に達成できるようスピード化を図ります。

基本施策Ⅳ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり

いじめ防止対策、不登校へのきめ細かな対応、経済的困難を抱える保護者の支援や、学校・家庭・地域の連携による児童生徒の規範意識の育成、「共に育ち、共に育てる（共育）」と「響き合って、育ち合う（響育）」の風土の醸成など、安心して学べ、地域とともにある学校づくりを進めます。

主要施策 1 安心して学べる学校づくり

「大牟田市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等のための対策を総合的に推進します。また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用など、教育相談体制の充実強化を図り、不登校の未然防止や早期発見・早期対応等に取り組みます。さらには、経済的困難を抱える保護者への支援として、就学援助などを実施し、教育費負担の軽減に取り組みます。

【主な事業】

○いじめ防止対策推進事業〔指導室〕

（１）いじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止対策委員会の運営等

大牟田地域教育力向上推進協議会を「いじめ問題対策連絡協議会」として位置付けており、連絡協議会の中に実行委員会を組織して、年２回（６月（書面開催）と１０月）の会議を開催し、本市のいじめの防止等に関する取組を推進しました。

また、教育委員会の附属機関として設置している「大牟田市いじめ防止対策委員会」の会議を年３回（６月、８月、Ｒ３年２月）開催し、本市のいじめ防止に係る教育委員会や学校の取組等について協議を行い、その充実に努めました。

（２）大牟田市いじめ防止基本方針の推進

いじめ防止対策推進法に基づき策定している「大牟田市いじめ防止対策基本方針」について、いじめ問題対策連絡協議会やいじめ防止対策委員会等の関係機関との連携を図り、いじめ防止に関する取組の総合的な推進に努めました。

いじめの認知件数等（※１）

区 分	H30 年度			R 元年度			R2 年度		
	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中
小学校	71	71	0	55	50	5	99	88	11
中学校	30	30	0	12	11	1	18	16	2

※１：各学校では、いじめの防止等に関する文部科学省の通知や「いじめ防止基本方針」の改定（H29年３月）等も踏まえ、いじめの積極的な認知に取り組んでいる。

○不登校対策事業〔指導室〕

（１）不登校対応対策会議の開催

教育委員会事務局、少年センター、子ども育成課の職員で構成する不登校対応対策会議を年４回（６月、８月、１２月、Ｒ３年２月）開催し、不登校児童生徒の現状や不登校の背景等について情報の共有を図るとともに、不登校の未然防止、早期解消に関する連携の在り方についての協議等を行いました。

不登校等の状況

区 分	H30 年度				R 元年度				R2 年度			
	不登校		学校復帰		不登校		学校復帰		不登校		学校復帰	
	件数	出現率	件数	復帰率	件数	出現率	件数	復帰率	件数	出現率	件数	復帰率
小学校	81	1.52%	31	38.3%	77	1.45%	14	18.2%	84	1.59%	23	27.4%
中学校	125	5.15%	43	34.4%	158	6.51%	22	13.9%	187	7.80%	48	25.7%

※不登校児童生徒の定義（文部科学省）：何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。

（２）教育相談員、ひきこもり児童生徒訪問指導員の配置

涯学習支援センター内に設置している教育相談室に、教育相談員2人、ひきこもり児童生徒訪問指導員3人を配置しました。また、スクールソーシャルワーカーも含め随時3者で連携を図り、問題の早期解決に取り組みました。

教育相談の状況

相談の内容	相 談 件 数（延べ）		
	H30 年度	R 元年度	R2 年度
学業等	13	2	2
不登校	1,840	1,783	1,430
いじめ	13	0	0
その他の学校生活	13	0	1
性格・行動	11	32	29
その他	22	10	1
合 計	1,912	1,827	1,463

ひきこもり相談の状況（延件数）

H30 年度	R 元年度	R2 年度
402	290	350

（３）適応指導教室の運営

心理的または情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒の学校復帰のために、指導員を2名配置し、児童生徒の状況に応じて、適応指導、学習指導、教育相談等を行い、学校復帰に努めました。

適応指導教室の入級及び復帰状況

適応指導教室の状況	H30 年度	R 元年度	R2 年度
入級児童生徒数	7 人	8 人	8 人
復帰数	7 人	8 人	8 人
復帰率	100%	100%	100%

※復帰数には高校進学者を含む。

●「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業〔指導室〕（再掲）（20・21ページを参照）

○スクールソーシャルワーカー活用事業〔指導室〕

（１）スクールソーシャルワーカー（SSW）複数体制による相談対応と支援

教育相談室にスクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）を３人配置し、さらに、県から派遣されたＳＳＷを１中学校区に１名配置しました。ＳＳＷが有する社会福祉等の専門的な知識・技能を用いて、児童生徒や保護者の相談に応じたり、福祉機関等の関係機関とのネットワークを活用したりして、問題を抱える児童生徒及びその家族の支援を行い、児童生徒の問題行動等の解決に努めました。

相談対応状況（実件数）

H30 年度	R 元年度	R2 年度
406	481	340

（２）大学等の高度な知見を活用した複雑・困難な事案への対応

複雑化・多様化し、学校だけでは解決困難な相談が増加しているため、児童生徒の心理や家庭環境などの複雑な要因に対応できる社会福祉等の専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカーの活用や、大学等と連携した取組の充実を図りました。

（３）ケース会議の開催

教育相談室のケース会議や、学校が開催するケース会議、子ども家庭課が所管する「大牟田市子ども支援ネットワーク（大牟田市要保護児童対策地域協議会）」等にも随時参加し、情報や取組の共有を行いました。

（４）問題行動を抱える児童生徒の在籍する学校へのＳＳＷの派遣

学校や保護者からの相談に対し、教育相談室での面談や電話での対応を行う中で、必要に応じて学校訪問や家庭訪問等を実施し、きめ細かな対応に努めました。

○学習指導員等配置事業〔学校教育課〕

（１）スクール・サポート・スタッフの各学校への配置（新型コロナウイルス感染症対策）

児童生徒の「学びの保障」のため、２８人のスクール・サポート・スタッフを各学校に配置し、学校内の消毒の実施等、教職員の業務支援を行いました。

○就学援助事業〔学務課〕

学校教育法等の関係法令及び大牟田市就学援助要綱に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助として学用品費、学校給食費、医療費等を支給しました。Ｒ２年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により家計が急変した世帯及び令和２年７月豪雨で被災した世帯に対し、就学援助の特例措置を実施しました。

また、心身的な理由により普通教室での就学が困難な児童生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費補助を支給しました。

さらに、高等学校及び高等専修学校への進学に必要な入学支度金や学費の一部を貸与する「公益財団法人福岡県教育文化奨学財団」の奨学金制度の周知を図り、奨学金申請事務を行いました。

① 就学援助費

（単位：人、千円）

区 分		H30 年度	R 元年度	R2 年度
支給者数	小・中学生	1,381	1,384	1,569
	未就学児	119	120	126
支給総額		121,669	108,701	117,180
（うち国庫補助金）		(1,517)	(1,754)	(2,185)
認定率（全児童生徒数に占める支給者の割合）（％）		17.7	17.9	20.4

② R 2 年度就学援助費の内訳

(単位：人、千円)

区 分	未就学児		小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
学 用 品 費 等	—	—	1,066	15,281	503	12,483	1,569	27,764
校 外 活 動 費	—	—	(0)	0	(0)	0	(0)	0
新入学児童生徒 学 用 品 費 等	—	—	(43)	2,226	(17)	1,091	(60)	3,317
修 学 旅 行 費	—	—	(197)	1,507	(151)	4,115	(348)	5,622
学 校 給 食 費	—	—	(1,066)	40,213	(500)	21,531	(1,566)	61,744
通 学 費	—	—	(1)	28	(0)	0	(1)	28
医 療 費	—	—	(192)	1,289	(47)	422	(239)	1,711
新入学学用品費 (入学前支給)	126	6,434	(176)	10,560	—	—	126 (176)	16,994
合 計	126	6,434	1,066	71,104	503	39,642	1,695	117,180

※人員の () は内数。

③ R 2 年度就学援助費特例措置 (抜粋)

(単位：人、千円)

区 分	未就学児		小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
新型コロナウイルスの 影響による家計急変	—	—	15	1,075	8	614	23	1,689
令和 2 年 7 月豪雨による被災	16	817	76	4,385	41	2,797	133	7,999

④ 特別支援教育就学奨励費

(単位：人、千円)

区 分	H30 年度	R 元年度	R2 年度
支給者数	69	78	72
支給総額	2,380	2,503	2,103
(うち国庫補助金)	(1,267)	(1,251)	(1,051)

⑤ R 2 年度特別支援教育就学奨励費の内訳

(単位：人、千円)

区 分	小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
学 用 品 費 等	49	274	23	143	72	417
校 外 活 動 費	(0)	0	(0)	0	(0)	0
新入学児童生徒学用品費等	(4)	101	(11)	316	(15)	417
修 学 旅 行 費	(7)	27	(3)	38	(10)	65
学 校 給 食 費	(46)	793	(19)	352	(65)	1,145
通 学 費	(0)	0	(1)	59	(1)	59
医 療 費	(0)	0	(0)	0	(0)	0
合 計	49	1,195	23	908	72	2,103

※人員の () は内数。

⑥ 奨学金制度の活用状況

(単位：人)

区 分	H30 年度	R 元年度	R2 年度
申 請 者 数	168	146	125
内 定 者 数	144	123	94

○災害救助法に基づく学用品等の支給〔学務課〕

令和2年7月豪雨により被災した児童生徒160人に対し、災害救助法に基づき、教科書、学用品等を現物支給しました。

○学校保健事業〔学務課〕

(1) 各種健康診断事業

学校保健安全法等の関係法令に基づき、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、児童生徒及び教職員の健康診断並びに翌年度から就学を予定している幼児を対象に就学時健康診断を実施し、有所見者には、二次検査や治療の勧告を行いました。

各種健康診断受診者数

(単位：人)

区 分	H30 年度	R 元年度	R2 年度
児 童 生 徒 健 康 診 断	7,808	7,698	7,669
教 職 員 健 康 診 断	366	353	338
就 学 時 健 康 診 断	877	823	805

(2) 災害共済給付事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づき、学校の管理下における児童生徒等の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）が発生した場合に災害共済給付（医療費、障害見舞金又は死亡見舞金）を支給するもので、医療機関からの診療報酬請求に基づいて医療費を支給しました。

① 災害共済掛金

(単位：千円)

区 分	H30 年度	R 元年度	R2 年度
個人負担総額	2,717	2,698	2,676
市 負 担 総 額	4,565	4,442	4,539
合 計	7,282	7,140	7,215

※ 1人当り災害共済掛金935円（個人負担420円、市負担金515円）。

② 災害発生件数と給付額

(単位：件、千円)

区 分	H30 年度		R 元年度		R2 年度	
	件 数	給付額	件 数	給付額	件 数	給付額
小学校	385	1,752	365	1,773	296	1,509
中学校	313	2,706	298	3,214	202	1,532
特別支援学校	5	20	3	14	5	32
合 計	703	4,478	666	5,001	503	3,073

○学校における感染症対策の強化〔学務課〕

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各学校にマスク、アルコール消毒液、石けん液等の衛生用品や、フェイスシールド、使い捨て手袋等の消耗品を配布しました。また、各教

室に換気ファンを設置するとともに、各学校にA I 体温検知カメラ等の備品を設置しました。

○学校給食休止時における保護者負担の軽減〔学務課〕

新型コロナウイルス感染拡大防止のための学校の臨時休業の措置（R 2 年 3 月 2 日から春季休業の開始日の前日まで）に伴う学校給食休止に係る学校給食費（食材費）が保護者の負担とならないよう、食材のキャンセル等に要した費用を市が負担しました。

○修学旅行のキャンセル料発生時の負担軽減〔指導室〕

新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校が修学旅行を中止又は延期し、若しくはその旅行先を変更したことで発生するキャンセル料の負担を軽減するため、該当する学校に補助を行いました（補助件数 5 件）。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の学校生活への満足度	目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を踏まえ 90％以上を目指します。 〔現状値：89.3％（H30 年度実績）〕
	実績値（％）	90.9				
	達成度（％）	101.0				

【指標達成度に対する要因分析】

「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業における、年間 2 回のリーダーミーティングの仕組みが整い、各取組が充実しました。児童生徒が日常生活において、当事者意識を持って「楽しい学校・いじめのない学校」づくりに取り組むことができました。「思いやり・親切」に係る標語やポスターの校内掲示等により、各学校の支持的風土の醸成が進みました。

その結果、児童生徒は自分たちの取組への満足感や自己有用感から児童生徒の良好な人間関係の構築が進み、目標の達成ができたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業等における児童生徒主体の取組を推進するとともに、児童生徒の実態把握の徹底による早期発見・早期対応や解消後の継続した取組の徹底を指導していきます。また、“ネット上や携帯電話のいじめ”が増加する傾向にあるため、「大牟田市児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」の保護者等への啓発を継続して行うとともに、いじめ防止対策推進法に基づくいじめ防止基本方針に係る取組を一層推進していきます。さらに、複雑化・多様化し学校だけでは解決困難な相談が増加しており、児童生徒の心理や家庭環境などの複雑な要因に対応できる社会福祉等の専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカーの活用や大学等と連携した取組の充実を図ります。

就学援助事業については、全児童生徒数に占める支給者数の割合は約 20.4％となっており、約 5 人に 1 人が対象となっている状況です。子どもの貧困対策の推進に関する法律などの関係法令の趣旨を踏まえ、今後も引き続き、援助が必要な児童生徒等の保護者に対し、「広報おおむた」や学校等を通じて就学援助制度の周知を図るとともに、申請手続面の負担軽減も図りながら、必要な援助を適切な時期に実施できるよう努めていきます。また、実態も考慮しながら、よりよい就学援助制度について検討していきます。さらに奨学金についても、財団法人福岡県教育文化奨学財団の奨学金制度のほか、家庭の状況に応じた奨学金制度等についても学校との連携のもとに周知を行うことで就学支援の充実を図っていきます。

学校保健事業については、児童生徒及び教職員等を対象とした各種健康診断事業において、有所見者に対し二次検査や精密検査の受診を勧奨することで、早期発見、早期治療を促し、児童生徒等の健康の保持増進に努めるとともに、災害共済給付事業についても、各学校と連携し災害発生時における適正な医療費等の給付に努めていきます。

主要施策 2 学校・家庭・地域の連携

大牟田地域教育力向上推進協議会との連携により、児童生徒の規範意識の育成や「共育」と「響育」の風土の醸成を推進するとともに、保護者や住民の力を学校運営に活かした、地域とともにあるユネスコスクールの体制に関する研究に取り組むなど、学校・家庭・地域の連携を推進します。

【主な事業】

○大牟田地域教育力向上推進協議会との連携〔指導室〕

- (1) 大牟田地域教育力向上推進協議会への補助金の交付
学校教育・家庭教育・地域教育の向上を目指した取組を行っている大牟田地域教育力向上推進協議会に対し、その運営及び活動を助成するため、92.3万円の補助金を交付しました。
- (2) 大牟田地域教育力向上推進大会の共催
大牟田地域教育力向上推進協議会の中に設置している実行委員会と連携し、R3年1月30日（土）に文化会館において大牟田地域教育力向上推進大会を開催（無観客）しました。大牟田大使でクリエイティブ・ディレクターの道山智之さんからメッセージをいただきました。
- (3) 教育力向上に関する啓発資料の作成・配布の共同実施
教育力向上に関する啓発資料を作成し、4月に各学校から保護者に配布しました。
また、長期休業中の好ましい生活習慣等についてのチラシを作成し、2学期の終業式の日（12月24日（木））に、ゆめタウン大牟田において協議会役員が市民に配布しました。
- (4) 「ありがとうの日」の作文の募集・表彰の共同実施
毎月10日を「ありがとうの日」とし、各学校でのぼり旗を掲げました。7月の校長会において「ありがとうの日」の作文の募集について周知し、9月から10月まで募集を行い、8,958件の応募がありました。
12月に審査を行い、各学校において入賞者の表彰を行いました。
- (5) 中学校区教育力向上の促進
大牟田地域教育力向上推進協議会の地域部会である大牟田市中中学校区教育力向上連絡協議会が中心となり、各中学校区において、校区の実態に応じて、マナーアップ3運動「挨拶運動・環境美化運動・交通安全運動」に取り組みました。

○学校評価推進事業〔指導室〕

- (1) 学校の自己評価、結果公表に係る指導助言
各学校に対し、重点目標や教育活動全般に関する学校評価計画を立て、その評価計画に基づいて、学校の自己評価並びに結果の公表を計画的に行うよう指導しました。
各学校の評価結果（学校評価報告書）については、各学校のホームページに掲載して公表しました。
- (2) 学校関係者評価委員会の開催に係る指導助言
各学校では、学校評議委員、地域代表、保護者代表、接続する関係学校代表等によって構成される学校関係者評価委員会を設置し、計画的に学校関係者評価委員会を開催しています。学校関係者評価委員会では学校の重点目標に係る成果指標や取組指標等の設定の説明や客観的資料に基づき達成状況等の報告を行うよう指導助言を行いました。
各学校では、3学期に自校の教育活動や学校経営について自己評価を行い、学校関係者評価委員会において自己評価の結果について評価が行われました。各学校は、評価結果とそれを踏まえた改善計画を学校評価報告書としてまとめ、教育委員会に報告しました。

○学校評議員制推進事業〔学校教育課〕

学校長からの推薦を受け、小・中・特別支援学校に合計 87 人の学校評議員に委嘱を行いました。学校長が学校評議員から基本的に年 3 回の意見聴取を行う中で、専門的な識見からの考え方や地域住民・保護者の意向を学校運営に反映し、学校の課題解決に役立てるとともに、学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育に関わる地域に開かれた学校づくりを推進しました。

○土曜日授業の推進〔指導室〕

(1) 学校・家庭・地域の連携の視点からの土曜日授業の推進

小学校においては、年間 5 回、中学校においては年間 3 回（各学期 1 回程度）の土曜日授業を計画的に実施し、保護者や地域への学習公開を行ったり、保護者や地域の人材を活用した多様な体験学習等を実施したりするなど、学校の教育活動の充実を推進する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、回数を減らしたり、保護者や地域への学習公開を中止したりする学校もありました。

○大牟田版コミュニティ・スクール推進事業〔学校教育課、指導室〕

(1) 「大牟田版コミュニティ・スクール構想」の推進

保護者や住民の力を学校運営に活かした、地域とともにある「大牟田版コミュニティ・スクール構想」の実現に向けて、全ての市立学校がユネスコスクールとして地域とのつながりを構築しているという本市の特性を踏まえるとともに、他市のコミュニティ・スクールの状況も参考としながら研究を進めました。研究を通して得られた知見に基づき、大牟田市学校運営協議会規則を制定し、10月1日から施行しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
学校教育活動へのゲストティーチャーの参加数	目標値（人）	1,900	1,900	1,900	1,900	現状値を踏まえ 1,900 人以上を目指します。 〔現状値：1,898 人（H28～30 年度平均）〕
	実績値（人）	1,092				
	達成度（％）	57.5				

【指標達成度に対する要因分析】

大牟田地域教育力向上推進協議会の取組の推進により、各学校並びに各中学校区の特色に応じた学校・家庭・地域が一体となった取組が展開されるとともに、各学校において、自校の教育活動に関する情報の発信や、地域や保護者の意向の学校運営への反映など、地域に開かれた学校づくりが推進され、学校教育における学校・家庭・地域の連携が充実しました。

各学校の特色ある教育活動や学習環境の整備等における地域の方々やゲストティーチャーの活用については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校教育活動への参加を控えていただいたことから、目標の達成には至りませんでした。

【今後の方向性】

今後も、大牟田地域教育力向上推進協議会の取組の推進による学校・家庭・地域が一体となった取組の推進を図るとともに、学校評価推進事業や土曜日授業の充実・推進に取り組み、各学校における開かれた学校づくりへの支援・指導を行っていきます。

学校評議員制推進事業については、学校長が学校評議員から、地域への授業公開の在り方、地域住民の教育活動への参加、学校行事の運営や安全管理の在り方、小中連携の方策など多岐にわたり学校運営を支援する意見をいただいております、これらの意見を参考に検討を進めていきます。

大牟田版コミュニティ・スクール推進事業については、R 3 年度から、大牟田版コミュニティ・スクール推進モデル校（小学校 1 校）を指定し、モデル校の学校運営協議会において、学校運営に関する協議を開催するとともに、地域学校協働本部において、地域学校協働活動推進員を中心に学校支援活動等についての協議・支援活動の実施などに取り組んでいきます。また、モデル校での取組の成果と課題を市全体で共有し、学校、保護者及び地域住民が相互に信頼関係を深め、地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組んでいきます。

基本施策Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進

市民一人ひとりが互いの人権を尊重することの重要性を認識し、人権問題に対する正しい理解を深めるため、関係機関と連携しながら人権教育・啓発活動に取り組みます。

主要施策 1 人権・同和教育の推進

学校教育活動全体を通じて、人権尊重の視点を取り入れた教育を推進し、児童生徒に偏見や差別意識をなくす意欲と実践力を涵養し、人権が尊重される社会の基礎づくりを進めます。

また、人権・同和教育研究協議会等と連携しながら、広く市民を対象に、人権についての学習活動や啓発活動を推進し、人権が尊重される社会の形成を進めます。

【主な事業】

○人権・同和教育推進事業〔指導室〕

(1) 学校教育活動全体を通じた人権・同和教育の推進

各学校において、人権・同和教育の全体計画を作成し、県教育委員会作成の副読本「かがやき」や教材集「あおぞら」を活用しながら、学校の教育活動全体を通して、児童生徒の実態に応じ人権・同和教育を推進するよう指導しました。

(2) 教職員研修の開催

教職員研修については、各学校において、授業による校内研修会を計画的に実施するとともに、大牟田市人権・同和教育研究協議会と連携して実践交流会に参加し、学校の人権・同和教育の充実に努めるよう指導しました。

(3) 各種研究会への参加

県教育委員会、県人権・同和教育研究協議会等が主催する各種研究会への参加の促進を図りました。

●人権・同和問題啓発事業〔人権・同和教育課〕（23ページを参照）

(1) 「人権・同和教育講演会」の開催

と き R 3 年 2 月 7 日（日）

ところ 大牟田市労働福祉会館 中ホール

内 容 講演会「ネット人権侵害と部落差別の現実～コロナ禍で問われていること～」

講 師 川口 泰司（山口県人権啓発センター事務局長）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

(2) 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）及び人権週間（12月）の街頭啓発

と き 1 2 月 4 日（金）

ところ ゆめタウン大牟田

※7月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

(3) 「人権学習会」の開催

と き 1 1 月 2 7 日（金）

ところ 大牟田市労働福祉会館 中ホール

参加者 57人

内 容 学習会「炭鉱と人権 ～与論島から来て大牟田の礎を築いた人たち～」

講 師 大牟田市人権・同和教育研究協議会研究員

(4) 講師派遣と啓発情報提供

企業や団体等が開催する研修会に地域活動指導員を講師として派遣し、人権学習を推進

しました。また、ホームページにより各種啓発事業や地域や職場での学習を支援するための啓発資料の案内を行うとともに、「広報おおむた」に啓発に関する記事や事業の案内を掲載するなど、情報提供しました。

○大牟田市人権・同和教育研究協議会との連携〔人権・同和教育課〕

（１）大牟田市人権・同和教育研究実践交流会の共催

第２４回人権・同和教育研究実践交流会

と き １０月２２日（木）

ところ 大牟田文化会館

参加者 ８１人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加人数を制限して開催しました。

内 容 講演会「差別の被害者も加害者もださないために一部落史学習をどう進めるかー」

講 師 外川 正明（京都教育大学名誉教授・鳥取環境大学名誉教授）

（２）課題別委員会「子ども就学支援」の支援

課題別委員会「子ども就学支援」で、「２０２０（令和２）年度版 おおむた子ども支援ガイドブック～子どもを、家庭をチームワークで支えるために～」を作成し、学校をはじめとして大牟田市人権・同和教育研究協議会加盟団体に配付するとともに、ホームページに掲載し情報提供を行いました。

（３）人権連続講座の共催

①第１回

と き Ｒ３年２月２６日（金）

ところ 中央地区公民館

内 容 講演会「水俣病を学ぶ意味」

講 師 永野 三智（一般財団法人水俣病センター相思社常務理事）

②第２回

と き Ｒ３年３月５日（金）

ところ 中央地区公民館

内 容 講演会「ハンセン病と差別」

講 師 林 力（ハンセン病家族訴訟原告団長）

岡口 洋（一般社団法人いのちのライツ ～ハンセン病差別をなくす会ふくおか～ 理事）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため第１回、第２回とも中止しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
人権尊重意識の醸成度	目標値（％）	100	100	100	100	諸事業の参加者アンケートで、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」と全ての人に回答していただくことを目指します。 〔現状値：96.5%（H30年度実績）〕
	実績値（％）	93.4				
	達成度（％）	93.4				

【指標達成度に対する要因分析】

R 2 年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業があった中、人権学習会における「人権尊重意識の醸成度」については、目標値には届かなかったものの、ほぼ近い数字となりました。

【今後の方向性】

諸事業を開催するに当たっては、開催テーマに対する理解や認識を深めてもらうとともに、若年層を含めた幅広い市民の参加が得られるように企画、周知することも重要です。このことから、周知方法についても、「広報おおむた」やホームページ、「ちようどよ課」、「FMたんと」等を活用し、広く周知、啓発していきます。

教 育 施 策 の 推 進 状 況

(市 長 部 局 関 係 分)

「大牟田市まちづくり総合プラン」より

市長部局関係分においては、総合計画「大牟田市まちづくり総合プラン」第1編に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策に係る実績を掲載しています。

「大牟田市まちづくり総合プラン」施策体系（関係分の抜粋）

第1編 はぐくみ 未来を拓く人がはぐくまれています

第4章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち

視点1 次世代を担う子どもをはぐくむ

視点2 ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

視点3 学習環境の整備・充実

視点4 青少年の問題行動や悩みへの対応

第5章 スポーツを通して生きがいに満ち、活気にあふれるまち

視点1 気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり

視点2 スポーツ活動を支える仕組みづくり

視点3 スポーツがしやすい環境づくり

第6章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち

視点1 まちの歴史や文化を知る・学ぶ

視点2 文化芸術事業の充実

視点3 文化芸術の環境づくり

成果指標の令和2年度実績値

施策	成果指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R2年度)	実績値 (R2年度)	達成度 (R2年度)
第4章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち ※点検・評価の対象	将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生の割合(※1)	—	90.0%	77.8%	86.4%
	地域にある課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合(※2)	47.5%	50.0%	46.2%	92.4%
第5章 スポーツを通して生きがいに満ち、活気にあふれるまち ※点検・評価の対象外	1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率(※3)	41.6%	50.0%	38.5%	77.0%
第6章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち ※点検・評価の対象外	1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合(※4)	57.9%	80.0%	44.5%	55.6%

※1:実績値(R2年度)は、事業に参加した高校生等向けのアンケート結果による。

※2～4:実績値(R2年度)は、「まちづくり市民アンケート」集計結果による(18歳以上の市民1,000人を無作為抽出して実施し、546人が回答)。

令和2年度重点事業（市長部局）

まちづくり総合 プラン第1編		事業名	ページ
章	視点		
4	1	高校生まちづくり体験事業（次世代を担う人づくり事業）	65
4	2	学校ESD支援事業	66

令和2年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：生涯学習課)

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち (視点1) 次世代を担う子どもをはぐくむ 高校生まちづくり体験事業(次世代を担う人づくり事業)(69・70ページ参照)
-----	--

目的 高校生等を中心とした概ね18歳までの世代が自ら考え、企画した事業等を実践・運営し、多くの人とひとつのことをやり遂げることで、仲間意識や達成感を得るとともに、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けることを目指します。						
事業内容 高校生等が、事業内容を自ら企画し実践するとともに、地域や青少年団体をはじめとする様々な団体が高校生等の活動を支援・助言することで、高校生が大人に感謝や憧れを持ち、将来のまちづくりに対する意識が芽生えるような事業とします。また、高校生等の活躍を見た小・中学生が、高校生等に憧れを持つことで、地域における支援が継続していくような事業を実施します。 具体的な事業として、次の2事業を実施します。 ○ふるさと魅力発見ウォーク 小・中学生と共に長距離を歩き抜くことで、チャレンジ精神を育み、実践力と豊かでたくましい青少年の育成を目指します。さらに、コース等について企画する中でふるさとの魅力を発見する機会とします。 ○総合発表会 高校生が自ら企画・運営を行うことで、達成感や自信とともに、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けます。また、発表会を活用し、地区公民館等のサークルによる小・中・高等学校への支援や相互の交流等を促す地域づくりを目的とした事業を行います。						
指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
参画した高校の数	目標値(校)	5	6	7	8	R5年度に市内の高校・高等専門学校全校の参画を目指し、年1校ずつ増加
	実績値(校)	6				
	達成度(%)	120				

取組実績 ○高校生まちづくり体験事業推進協議会 本事業を支援することを目的として、青少年団体等から組織する協議会を創設しました。 ○ふるさと魅力発見ウォーク コロナ禍の中でしたが、想定していた1泊2日を日帰りに縮小し、「青春(アオハル)Walk」と称して事業を実施しました。ポスターやチラシ等の活用により市内の高校等全校へ事業の周知を図り、事業を企画・運営するスタッフを募集し、23人(市内の高校等に通う生徒6校20人、市外の高校等に通う生徒3人)の参加がありました。 11月から企画会議を実施し、参加した高校生は企画・立案に真剣に取り組み、大牟田の新たな魅力発見にも力を注いでくれました。企画途中での緊急事態宣言発令により、全体での企画会議の中止や小・中学生の参加者募集を断念する状況となりましたが、高校生スタッフとともに実施可能なコースやレクリエーションを再協議し、R3年3月20日(土・祝)に試行的な事業を高校生21人の参加で実施することができました。 ○総合発表会(新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施)						
		国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	182 千円 千円)	91				91

問題点及び課題 高校生個人の参加は募ることができましたが、コロナ禍の中、学校としての参画が厳しい状況が続いています。また、高校生と地域の方々との交流の機会等の提供も困難な状況となっています。このような状況において、高校生等の達成感やふるさとへの愛着が高めることができるような事業の組み立てが必要となっています。						
今後の方向性(具体策) 高校等の参画を募るため、各高校等に対して事業の重要性の説明の強化を図ります。 企画スタッフを確保するため、ポスターやチラシ、広報等の活用に加え、青少年団体等にも呼びかけるなど、事業の更なる周知を図ります。 高校生等が参加意義を見つけることができるよう事業の組み立てを支援します。						
評価 事業に参加した高校生23人全員から「参加してよかった」とのアンケート回答がっており、今後とも、より多くの高校生等に事業の体験の機会を提供できるよう取り組みます。						

令和2年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：生涯学習課)

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち (視点2) ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり 学校ESD支援事業(76ページ参照)
-----	---

目的
地区公民館が、学校教育のESDに対して必要に応じた協力を行うことで、社会教育におけるESDを推進することができます。また、学校教育におけるESDも効果的に実施できることが考えられます。

事業内容
学校が進めているESDの取組みのうち、地域の支援が必要な取組みについて、地区公民館が地域とのコーディネートを行うもの。地区公民館が学校のニーズを把握し、ニーズに応じた地域との調整や必要な支援を行います。

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
支援を行った小・中・特別支援学校の数	目標値(校)	4	6	8	10	R5年度に小学校7校、中学校特別支援学校3校の支援を目指し、年2校ずつ増加
	実績値(校)	7				
	達成度(%)	175				

取組実績
○地域の大人が子どもたちに絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア講座を実施し、子どもたちが描いた絵手紙を校区内の高齢者に届ける取り組みを実施しました。【天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校】 ○地域、学校が連携し種から花を育てることにより、地域の絆を深めました。【銀水小学校、田隈中学校】 ○小学校の海洋教育として実施されるカヌー乗船体験学習を支援しました。【駛馬小学校、天領小学校】 ○このほか、児童・生徒の学習活動の成果発表の場として、地区公民館のロビー等を活用し、展示発表を実施しました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	16 千円 千円)				16

問題点及び課題
地区公民館の機能や役割について、学校職員への周知が十分ではないため、提供できる支援についての理解が不足しています。 同一内容の事業を複数の学校で実施しているため、新たな分野での取り組みが必要です。

今後の方向性(具体策)
学校のニーズを把握するため、学校が取り組むESDについて理解を深めることが必要です。 学校に提供できる支援を明確にするため、地区公民館ができることをメニューにして提示するなど、わかりやすい仕組みを構築します。

評 価
目標を上回る7校(小学校5校、中学校2校)で事業に取り組むことができ、学校と地域をつなぐ役割ができました。学校・地域との連携をさらに深め、事業を実施していきます。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち
次世代を担う子どもたちを中心に、ともに学び、考え、行動する人がはぐくまれるまちを目指します。 そのため、子どもたちの人間性、社会性、郷土愛などを地域や社会全体ではぐくむとともに、全世代にわたり、社会の課題を身近な問題ととらえ、地域での「つながり」や「関係性」を大切にすることをはぐくみ、持続可能な地域づくりを進めます。	

【視点1】次世代を担う子どもをはぐくむ

次世代を担う子どもたちが、さまざまな体験や活動を通じて社会を生き抜く力を身に付けるとともに、郷土愛や将来にわたってまちづくりに参画する姿勢をはぐくむ取組みを行います。

また、高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が、学習活動や地域活動を通じて子どもの成長を支えるとともに、自らも人生100年時代における人づくりへとつながるような取組みを進めます。

【主な事業】

○子ども交流体験事業〔生涯学習課、公民館〕

（1）子ども交流体験活動事業〔公民館〕

地区公民館において、食や環境等をテーマに、ものづくりや自然体験、公民館での宿泊体験など子どもたちの体験活動講座を12講座開催しました。（9事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

（各講座の詳細は、134～147ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（2）子ども未来デッサン事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕

小学校中・高学年（3～6年生）が、自分の将来のことを考え、夢や目標を見つけるきっかけをつくるとともに、未来へ向かって頑張る姿勢を身に付けてもらうための一助となることを目指した講座です。

様々な職業人から、子ども達へ現在の職業に就いたきっかけや、夢を実現させるために努力したこと、仕事のやりがいや様子などの話をいただきました。

H26年度から29年度までの3年間、生涯学習課で実施していましたが、H30年度から地区公民館事業として実施しています。

職 業	講 師	と き	と ころ	受講者数
中華料理人	柴尾 俊之	11月22日（日）	手鎌地区公民館	13人
ファッションデザイナー	中村 哲大	11月29日（日）	手鎌地区公民館	19人
一級建築士	内記 英文	12月6日（日）	手鎌地区公民館	21人
メイクアップアーティスト	伊藤 直子	R3年 1月30日（土）	手鎌地区公民館	18人
救急救命士	帝京大学福岡医療技術学部 医療技術科救急救命コース 准教授 西園 与之	R3年 2月21日（日）	手鎌地区公民館	12人
海外で活躍している人	国際協力推進員 元青年海外協力隊 鬼丸 武士	R3年 3月21日（日）	手鎌地区公民館	9人

（3）通学合宿や子どもの居場所への支援

①通学合宿支援事業

通学合宿は、子どもたちが家庭を離れ、異年齢集団で地区公民館等に寝泊りしながら学校に通う取組です。買い物、食事作り、掃除等の身の回りの基本的なことは、ボランティアの支援のもと、子どもたちができるだけ自分たちで行います。

ア 新規実施校区を対象とした通学合宿モデル事業

行政と校区の実行委員会が連携して通学合宿を実施することにより、今後地域が自主的な取組で通学合宿を実施するための準備期間とするとともに、通学合宿への認知度の向上を図ることを目的としています。R 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施には至りませんでした。

イ 県委託を受けて通学合宿を実施する団体への支援

県からの委託を受けて通学合宿に取り組む実行委員会に対し、県との連絡調整、事業実施に当たっての支援を行うものです。R 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施には至りませんでした。

ウ 自主的な取組で通学合宿を実施する団体への補助

自主的な取組で通学合宿を実施する団体に対して補助金の交付を行うものですが、R 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施する団体はありませんでした。

エ 通学合宿ボランティアの育成

通学合宿の意義と必要性を理解し、生活面での全般的な指導を行うことができるボランティアを養成することを目的として、新規で実施する校区を対象に通学合宿ボランティア養成講座を実施しています（R 2 年度は実績なし）。

②子どもの居場所づくり支援事業〔生涯学習課〕

ア 子どもの居場所づくりに取り組む団体への補助

（ア）子どもの居場所づくり運営費補助金の交付

各地域で自主的に「子どもの居場所」を開設する実行委員会等 15 団体（定期開設 15 団体、長期休業期間中開設 0 団体

※定期開設のうち 2 団体は新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業未実施となったことから、補助金は全額返還）に対して運営費の一部を補助しました。

・市補助金交付団体【定期開設】 15 団体

	交付団体名	開催数	経年
1	「なかよし広場」文化サークル実行委員会	月 1 回	16 年目
2	友・遊広場見守り隊	月 2 回	16 年目
3	三池みんなの広場実行委員会	月 1 回	16 年目
4	吉野校区子どもの居場所委員会	月 1 回	16 年目
5	平原小学校父母教師会	月 1 回	15 年目
6	手鎌地区公民館子どもの居場所「わくわく広場」実行委員会	月 1 回	14 年目
7	大牟田視聴覚教育クラブ	月 1 回	14 年目
8	みんなの広場・羽山台世話人会	月 1 回	11 年目
9	プレーパークおおむた遊ばせ隊	月 1 回	10 年目
10	高取校区子どもの居場所実行委員会	月 1 回	10 年目
11	大牟田市護身道連盟スポーツチャンバラ協会	月 2 回	9 年目
12	みんなあつまれ子どもの居場所実行委員会	月 1 回	8 年目
13	ひまわり広場実行委員会	月 4 回	6 年目
14	大正こどもの居場所実行委員会	月 1 回	3 年目
15	げんきいっぱい白川っ子実行委員会	月 1 回	2 年目

・市補助金交付団体【長期休業期間中開設】 ※R 2 年度なし

・自主運営等の団体数 4 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	駛馬地区アンビシャス広場委員会	週 2 回
2	勝立地区アンビシャス広場委員会	週 2 回
3	カルタンひろば（三池・カルタ歴史資料館）	休館日を除く毎日
4	吉野ぼけっと実行委員会	月 4 回

※「自主運営等の団体」とは、市の補助金の交付を受けない団体をいいます。

不定期開設運営等の団体数 2 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	明治きらめき広場	年 2 回
2	上内なかよし広場	年 2 回

イ 啓発活動

（ア）各居場所の活動予定を示したポスターを毎月発行

（イ）子どもの居場所通信（第 1 号）の発行

（ウ）子ども会説明会での居場所啓発（説明会開催中止のため資料配布にて啓発）

ウ 子どもの居場所等連絡協議会における情報交換、研修、体験活動の実施

（ア）情報交換の開催（7 月、12 月、3 月）

大牟田市子どもの居場所等連絡協議会の情報交換会を年 3 回開催し、延べ 60 人が参加しました。

（イ）研修会の開催

と き 12 月 5 日（土）

ところ 手鎌地区公民館 視聴覚室

参加者 24 人

テーマ 子どもの居場所事例発表

講 師 プレーパークおおむた遊ばせ隊 代表 齋木 聖子

大正こどもの居場所 代表 松永 公幸

（ウ）体験活動（「わくわく子どもまつり」）の実施

と き R3 年 3 月 7 日（日） ※感染拡大防止のため中止

●高校生まちづくり体験事業（次世代を担う人づくり事業）〔生涯学習課〕（65 ページを参照）

（1）ふるさと魅力発見ウォーク

①高校生等企画スタッフ募集

募集方法 「広報おおむた」（10 月 15 日号）、ポスター、チラシ等

募集期間 10 月 15 日から 30 日まで

応募者数 23 人（明光学園高等学校 7 人、三池工業高等学校 5 人、大牟田北高等学校 4 人、大牟田高等学校 2 人、三池高等学校 1 人、有明工業高等学校 1 人、市外高等学校 3 人）

②企画会議等開催

第 1 回 11 月 21 日（土）

第 2 回 12 月 19 日（土）

第 3 回 R3 年 1 月 23 日（土）

※新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令のため中止

第 4 回 R3 年 2 月 13 日（土）

※グループ単位での短時間会議に変更（2 月 18 日（木）・19 日（金）実施）

第5回 R3年3月13日(土)

第6回 R3年3月23日(火)

③事業実施

青春(アオハル)Walk実施

実施日 R3年3月20日(土・祝)

参加者 高校生21人、推進協議会会員3人

コース 新大牟田駅～道の駅～リフレスおおむた(昼食・レクリエーション)～
新大牟田駅

(2) 総合発表会(R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施なし)

(3) 高校生まちづくり体験事業推進協議会

①創設 11月18日(水)

②協議会開催

第1回 11月18日(水)

第2回 R3年3月30日(火)

○子どもの読書推進事業〔生涯学習課〕

R2年度は、子ども読書推進にかかる広報啓発とともに、「大牟田市子ども読書推進計画」に基づき、次のような取組を行いました。

(1) ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者が、絵本をとおして、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける取組みとして、新生児に、絵本や布バッグ、お薦めの絵本やおはなし会の情報を紹介したリーフレット(ブックスタートパック)を全ての新生児に配布するブックスタート事業を実施し、R2年度は654人の新生児に配布しました。

なお、例年、読み聞かせの実演や赤ちゃんと絵本を通してコミュニケーションを楽しむ体験ができる「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」を読書ボランティア及び図書館の協力により実施していますが、R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

講座に代わるものとして、NPOブックスタートが制作した動画「赤ちゃんといっしょにえほん」をブックスタートパックに同封するリーフレットやホームページ、「広報おおむた」に掲載し、広く周知しました。

(2) 子ども読書推進啓発事業

①ホームページへの記事作成・更新

おはなし会の情報や子どもの読書イベントの情報を毎月更新しました。(携帯電話用のページも毎月更新)。

②学校の子どもの読書活動に係る取組み状況に関するアンケートの実施

児童・生徒を含めた子どもの読書活動を一層推進するため、各学校の現在の取組み状況を把握するためのアンケート調査を実施しました。

○子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕

(1) 親子運動セミナー

子どもにとってスポーツは、生涯にわたって健康や体力を保持・増進するための大切な活動であり、幼少期からスポーツを経験することの重要性を伝え、スポーツの恒常性を図るため、親子で参加でき、子どもが運動・スポーツを好きになる「親子運動セミナー」を実施し、子どもの成長に合わせた運動の必要性の理解のための親を対象としたセミナーや、アビスパ福岡コーチを講師にボールを使用した運動などを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

期日	内容	場所	参加者数
6月14日(日)	子どもの体力測定、保護者セミナー	大正小学校	- 人 (-組)
6月21日(日)	親子で運動遊び	大正小学校	- 人 (-組)
7月12日(日)	親子で運動遊び	大正小学校	- 人 (-組)
9月20日(日)	親子で運動遊び	大正小学校	- 人 (-組)
10月4日(日)	子どもの体力測定	大正小学校	- 人 (-組)

○スポーツ少年団育成委託事業〔スポーツ推進室〕

スポーツ少年団員の体力・健康の現状を把握しその増進を図るとともに、各少年団相互の親善と友情を深めるための事業（体力テスト）を実施し、また、スポーツ少年団の加入促進を図るため、機関紙「おおむたしスポーツ少年団ニュース」を作成し普及促進を図りました。

期日	内容	場所	参加者	
			団体数	人数
12月12日(土)	体力テスト	市民体育館	21	174
R3年2月14日(日)	交流ドッジボール大会(中止)	市民体育館	-	-

スポーツ少年団の加入状況

区分 \ 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
スポーツ少年団数	41	39	37
加入者数	646	624	543

○おおむたっ子ががんばれ奨励金事業〔生涯学習課、スポーツ推進室〕

18歳以下の市民が地区予選を経て全国レベルの大会又は国際大会に出場する場合に、青少年の育成、スポーツ・文化の振興、選手・出場者の意欲の向上に寄与するため、青少年健全育成基金を活用し、「おおむたっ子ががんばれ奨励金」を交付しました。

区 分		H30 年度	R 元年度	R2 年度
スポーツ	全国大会等出場者数	167 人	147 人	53 人
	交付額	501 千円	461 千円	159 千円
文化芸術	全国大会出場者数	18 人、1 団体	25 人、3 団体	3 人、1 団体
	交付額	154 千円	345 千円	159 千円

○各世代に応じた学習活動支援事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕

高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が学習活動や地域活動を通じて子どもの成長を支えることで、自らも活躍できるような人生100年時代に向けた人づくりを進めるため、あらゆる層の市民が参加できる学習機会の提供として、14講座を開催しました。

(2講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

(各講座の詳細は、134～147ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(2) 大牟田市子ども会育成者連絡協議会及びPTA連合会活動等への支援〔生涯学習課〕

①子ども会活動支援事業

ア ジュニアリーダー、イン・リーダーの育成

大牟田市子ども会育成者連絡協議会と共催で、市子ども会イン・リーダー養成講座を実施しました。

と き	内 容	と ころ	参加者数
8月8日(土) ～9日(日)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	リフレスおおむた	—
11月1日(日)	仲間づくり・新型コロナウイルス感染予防を考えたゲーム作り・新型コロナウイルス感染予防を考えたゲームの体験	リフレスおおむた	9人
R3年 1月24日(日)	※新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令のため中止	えるる	—

イ 親善交流大会（ドッジビー大会、カルタ大会）

（ア）ドッジビー大会

と き 9月22日（火・祝）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

（イ）新年カルタ大会

と き R3年1月11日（月・祝）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

（ウ）子ども会（安全共済会）説明会の実施

と き 4月12日（日）

※新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令のため中止し、資料配布により周知等を実施

内 容 子ども会の重要性や育成会の役割等

※資料配布後、子ども会安全共済会の加入受付を生涯学習課で受け付け、40団体が加入しました。

② P T A活動支援事業

ア 広報紙コンクール、広報紙研修会の実施

（ア）P T A広報紙コンクールの実施

第35回P T A広報紙コンクールを、大牟田市、大牟田市教育委員会、大牟田市立小・中・特別支援学校P T A連合会の共催により実施しました。作品は、R元年度発行の新聞を対象としました。

応募校数27校（小学校19校、中学校8校）

表彰 大牟田市長賞：大牟田中央小学校父母教師会、歴木中学校父母教師会

大牟田市教育委員賞：羽山台小学校父母教師会、甘木中学校父母教師会

大牟田市立小・中・特別支援学校P T A連合会賞：

銀水小学校父母教師会、宮原中学校父母教師会連合会

優秀賞：平原小学校父母教師会、中友小学校父母教師会、

みなと小学校父母教師会、宅峰中学校父母教師会

（イ）P T A広報紙研修会の開催

と き 5月19日（火）に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

（ウ）P T A連合会の研修会の委託

R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しませんでした。

○家庭教育支援事業〔生涯学習課・公民館〕

（1）家庭教育講座〔公民館〕

家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、幼児、小学校低学年・高学年、思春期などに区分し、「家庭教育講座」を5講座開催しました。（2講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

(各講座の詳細は、134～147ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(2) 子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕

地域の子育て中の保護者が子どもと一緒に気軽に集える場を提供し、利用者間の交流や子育てについての学びあいを支援するため、三池地区公民館と手鎌地区公民館において子育てふれあい広場を開設しています。

R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から9月まで、1月から2月までは開設中止としました。

①三池子育てふれあい広場（じゃじゃり子み〜け）・月曜日開設

大人延べ利用者数	73人
子ども延べ利用者数	84人
延べ利用者数	157人
開設日数	10日

②手鎌子育てふれあい広場（れもんぐらす）・金曜日開設

大人延べ利用者数	62人
子ども延べ利用者数	75人
延べ利用者数	137人
開設日数	11日

③ボランティアスキルアップ講座

子育て中の保護者が、子どもと一緒に安心して過ごせる子育てふれあい広場づくりを目指しつつ、本来の形であるボランティア中心の子育てふれあい広場の運営が難しいのが現状であったため、ボランティアのスキルアップを目的とする研修を実施していますが、R2年度は感染拡大防止のため実施しませんでした。

(3) 子育て情報誌「おおむたっ子」の発行〔生涯学習課〕

子どもの様々な体験活動を充実させるとともに、家庭教育や次世代育成を支援するため、子どもの体験活動の機会や子育て支援に関する情報を収集・提供する事業を、市民ボランティアと行政で組織する運営委員会において実施しました。年3回（7月・11月・3月）発行し、発行数は延べ34,500部でした。

(4) 幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施

①就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕

小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、入学説明会の機会を活用して家庭教育のあり方やしつけについての子育て講座を地区公民館と連携して実施しました。

19講座（19小学校区）参加者数671人（入学予定者数の81.9%）

②幼児期子育て講座〔生涯学習課〕

3歳から就学前までの発達段階に応じた子どもとの関わり方や生活習慣づくりの大切さ、子育ての楽しさを伝えることで、保護者自身の心の安らぎや成長を支援することを目的とし、幼児期の子どもを持つ保護者を対象に「幼児期子育て講座」を実施しました。

と き	R3年2月14日（日）
と ころ	えるる
参加者数	39人

〇わくわくシティ基金事業〔スポーツ推進室、生涯学習課〕

スポーツ・文化の振興を通じた青少年の人材育成、地域活性化を目的とし、スポーツ・文化の振興につながる事業を助成するものです。

スポーツ分野は、中友剣道スポーツ少年団による「中友剣道スポーツ少年団創立60周年記念大会」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためR3年度に延期しました。

文化芸術分野は、こども花だんプロジェクトによる「キッズ花フェスタ」と、ダンスによる若者育成事業実行委員会による「ダンスチャレンジおおむた」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためR3年度に延期しました。

○文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕（再掲）

（第1編第6章・視点2の104・105ページを参照）

○文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業〔生涯学習課〕（再掲）

（第1編第6章・視点3の106ページを参照）

【視点２）ＥＳＤを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

市民の主体的な学びや活動の機会を設けるにあたり、人と人、人と地域、地域と地域の「関わり」・「つながり」をはぐくむといったＥＳＤの視点を持った取組みを展開することで、「人づくり」・「つながりづくり」を進めます。それにより、地域が直面する課題を市民自らが発見し共有し解決していく、持続可能な「地域づくり」へとつなげていきます。

【主な事業】

○生涯学習ボランティア登録派遣事業〔生涯学習まちづくり推進本部・生涯学習課〕

（１）生涯学習ボランティア登録派遣事業

市民の学習を支援するボランティアを登録し、市民からの求めに応じてコーディネートを行い派遣する「生涯学習ボランティア登録派遣事業」を実施しました。Ｒ２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため派遣回数は減少しました。

①ボランティア登録・派遣状況

年度	区分	延べ登録件数 (件)	延べ登録者数 (人)	派遣回数 (回)	派遣先の 参加者数 (延人数)	ボランティアの 稼働率(%)
H30	個人	83	83	262	8,808	75.6
	団体	118	1,415	667	47,743	
	計	201	1,498	929	56,551	
R元	個人	94	94	237	7,829	68.5
	団体	119	1,475	639	49,505	
	計	213	1,569	876	57,334	
R2	個人	93	93	109	2,341	33.6
	団体	118	1,473	244	5,993	
	計	211	1,566	353	8,334	

②アンケート結果

○ボランティア登録者の意欲の高まり

(学習の成果を人づくりやまちづくりに役立てたい)・・・99.4%

(R元年度100%)

○依頼者（利用者）の満足度（今後もこの制度を活用したい)・・・100%

(R元年度100%)

③説明会

事業内容の周知及び利用促進を図ることを目的に、依頼者とボランティア登録者向けの説明会などを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書類送付による説明に振り替えました。

ア 依頼者（利用者）向け

送付内容 おおむた生涯学習メニューブック（利用案内含む）

イ ボランティア登録者向け

送付内容 事業概要、ボランティア活動保険について

④「まなばんかんPRプロジェクト」

生涯学習ボランティア登録派遣事業「まなばんかん」や地域で活躍する人々が持つ豊かな知識や経験を、次の世代に伝え、地域の人材育成に結びつけるような取組みが必要と考え、生涯学習ボランティア登録者の確保に注力した以下の取組を行いました。

新規の「まなばんかん」ボランティア登録者を増やす取組	ボランティア登録者募集チラシの作成と配布
	各地区公民館のサークル代表者会議で「まなばんかん」の事業紹介とボランティア登録の呼びかけの実施
	校区まちづくり交付金における『地域人材発掘メニュー』の設定
「まなばんかん」登録団体の会員を増やす取組	会員増加に繋げるための支援を目的としたアンケート調査の実施
	学習情報誌「まなびのカatalog」に登録団体の会員募集記事を掲載

⑤周知・PR

ア ボランティア登録者の募集（「広報おおむた」2月1日号掲載）

イ 「おおむた生涯学習メニューブック（まなばんかん利用案内掲載）」（2,000部）の配布

ウ You Tube 市公式アカウント「ほっとシティおおむたチャンネル」でボランティア登録者の活動の様子を紹介

○地域ESD推進事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕

地域課題の解決に結びつくような学習活動や地域の伝統文化を次世代に継承する取組み、地域コミュニティの形成、人材発掘・人材育成に向けた取組みなどを校区まちづくり協議会などの関係団体との協議を行いニーズをとらえて進める事業を10講座実施しました（9事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。

●学校ESD支援事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕（66ページを参照）

○人材育成・地域活動促進事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕

地区公民館で実施する講座等をきっかけにして、自主グループを発足するとともに、学んだ意識をボランティア活動、地域活動に活かしていく意識の醸成を図ります。

学んだ成果を活かす活動の場や機会を地区公民館はもとより、校区コミュニティセンターや各学校などの身近な地域で行う事業を実施しました。また、ボランティア団体や地域の団体、サークル等の活動について必要に応じた支援を行う事業など、9事業を実施しました（8事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。

○学習成果活用促進事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕

（1）高齢者生きがいがづくり社会参加促進事業（アクティブシニアデビュー塾・ボランティアデビュー編）〔福祉課・地域コミュニティ推進課・公民館〕

高齢者の学習機会および学習成果を活かしたボランティア活動・地域活動の機会、さらには心と身体の健康づくりの機会を提供することで、高齢者の生きがいがづくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを促進するために福祉課および地域包括支援センターと連携し、「アクティブシニアデビュー塾」を実施しました。この事業の一つとして高齢者のボランティアを養成する「ボランティアデビュー編」2講座を開催し、28人が受講しました。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため1講座中止）

（各講座の詳細は、134～147ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（2）カヌーサポーター養成講座〔公民館〕

諏訪川を活用した環境問題の啓発、青少年の自然体験活動の充実、家族のふれ合いや世代間交流の促進を図る目的で実施しているカヌーふれあい事業の趣旨に賛同し、カヌーを使用した地域活動やカヌー貸出においても支援・協力してもらえるサポーターを養成する講座を実施しました。

（3）ボランティア団体支援事業〔公民館〕

7地区公民館等の各種事業で育成された既存のボランティア団体等を支援する事業とし

て「視聴覚ボランティア支援事業」、「子育てふれあい広場」を運営するボランティア団体等への支援を行いました。

(各事業の詳細は、134～147ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(4) 地区公民館サークル社会参加促進事業〔公民館〕

各地区公民館サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と地域還元を図ることを目指して実施しました。また、子どもサークル体験など、次世代育成の支援も行いました。

(各事業の詳細は、134～147ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

【視点3】学習環境の整備・充実

さまざまな手法を用いて学習に関する情報や場を提供するとともに、個人の要望に応える学習をきっかけとして、社会の要請に応える学習・活動へつなげる働きかけや工夫を行います。

さらに、市民が身近な地域で学習活動を行えるよう環境整備を図ることにより、生涯学習、ボランティア活動、地域活動を促進します。

【主な事業】

○学習情報提供事業〔生涯学習課〕

市民がいつでも気軽に学習活動が行えるよう、年間を通して情報誌やリーフレット、インターネット、ラジオなどの多様な媒体を活用し、様々な学習情報を提供しました。

- (1) 学習情報誌「まなびのカタログ」の発行（奇数月に年6回発行 2,000部／回）

掲載事業件数134件、メールマガジン登録件数167件

- (2) 「おおむた生涯学習メニューブック」の発行（冊子2,000部）

生涯学習ボランティア登録派遣事業「まなばんかん」の利用案内と企業出前講座「がんばる地場企業」及び市役所職員出前講座のメニュー表を1冊にまとめて発行しました。

- (3) 「広報おおむた」による学習情報及び生涯学習の啓発（全3回）

- (4) その他（年間随時）

ア 市ホームページ、SNS、「愛情ねっと」、「FMたんと」、YouTubeを活用した動画配信等による情報発信

イ 学習相談業務（必要な学習情報の提供、学習会・研修会・講習会等のコーディネート）

○多様な学習機会提供事業〔生涯学習まちづくり推進本部・生涯学習課〕

- (1) 市役所職員出前講座

市民とともに「生涯学習まちづくり」を進めるために、市政のことを知りたい、学びたい市民のもとに市の職員が出向き、説明・実習等を行いました。R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施回数は減少しました。

年度	出前講座のメニュー数	実施回数（派遣回数）	派遣職員数（市職員）	参加者数（市民）
H30	121	182回	347人	7,588人
R元	113	158回	311人	5,242人
R2	118	51回	95人	1,698人

- (2) 生涯学習ボランティア登録派遣事業

（視点2）「ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり」の生涯学習ボランティア登録派遣事業（75・76ページを参照）

- (3) 市民大学講座

市民の高度な学習ニーズに応えるために、高等教育機関と連携して専門的な知識・技術等をわかりやすく学ぶことができる講座を開催しました。

講座名	講師	期日	場所	受講者
完璧な親なんていない～カナダ生まれの“親支援プログラム Nobody's Perfect”をちょっとだけ体験してみませんか～	帝京大学福岡医療技術学部看護学科 准教授 田尻 登志子	11月4日（水）	えるる	15人
2020年、今必要な英語力とは？	有明工業高等専門学校 一般教育科 助教 村端 啓介	11月13日（金）	えるる	19人

放射線と宇宙・地球のお話	帝京大学福岡医療技術学部 診療放射線学科 講師 牧永 綾乃	11 月 18 日（水）	えるる	22 人
地球環境問題について考えてみませんか	有明工業高等専門学校 創造工学科 准教授 内田 雅也	11 月 27 日（金）	えるる	19 人

（４）企業出前講座「がんばる地場企業」

“生涯学習社会”の実現を図るため、民間企業より協力を得て、企業が持っている専門的な知識・技能を市民が学習することができる講座を実施しました。

年度	企業名	講座メニュー数	実施回数	受講者延人数
H30	①久留米ヤクルト販売㈱、②㈱野口印刷所、 ③HMS九州、④ジブラルタ生命保険㈱、 ⑤㈱白雲社、⑥㈱グリーンピース磯浜、⑦海づか、 ⑧信号電材㈱、⑨㈱マルエ産業、 ⑩ありあけ不動産ネット協同組合、⑪大牟田ガス㈱	27	17 回	327 人
R 元	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険㈱、④㈱白雲社、 ⑤㈱グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材㈱、 ⑧㈱マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪㈱四郎國光、⑫㈱宮脇商会、 ⑬和菓子処吉蔵、⑭㈱プランツ	31	33 回	827 人
R2	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険㈱、④㈱白雲社、 ⑤㈱グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材㈱、 ⑧㈱マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪㈱四郎國光、⑫㈱宮脇商会、 ⑬和菓子処吉蔵、⑭㈱プランツ、⑮㈱O. A. S、 ⑯九州電力送配電㈱大牟田配電事業所、 ⑰㈱にしけい有明支社、⑱大牟田柳川信用金庫、 ⑲中国茶・台湾茶専門店華貴、⑳和装処・坪井、 ㉑豊浜製麺	40	13 回	306 人

○社会教育機能向上事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕

（１）公民館職員研修会（公民館）

地区公民館の職員を対象に、ファシリテーション研修や事業企画の方法など職員のスキルアップを図ることを目的に、9回の研修会を開催しました。（大雨などのため2回中止）

（２）社会教育関係職員研修会

社会教育関係職員を対象に、社会教育の今後の役割の理解を促進するとともに、ファシリテーションスキルの向上を図ることを目的に、公民館職員研修会と同時開催で2回実施しました。

（３）新任公民館職員研修会

新任の公民館職員を対象に、社会教育公民館の役割についての基礎的な知識の習得のため、研修会を1回開催しました。

（４）新任社会教育関係職員研修会

新任の社会教育関係職員を対象に、市民協働部各課の取組みを知ること、部内の連携促進を図ることを目的に、研修会を1回開催しました。

○地区公民館整備事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕

(1) 各地区公民館の維持補修〔公民館〕

7 地区公民館のうち6館は既に建築から20年以上経過し老朽化も進んでいますが、来館者が安心・安全に施設を利用できるように、必要に応じた施設修繕を行いました。

○地域学習機会提供事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕

(1) 子ども交流体験活動事業〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子供をはぐくむ」の主な事業「子ども交流体験活動事業」の(1)子ども交流体験活動事業(67～69ページ)を参照

(各講座の詳細は、134～147ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(2) 家庭教育講座〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子供をはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(1)家庭教育講座(72ページ)を参照

(各講座の詳細は、134～147ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(3) 就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子供をはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(4)幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施の①就学前子育て講座(73ページ)を参照

(4) 各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子供をはぐくむ」の主な事業「各世代に応じた学習活動支援事業」の(1)各世代に応じた学習活動支援事業(71ページ)を参照

(各講座の詳細は、134～147ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(5) 高齢者生きがいづくり社会参加促進事業(地域活動デビュー編・健康実践デビュー編)〔地域コミュニティ推進課・公民館・福祉課〕

興味や関心があることをきっかけに、社会や地域で生きがいを見つける「地域活動デビュー編」を6講座開催し、88人が受講、学んだ成果を活かし、健康づくりを実践するアクティブシニアを育む「健康実践デビュー編」を5講座開催し、74人が受講しました。

(各講座の詳細は、134～147ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(6) 公民館だより等の発行〔公民館〕

地域の人が集まりやすい地区公民館づくりを目指して、地域や地区公民館の情報を掲載した地区公民館だよりを発行しました。

(各館の発行の詳細は、134～147ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(7) 読書推進事業〔公民館〕

新刊コーナー、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行い、図書貸出の合計は25,741冊でした。また、地域拠点化の推進及び子どもの読書活動の活性化を図るため、図書だよりの発行やおはなし会を行いました。

(各事業の詳細は、134～147ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(8) 子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子供をはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(2)子育てふれあい広場の開設(73ページ)を参照

(9) 地区公民館文化祭〔公民館〕

7地区公民館で活動しているサークル会員の学習成果の発表と、地域の小・中学校、幼稚園・保育園及び地域住民の参加・協力により開催し、交流と連携を深めていますが、R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期・中止となりました。

(7地区公民館の文化祭の詳細は、134～147ページの「社会教育施設等の状況 地区

公民館」を参照)

(10) 展示コーナー活用事業〔公民館〕

地区公民館の展示コーナーやロビーを活用し、サークル会員や地域の人たちの作品展を開催し、成果発表の場とするとともに、サークル会員や地域住民の交流の場としての利用促進を図りました。

(展示コーナー活用事業の詳細は、134～147ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

（視点４）青少年の問題行動や悩みへの対応

街頭指導・相談・環境浄化などの健全育成活動の充実に努め、青少年の非行や犯罪被害を防止します。また、インターネットによるいじめ・依存防止のための適正利用や被害防止の啓発を行うほか、ひきこもりやニートなどの問題に対し、関係機関などと連携強化を図り支援します。

【主な事業】

○青少年健全育成事業〔生涯学習課〕

（１）街頭指導活動

少年センターの指導員が関係団体と共に「OMUTTA少年よくし隊」として、繁華街や公園、コンビニエンスストア、ゲームセンターなど、少年がたむろしそうな場所を定期的に巡回し、問題行動の早期発見と非行の未然防止に取り組むとともに、青色パトカー（青色回転灯装備車）による昼夜間のパトロールや児童生徒の下校時間帯での見守り活動を実施しました。

①街頭指導活動概況 (延べ数)

年度 \ 区分	実施回数	従事者数
H30	472 回	2,587 人
R 元	482 回	2,431 人
R2	390 回	2,030 人

②青色パトカー巡回活動概況 (延べ数)

年度 \ 区分	実施回数	従事者数
H30	442 回	860 人
R 元	453 回	839 人
R2	420 回	836 人

③補導概況（性別、学職別） (単位：人)

年度 \ 区分	男	女	合計	小学生	中学生	高校生	その他の学生	有職少年	無職少年	不明	合計
H30	87	76	163	4	13	143	3	0	0	0	163
R 元	196	157	353	51	65	235	2	0	0	0	353
R2	165	95	260	67	40	153	0	0	0	0	260

④行為別指導実数 (単位：人（上段）・％（下段）)

年度 \ 区分	喫煙	夜間外出	夜遊び	深夜徘徊	交通マナー	不良交友	シンナー遊び	怠学	飲酒	その他	合計
H30	1	47	58	0	43	0	0	0	0	14	163
	0.6	28.8	35.6	0	26.4	0	0	0	0	8.6	100
R 元	1	128	78	5	99	0	0	0	0	42	353
	0.3	36.3	22.1	1.4	28.0	0	0	0	0	11.9	100
R2	0	93	50	8	53	0	0	0	0	56	260
	0	35.8	19.2	3.1	20.4	0	0	0	0	21.5	100

※夜間外出：20時以前 夜遊び：20時～22時以前 深夜徘徊：22時以降

⑤指導した場所

(単位:人)

区分 年度		ゲームセンター	カラオケ店等	大型店等	コンビニエンスストア	駅	路上	自宅等	寺院・神社	公園	海岸・河川	その他	合計	
H30	男子	0	0	7	0	0	65	0	1	12	2	0	87	163
	女子	0	0	37	0	0	23	0	1	15	0	0	76	
R 元	男子	0	0	16	0	0	131	0	5	21	6	17	196	353
	女子	2	0	43	0	0	101	0	0	9	2	0	157	
R2	男子	13	1	3	0	4	72	0	1	26	17	28	165	260
	女子	5	5	35	0	0	35	0	3	2	5	5	95	

(2) 有害環境浄化活動

さまざまなメディアを通じてもたらされる有害情報から青少年を守るため、福岡県青少年健全育成条例に基づき、店舗等の巡回、立入調査、要望書配布・指導など青少年の健全育成上、好ましくない有害環境の浄化活動を行いました。

(3) ヤングテレホン等相談事業

悩みを持つ青少年自身のみならず保護者等からも相談を受け指導助言を行っています。

相談については、「ヤングテレホンおおむた」による電話相談をはじめ、来所による相談も受け付けています。なお、相談内容によっては、専門機関に紹介するケースもありました。

①相談件数

(単位:件)

区 分	年 度	家 族	本 人	その他	合 計
来 所 相 談	H30	0	1	0	1 (1)
	R 元	2	0	0	2 (2)
	R2	0	0	0	0 (0)
電 話 相 談 (ヤングテレホン)	H30	3	2	106	111 (5)
	R 元	3	3	40	46 (5)
	R2	2	4	56	62 (5)
メール相談	H30	0	5	6	11 (3)
	R 元	0	2	0	2 (1)
	R2	0	0	0	0 (0)

※()内は実際に相談された人数

②相談内容内訳

(単位:件)

区分 年度	健康	学業	交友 交際	家庭	性	いじめ	非行	不登校	その他	合 計
H30	1(1)	4(3)	1(1)	4(3)	0	0	0	1(1)	112(0)	123(9)
R 元	0	0	1(1)	2(1)	0	0	0	4(4)	43(2)	50(8)
R2	0	1(1)	0	4(2)	0	0	0	1(1)	56(1)	62(5)

※()内は実際に相談された人数

(4) 関係機関・団体等との連携活動

①啓発活動

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び「社会を明るくする運動強調月間」にあたる7月と「子ども・若者育成支援強調月間」の11月を中心に次の行事を行いました。

た。

ア 第70回‘社会を明るくする運動’街頭キャンペーン

市庁舎前からゆめタウン大牟田まで行進し、チラシを市民に配るなどの街頭啓発活動を行う街頭キャンペーンを実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

と き 7月1日（水）

ところ 市庁舎前からゆめタウン大牟田まで

イ 第68回青少年健全育成弁論大会

市内の小、中、高校生による弁論大会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

と き 7月8日（水）

ところ 文化会館 小ホール

ウ 児童虐待防止推進キャンペーン

児童虐待事案を認知した際の情報提供を促すための啓発チラシを配布しました。

と き 11月10日（火）

ところ 大牟田駅東口

参加者 大牟田警察署、久留米少年サポートセンター、大牟田児童相談所、甘木山学園、大牟田市（子ども家庭課、少年センター）

エ 大牟田市青少年健全育成毛筆書写・標語作品展

小、中学生から募集した毛筆書写51点のほか、標語106点を展示しました。

と き 11月11日（水）～18日（水）

ところ えるる 1階 展示コーナー

②若鳩会運営費補助

青少年の健全な保護育成を図ることを目的に、学校教師・警察署員・少年センター職員により組織されている若鳩会の活動に対して、運営補助金を交付しました。

【主な事業】

○社会教育委員の会議〔地域コミュニティ推進課〕

社会教育委員の会議を設置し、社会教育に関し市民の意見を反映させるため、社会教育に関する諸計画の立案等について助言し、諮問に応じ意見を述べることを主な目的として会議を開催しています。

(1) 会議の開催

第1回 と き 7月29日(水) 14時30分～16時30分

ところ 大牟田市役所 経営会議室

委員の委嘱

社会教育委員の会議について

福岡県社会教育委員連絡協議会評議員について

筑後地区市町村社会教育委員研修会について

議題 1 令和元年度社会教育委員の会議等実績報告及び令和元年度事業計画(案)について(報告)

2 大牟田市社会教育振興プランについて(報告)

3 令和2年度社会教育・生涯学習事業計画について(協議)

4 地区公民館の在り方の検討について(協議)

その他 社会教育施設の被害状況について

第2回 と き 11月25日(水)

ところ 生涯学習支援センター 多目的室

議題 1 子育て情報誌おおむたっ子に掲載する社会教育委員のメッセージについて(協議)

テーマ「家族、友達、地域の方などまわりのだれかと話してみましょう」

2 地区公民館の在り方の検討について(協議)

その他 成人式について

令和2年度筑後地区社会教育委員研修会について

筑後地区市町村社会教育委員交流会について

第3回 と き R3年2月3日(水)

ところ 生涯学習支援センター 多目的室

議題 1 令和2年度社会教育・生涯学習事業について(報告)

2 地区公民館の在り方について(協議)

3 社会教育委員の会議を振り返って(協議)

その他 (仮称)大牟田市総合体育館について

社会教育委員の会議分科会

第1回 と き 8月26日(水)

ところ 大牟田市役所 北別館第2会議室

議題 1 地区公民館の在り方の検討について(振り返り)(報告)

2 公民館利用者アンケート(案)について(協議)

3 意見交換(協議)

第2回 と き 11月11日(水)

ところ 大牟田市役所 北別館第2会議室

議題 1 第1回社会教育委員の会議分科会の振り返り(報告)

2 「大牟田市地区公民館配置計画」(7地区公民館構想)の総括について(報告)

3 地区公民館のアンケート結果について(協議)

第3回 と き R3年1月26日（火）

ところ 生涯学習支援センター 多目的室

- 議題 1 第2回社会教育委員の会議分科会の振り返り（報告）
2 地区公民館のアンケート結果について（図書）（報告）
3 地区公民館の在り方の検討について（協議）

（2）委員研修

①筑後地区市町村社会教育委員研修会

本市で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催となりました。

テーマ 「これからの社会教育委員としての活動」

基調講演 『よりよい社会を創る、未来を拓かれた社会教育』

講師 西九州大学子ども学部教授 上野 景三

講演をDVDに収録し、期間限定で Youtube 配信

実践発表 大牟田市の特色ある取組み7事業を冊子にまとめました。

取組み内容

- ・大牟田市社会教育委員の会議の活動について
- ・女性目線で移住定住サポート
- ・市民に愛されて14年、子育て情報誌「おおむたっ子」
- ・学んだ成果を活かす！生涯学習ボランティア登録派遣事業「まなばんかん」
- ・～高校生の思いを叶える～わくわく！ドキドキ！レッツダンス！
- ・地域の魅力をつなげ隊 門松作り
- ・手鎌地区公民館 子ども未来デッサン事業

○成人式の開催〔生涯学習課〕

（1）成人の自覚と社会参加の意識の醸成

第73回成人式の開催

と き R3年1月10日（日）

ところ 文化会館

内 容 ウェルカムムービー

- ・いのちスケッチメイキング 上映
- ・おおむた「大蛇山」まつり 上映
- ・高校生によるシティプロモーション動画 上映
（H29年度高校生総合文化祭「大牟田100祭」より）
- ・アトラクション（司会：公募による新成人女性2人）
- ・大牟田高等学校吹奏楽部 演奏、マーチング等生演奏
- ・大牟田北高等学校書道部 書道パフォーマンス上映
- ・式典（司会：公募による新成人男女各1人）
- ・国歌独唱（公募による新成人女性1人）
- ・市民憲章唱和（市民憲章推進委員）
- ・誓いの言葉（公募による新成人男女各1人）
- ・ボランティア協力団体等（感染拡大防止のため、ボランティア従事中止）

区 分	該当者数（人）			出席者（人）	出席率（％）
	男性	女性	合計		
H30 年度	514	482	996	660	66.2
R 元年度	493	476	969	614	63.4
R2 年度	465	488	953	553	58.0

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生等の割合	目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	事業に参加した高校生等向けアンケートにおいて 90.0%以上を目指す。
	実績値（％）	77.8				
	達成度（％）	86.4				
地域にある課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合	目標値（％）	50.0	50.0	50.0	50.0	現状値を踏まえ 50.0%以上を目指す。 [現状値:47.5%(H30 年度実績)]
	実績値（％）	46.2				
	達成度（％）	92.4				

【指標達成度に対する要因分析】

- 子どもの体験活動をはじめとする子どもの参加型事業等については、目標値まで達していない事業があるものの、コロナ禍にも関わらず、地域を含む団体等におけるボランティアへの理解や協力、見守り等で様々な事業に熱心に取り組んでいただき、今後の活動につなげていただいています。
- また、新たな取り組みとして、高校生まちづくり体験事業や学校 ESD などを開始し、小学校・中学校との新たな関係が構築されるとともに、高校や高校生との繋がりが図られました。
- 成果指標については、青少年の体験活動等の各事業を通じて、地域等で子どもの育成や見守り活動へ多くの参加がありましたが、新型コロナの影響により、各事業の実施数が計画していた数まで伸びなかったことや組織・団体等での活動の縮小などにより、身近な地域での参加ができなくなっていることなどから、目標値より低くなっています。
- 地域学習機会提供事業、人材育成・地域活動促進事業などを実施し、地域課題の把握や解決に向けた取り組みを行ったことで、市民の幅広い学習機会の提供を行うとともに、学習活動の必要や地域づくりに対する意識の醸成が図られました。

【今後の方向性】

これまでの地域や各団体における小学生を対象とした事業だけでは、活動に限界があることなどから、中学校や高校を巻き込んだ新たな事業展開を図り、地域や学校を含め、小学生から中学生、高校生、そして地域のボランティア等の大人までが一体となった地域全体における次世代育成の推進を図ります。

そのためには、家庭や学校、地域の理解と多くのボランティアの協力が必要となることから、より多くの市民に各事業の取り組みや主旨を理解のうえ、協力いただけるよう事業の必要性について、引き続き周知・啓発を図ります。加えて、組織や団体が継続できるよう、統合や新たな組織のあり方を検討して、子どもたちが心身ともに健康でたくましく思いやりの心やふるさとを愛する心を持った自立した大人へと成長していくことにつながるような支援を検討します。

また、地域での学習活動の支援では、課題やニーズを的確に捉えた地域課題の解決に向けた学習の機会を、地区公民館をはじめ、市民により身近な場所で提供するとともに、学校や地域、関係機関との連絡調整を密にしながら、事業の組立や運営に反映させます。特に、これから本格的に事業展開を行う高校生を中心とした事業を推進します。加えて、企業出前講座の充実や生涯学習ボランティア派遣などを通して、学習機会を提供し、更なる生涯学習よるまちづくりの推進を図ります。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第5章】 スポーツを通して生きがい満ち、活気にあふれるまち
誰もが、ライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことで、生涯にわたり心身ともに健康で、活気にあふれた生きがいある生活を営むことができるまちを目指します。 そのため、いつでも、どこでも、誰でも気軽に生涯にわたりスポーツに親しみることができるための機会づくりや支援の仕組みづくり、また、スポーツがしやすい環境づくりを推進します。	

（視点1）気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり

市民の誰もが生涯にわたり、それぞれのライフスタイルや心身の状況に応じて運動やスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送ることができるよう、多様なスポーツ活動の機会をつくり出します。

【主な事業・取組】

○市民スポーツ推進事業〔スポーツ推進室〕

（1）市民スポーツ教室、市民スポーツ大会等の開催

①市民スポーツ教室（指定管理者）

スポーツ初心者を対象に、スポーツ活動への参加の機会をつくり、健康・体力の維持増進を図り、社会的交流を深めることを目的に、毎年、春・秋・新春の年3期に実施しています。（春のスポーツ教室は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

教 室 名	会 場	指 導 者	参加者(人)
春のスポーツ教室（10回）			
ニコニコエアロ体操教室	市民体育館 アリーナ	坂井 加陽子	中止
ソフトバレーボール教室	〃 〃	バレーボール協会	中止
にこにこ体操教室	〃 剣道室	(株)M&M	中止
卓球教室	〃 アリーナ	卓球協会	中止
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	中止
秋のスポーツ教室（10回）			
健康体操教室	市民体育館 アリーナ	内田 京子	34
ソフトテニス教室	〃 〃	ソフトテニス連盟	5
親子リズム体操教室	〃 柔道室	ちゃいるどくらぶ	17(組)
バドミントン教室	〃 アリーナ	バドミントン協会	11
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	41
新春スポーツ教室（10回）			
3B体操教室	市民体育館 剣道室	3B体操協会	中止
テニス教室	〃 アリーナ	テニス協会	中止
太極拳教室	〃 〃	太極拳協会	14
にこにこ体操教室	〃 剣道室	(株)M&M	24
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	29

②サマースポーツ教室（指定管理者）

小学3～6年生の少年・少女を対象に、スポーツ活動に親しむことを目的とし、毎年夏休み期間中にスポーツ教室を実施しています。（1人1種目）。

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため全種目中止）

教 室 名	会 場	指 導 者	参加者(人)
ミニバスケットボール	市民体育館アリーナ	バスケットボール協会	-
バドミントン	〃 〃	バドミントン協会	-
ソフトバレーボール	〃 〃	バレーボール協会	-
卓球	〃 〃	卓球協会	-
ソフトテニス	〃 〃	ソフトテニス連盟	-
ソフトボール	緑地運動公園ソフトボール場	ソフトボール協会	-
軟式野球	延命球場	軟式野球連盟大牟田支部	-

③市民スポーツ大会（指定管理者、スポーツ都市宣言推進協議会共催）

市民の誰もが気軽に参加でき、みんなで楽しめるスポーツの大会を実施しました。

大 会 名	期 日	会 場	参加者(人)
市民グラウンドゴルフ大会	4月19日(日)	諏訪公園イベント広場	中止
市民ソフトバレーボール大会	6月14日(日)	市民体育館	中止
市民女子フットベースボール大会	9月13日(日)	緑地運動公園運動広場	137
市民健康マラソン大会 ※	R3年1月17日(日) → 3月28日(日)	御大典記念グラウンド	中止
市民観梅ハイキング	R3年2月28日(日)	観光プラザ前～紹運寺	中止

※ 市民健康マラソン大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定していたR3年1月17日(日)を3月28日(日)に延期したが、当日は降雨のため中止した。

(2) スポーツ市民の祭典（委託先：スポーツ都市宣言推進協議会）

スポーツ都市宣言の啓発・普及を図るとともに、広く市民が集い、子供から高齢者まで誰もが参加でき、楽しめるスポーツ・レクリエーション行事を実施することにより、市民の健康増進及び相互の連帯と融和を図り、スポーツの普及・発展、さらには、健康的で明るい市民生活の確立に寄与することを目的として開催しています。R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して開催しました。

と き 10月10日(土)・11日(日)

ところ 市民体育館、御大典記念グラウンド

主 管 スポーツ2020市民の祭典実行委員会

期 日	内 容	参加者(人)
10月10日(土)	ソフトバレーボール大会	154
10月11日(日)	ア 開会式	約2,000
	イ 少年団対抗リレー、小・中学生リレー	551
	ウ なわとび競争	657
	オ バザー・イベント	多数

(3) チャレンジデーの支援

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に全国一斉に行われる、人口規模がほぼ同じ自治体間で、15分以上継続して身体活動(運動)を行った住民の参加率を競うものです。本市では、住民の運動・スポーツに対する意識高揚や住民の連帯意識の醸成等を目的に、スポーツ都市宣言推進協議会、大牟田市体育協会を中心に市民団体、行政等で実行委員会を組織し実施していますが、R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

年 度	H30 年度	R 元年度	R2 年度（中止）
期 日	5 月 30 日（水）	5 月 29 日（水）	5 月 27 日（水）
参加者数	82,882 人	80,478 人	-
参 加 率	71.2%	69.8%	-
対戦相手自治体	秋田県大館市 63.5%	神奈川県座間市 53.4%	（秋田県大仙市） -

○地域スポーツ活動推進事業〔スポーツ推進室〕

（１）地域元気アップスポーツ事業の実施（委託先：大牟田市スポーツ推進委員協議会）

市民がより身近にスポーツに親しめるきっかけづくりとして、体験教室などを開催していますが、R 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

①地域ふれあい元気ウォーキング・体力測定（全 2 回）

期日	集合場所	コース	参加者（人）
R3 年 2 月 21 日（日）	玉川小学校	（当初の予定）玉川小学校～焼石山～萩の尾古墳～岩本眼鏡橋～玉川小学校	中止

②スロージョギング教室（中止）

③ニュースポーツ体験教室

期日	場所	内容	参加者（人）
R3 年 3 月 5 日（金）	第二市民体育館	（当初の予定）スカットボール、カローリング、ボッチャ、ファミリーバドミントン	中止

（２）スポーツ推進委員等指導者の育成・支援

①スポーツ推進委員の育成

スポーツ推進委員は、住民のスポーツ振興のため、住民の求めに応じ、実技指導やスポーツ活動促進の組織育成、教育機関及び行政機関のスポーツ行事・事業への協力、住民に対するスポーツの普及並びに指導助言等を行います。

本市では 54 人（R 2 ～ 3 年度定数：57 人）のスポーツ推進委員を委嘱しており、資質向上を図るため、各種研修会を実施しています。

ア 大牟田市スポーツ推進委員研修会

大牟田市スポーツ推進委員協議会では、例年、スポーツ推進委員相互の資質向上を図ることを目的に研修会等を実施していますが、R 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

イ スポーツ推進委員の研修会等派遣事業

期日	研修名称	開催地
6 月 13 日（土）	南筑後地区春季スポーツ推進委員研修会（中止）	-
12 月 5 日（土）	南筑後地区秋季スポーツ推進委員研修会（中止）	（みやま市）
12 月 13 日（日）	福岡県スポーツ推進委員研修大会（中止・記念誌のみ発行）	（中間市）

（３）スポーツ推進委員による地域スポーツ活動支援

スポーツ活動を通じて仲間づくりや多世代間の交流の活性化を図り、コミュニティの形成を目的に、スポーツ推進委員による地域スポーツ活動への支援（企画、指導・助言、運営）を行いました。

地域行事数	参加者(人)	内容			
		企画	指導・助言	運営	その他
29	延べ 3,025	27	17	24	1

※スポーツ行事・活動に限定したもののみ掲載しています。

○子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕（再掲）

（第1編第4章・視点1の70・71ページを参照）

【視点２）スポーツ活動を支える仕組みづくり

市民が主体的かつ計画的に多様なスポーツ活動に取り組むことによって、豊かなスポーツライフを形成し、定着していくことができるよう、活動支援のための仕組みをつくります。

また、スポーツ都市宣言推進協議会や体育協会をはじめとする各種団体と連携し、各種スポーツ大会の奨励、トップレベルの競技大会の誘致など、スポーツ事業の充実・発展に努めます。

【主な事業・取組】

○地域スポーツクラブ育成・支援事業〔スポーツ推進室〕

総合型地域スポーツクラブとは、地域の特徴を生かし、地域のアイディアにより自主的に運営され、スポーツなどを通して地域の人と人との豊かなつながりを形成するものであり、その活動を支援しました。設置団体：１団体（Ｈ１７年度～ 右京ふれあい健康クラブ）

（右京ふれあい健康クラブ活動実績）

期日	内容	場所	参加者(人)
毎週火曜日	右京ふれあいタイム（卓球、バドミントン）	宅峰中学校、天領小学校	延べ 609
6月18日～7月30日の毎週木曜日（全7回）	パソコン教室	天領小学校	中止
10月25日（日）	天領校区・右京ふれあい体育祭	天領小学校	中止
11月13日～12月18日の毎週金曜日（全6回）	パソコン教室	天領小学校	中止
11月19日～12月17日の毎週木曜日（全5回）	バドミントン教室	天領小学校	中止
R3年3月28日（日）	右京宝さがしウォーキング	天領小～諏訪公園	中止
【クラブ活動】	バドミントン部（毎週火・土曜日、天領小学校） 大牟田 Jr バレー（毎週水曜日、天領小学校） ヨガ教室（毎週土曜日、天領小学校） 卓球部（毎週土曜日、三川地区公民館） ソフトテニス部（毎週土曜日、緑地運動公園）		

○スポーツ団体等との連携によるスポーツ活動支援事業〔スポーツ推進室〕

（１）体育協会や競技団体等とのスポーツの普及及び競技力向上に関する連携・支援

①スポーツ都市宣言推進協議会との連携

本市では、Ｈ２年７月、スポーツを通じた「人づくり」、「まちづくり」を目指す決意を込めて「スポーツ都市宣言」を行いました。その周知並びに実践活動を推進するため、スポーツ関係団体、学校、地域団体、企業、医療、福祉、行政など市内の各種団体により組織された「スポーツ都市宣言推進協議会」と連携し、スポーツを通じた住みよいまちづくりに努めています。

②市民体育大会委託事業（委託先：大牟田市体育協会）

市民の競技スポーツにおける競技水準の向上と、競技団体相互の連帯と融和を図る目的で開催しています。Ｒ２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため６大会が中止となり、１４大会を開催しました。

大会名	期 日	会 場	参加者(人)
太極拳合同発表会	4月26日(日)	まいピア高田	中止
大牟田市ゴルフ協会会長杯市民ゴルフ大会	6月7日(日)	有明カントリークラブ	34
大牟田市民軟式野球大会	6月21日(日)～10月11日(日)	延命球場他	320
大牟田サッカー選手権大会	9月13日(日)	宮原中学校	112
大牟田市ソフトボール選手権大会	9月13日(日)～10月4日(日)	緑地運動公園他	700
大牟田市長杯ソフトテニス大会	9月20日(日)	緑地運動公園他	182
大牟田クレー射撃大会	9月27日(日)	玉名クレー射撃場	中止
大牟田市9人制一般男女バレーボール選手権大会	10月11日(日)	市民体育館	100
大牟田市グラウンドゴルフ選手権大会	10月12日(月)	緑地運動公園	69
大牟田市剣道選手権大会	10月18日(日)	市民体育館	中止
大牟田市ボウリング選手権大会	11月22日(日)	大牟田Jボウル	40
おおむた弓道選手権大会	12月5日(土)、13日(日)	宅峰中弓道場	80
大牟田市民バドミントン大会	R3年1月10日(日)	市民体育館	52
大牟田駅伝競走大会	R3年1月10日(日)	諏訪公園	中止
大牟田市民卓球大会	R3年2月7日(日)	市民体育館	100
四地区対抗柔道大会	R3年3月7日(日)	大牟田高等学校	中止
大牟田市ゲートボール選手権大会	R3年3月10日(水)	緑地運動公園	50
バスケットボール総合選手権大会	R3年3月20日(土・祝)	市民体育館	300
大牟田 OPEN テニストーナメント	R3年3月21日(日)、3月28日(日)	緑地運動公園他	306
おおむた市長杯アーチェリー大会	R3年3月29日(月)	サンアビリティーズ おおむた	中止

(2) 中学校運動部活動支援

中学生の体育活動の発展と技術向上を図るため、大牟田市中中学校体育連盟に対し、運営及び大会出場に係る費用の一部負担を行っていますが、R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部大会が中止となりました。

内容	対象者数	負担金額(円)
運営負担金	-	350,000
九州・全国大会出場負担金	-	-
地区・県大会出場負担金	-	-
地区・県新人大会出場負担金	230	214,890

○競技スポーツ振興・支援事業〔スポーツ推進室〕

(1) 全国大会、プロスポーツ大会、広域スポーツ大会等各種大会の支援

① トップレベルの大会の開催支援、選手との交流の促進

九州一円の各郡市の代表選手が一堂に会し、九州地区の競技力の向上並びに親睦と融和を図る目的で開催されている、全九州都市対抗陸上競技大会への支援を行っていますが、R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会が中止となりました。

② 広域スポーツ大会奨励補助

競技スポーツの振興に寄与し、本市の活性化に貢献するものとして開催される広域スポーツ大会を奨励するため、その大会の費用の一部を補助しました。

大会名	期 日	会 場	参加者(人)
有明杯アーチェリー大会	5 月 17 日(日)	第二グラウンド	中止
有明海沿岸ジュニアサッカー大会	8 月 1 日(土)、2 日(日)	諏訪公園	中止
VICTAS 祭大牟田市近郊オープン卓球大会	8 月 30 日(日)→R3 年 3 月 28 日(日)	市民体育館	300
大牟田市近県親善ゲートボール大会	9 月 21 日(月・祝)	緑地運動公園	中止
① 全九州一般男子ソフトボール大会(※) ② 全日本総合男子ソフトボール選手権代替大会福岡県大会(※)	①10 月 10 日(土)、11 日(日) ②9 月 27 日(日)、10 月 4 日(日)	緑地運動公園他	①中止 ②中止
有明少年野球大会	10 月 18(日)～10 月 31 日(土)	延命球場他	1,200
大牟田秋季記録会(陸上)	11 月 3 日(火・祝)	御大典記念グラウンド	1,273
大牟田市会長杯近県ソフトテニス選手権大会	11 月 22 日(日)	緑地運動公園他	中止
大牟田小学生オープンバドミントン大会	12 月 19 日(土)	市民体育館	中止
大牟田市近県中学生バレーボール選手権大会	R3 年 2 月 11 日(木・祝)	市民体育館他	中止
優勝弓争奪近県弓道大会	R3 年 3 月 14 日(日)	市民体育館	中止

(※)①の大会の中止に伴い、②の大会を代替にしたもの

③各種スポーツ事業への共催・後援による支援

スポーツの普及・向上に寄与する公共性の高いスポーツ事業等に対して、共催・後援等による支援を行いました。 共催 1 件 後援 18 件

(2) 県民体育大会への選手団派遣

福岡県民体育大会は、例年、夏季大会、秋季大会、市町村対抗駅伝大会の3大会が開催され、本市代表として出場する選手団を派遣しています。

R2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全ての大会が中止となりました。

○東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業〔スポーツ推進室〕

(1) 聖火リレー

東京2020オリンピック・パラリンピックが1年延期となったため、聖火リレーも延期となり、本市での開催予定日であるR3年5月11日に向けて準備を行いました。

期日	場所	内容	備考
5 月 12 日(火)	大牟田市役所前～諏訪公園	東京 2020 オリンピック聖火リレー	R3 年 5 月 11 日(火)に延期
R3 年 2 月 15 日(月)	市民体育館	東京 2020 オリンピック聖火展示	東京 2020 オリンピック聖火を活用した地方創生事業を活用。来場者 384 人
R3 年 3 月 25 日(木)	福島県	東京 2020 オリンピック聖火リレースタート	

(2) ホストタウン事業

①アフガニスタン・イスラム共和国

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局が取り組んでいる、「ホストタウン未登録の国・地域の登録促進」を図るための調査事業に参画しました。

アフガニスタン東部において、長年にわたり医療活動やかんがい事業などを行い、紛争と干ばつで苦しむアフガニスタンの復興と平和へ多大な貢献をされた中村哲さんは、大牟田市内の病院に勤務していたことから、本市を生活の拠点にされていました。

R元年12月4日にアフガニスタンで銃撃され、亡くなられた中村哲さんの功績をたたえ、市は、R2年1月10日に市民栄誉賞を授与しました。これらのことから、中村哲さんのご意思を次世代に伝えていくとともに、アフガニスタンと日本との友好が末永く続くよう、本市はアフガニスタンのホストタウンの登録を目指し、「事前合宿の受入れ及び交流事業実施についての基本合意書」締結をはじめ、各種情報発信等を行いました。

期日	場所	内容	備考
12月2日(水)	大牟田中央小学校	中村哲医師の功績に関する特別授業 (講師 藤田千代子氏)	小6児童(69人)
12月14日(月)	明治小学校	中村哲医師の功績に関する特別授業 (講師 藤田千代子氏)	小6児童(35人)
12月23日(水)	御大典記念グラウンド	事前合宿の練習施設視察	駐日アフガニスタン大使館バシール・モハバット特命全権大使、ナスルッラー・ロズベー二等書記官
	ホテルニューガイアオーサムタガーデン	事前合宿の受入れ及び交流事業実施についての基本合意書を締結	
12月24日(木)	ペシャワール会大牟田支援会	アフガニスタンでの中村哲さんの活動を紹介する常設写真展を見学	
R3年1月21日(木)	明治小学校	アフガニスタン応援動画制作	
R3年1月22日(金)	大牟田中央小学校	アフガニスタン応援動画制作	
R3年1月29日(金)	-	第27次ホストタウン登録	アフガニスタンを新たな相手国として追加される
R3年2月1日(月)～2月24日(水)	JR 大牟田駅	アフガニスタン紹介展示コーナー開設	
R3年2月8日(月)～2月20日(土)	(リモート)	アフガニスタンの文化とパシュトゥン語の講座(講師 Monir Ahmad 氏)	通訳ボランティア対象
R3年3月	-	アフガニスタンホストタウン紹介冊子「中村哲さん物語」制作	小・中学校に配布。8,000部制作。

②ジョージア

R2年度に予定していた事前キャンプ及び各種交流事業は、東京2020オリンピックの一年延期と、新型コロナウイルス感染症の影響により、直接の事業を行うことはできませんでしたが、ジョージアの柔道はじめ、同国に関する情報発信に努め、オンラインによる交流イベントなど、新たな手法による事業を実施しました。

期日	場所	内容	備考
12月	-	ジョージア紹介冊子「タマダくんと行く100日間ジョージア文化の旅」制作	在日ジョージア大使館の協力を得て1,000部制作。
R3年2月1日(月)～2月24日(水)	JR 大牟田駅	ジョージア紹介展示コーナー開設	
R3年3月26日(金)	えるる	オンライン応援イベント 柔道グランドスラム大会(トビリシ) ジョージアの歴史、文化、食などの紹介	参加：在日ジョージア大使館ティムラズ・レジャバ臨時代理大使 ほか

○表彰・奨励事業〔スポーツ推進室〕

(1) スポーツ功労者表彰

本市において、多年にわたり体育、スポーツの普及振興に寄与し、その功績が顕著である者、またはスポーツ競技会において抜群の成績をあげ、その競技の発展に尽くした功績が顕著である者に対し、それぞれ功労賞と記録賞（最優秀賞、優秀賞、奨励賞）を授与しました。例年、スポーツ市民の祭典時に表彰を行っています。

①功労賞

中山 顯兒	陸上競技の普及、発展並びに競技力の向上に寄与
山本 英一	バスケットの普及、発展並びに競技力の向上に寄与
牛島 信久	バスケットの普及、発展並びに競技力の向上に寄与
津田 礼史	バスケットの普及、発展並びに競技力の向上に寄与
平田 和平	卓球の普及、発展並びに競技力の向上に寄与
荒木 泰	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
藤枝 正治	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
野田 哲寛	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
近藤 俊秀	軟式野球の普及、発展並びに競技力の向上に寄与
柏村 友幸	少年団の普及、発展並びに青少年健全育成に貢献

②記録賞

ア 最優秀賞

山口 葵良梨	クリスマス杯エクサンプロヴァンス・ジュニア国際柔道大会	女子個人試合 63kg 級 優勝
森 健心	クリスマス杯エクサンプロヴァンス・ジュニア国際柔道大会	男子個人試合 100kg 級 優勝
竹市 大祐	クリスマス杯エクサンプロヴァンス・ジュニア国際柔道大会	男子個人試合 81kg 級 3 位

イ 優秀賞

田中 裕大	第 74 回国民体育大会 柔道競技	少年男子 3 位
服部 大喜	第 74 回国民体育大会 柔道競技	少年男子 3 位
石原 愛依	第 74 回国民体育大会 水泳競技	少年女子 A 200m 平泳ぎ 優勝 少年女子 A 個人メドレー 2 位
荒巻 朋熙	第 74 回国民体育大会 陸上競技	少年男子 B 3000m 3 位

ウ 奨励賞

大牟田高等学校 柔道部	第 23 回九州高等学校新人柔道大会	男子団体試合 優勝
石本 慎太郎	第 23 回九州高等学校新人柔道大会	男子個人試合 100kg 級 優勝
光岡 岳人	第 23 回九州高等学校新人柔道大会	男子個人試合 66kg 級 優勝
川村 虎白	第 23 回九州高等学校新人柔道大会	男子個人試合 81kg 級 優勝

（視点３）スポーツがしやすい環境づくり

市民が身近なところで、いつでも気軽に運動やスポーツ活動へ参加ができるよう、多様なスポーツの場の充実を図るとともに、必要に応じて指導を受けることができるよう、指導者の養成、確保、資質向上やきめ細やかなスポーツ情報の提供などに努め、スポーツがしやすい環境をつくります。

また、市民体育館など老朽化した施設への対応をはじめ、安全で快適なスポーツ環境の整備・充実に努めます。

【主な事業・取組】

○スポーツ施設整備事業〔スポーツ推進室〕

（１）各種体育施設の整備・改修等

本市は、市民体育館、御大典記念グラウンド、延命球場等多くのスポーツ施設を有していますが、各施設は老朽化しており、日本スポーツ振興センター助成事業（toto くじ助成）等を活用しながら、補修、改修等工事を随時実施しています。

また、公共施設維持管理計画に基づき中・長期的な視点に立ち大規模改修等工事を行うなど、安心・安全に利用できるよう施設整備に努めています。

（２）学校体育施設開放事業

地域住民の日常スポーツの場として、学校教育に支障をきたさない範囲で小・中学校の体育施設（体育館、運動場、中学校剣道室・柔道室、宅峰中弓道場、甘木中運動場夜間照明施設）を一般に開放しました。

区 分	H30 年度	R 元年度	R2 年度
利用団体	219	245	198
利用件数	11,958	11,407	9,421
利用人数(人)	192,948	178,218	135,955

○（仮称）総合体育館整備事業〔スポーツ推進室〕

現在の市民体育館はＳ４９年築で老朽化が進み、バリアフリー化や旧耐震基準である等の問題を抱えています。このため、安心・安全で快適な、そして身近で誰もが使いやすい総合体育館の整備に向けて、「（仮称）大牟田市総合体育館新築工事に伴う基本設計」を取りまとめました。

この基本設計の基本コンセプトを「スポーツや運動を通じて、ひとを健康に、まちを元気にする緑に囲まれた総合体育館」とし、この基本コンセプトに基づき、従来のスポーツ拠点機能に加え、他の公共施設における市民活動の場を取り込むことで、市民がスポーツをはじめ様々な活動を通じて集い交流するスポーツ拠点施設を形成することとして、Ｒ５年度中の完成を目指します。

○指導者育成事業〔スポーツ推進室〕

（１）指導者の確保・育成のための研修会等の実施

①スポーツ少年団指導者研修会

スポーツ少年団の指導者を対象に、安全なスポーツ指導及び資質の向上を図るために、研修会を開催しました。

期 日	場 所	研修内容	参加者(人)
R3 年 3 月 12 日(金)	市民体育館研修室A、アリーナ	「ケガしてからでは遅い！日頃からやっておきたいストレッチ」	28

②スポーツ医科学研修会（指定管理者）

生涯スポーツを実施するに当たり、スポーツを通じた健康増進の知識を習得し、スポーツ活動において健康なからだづくりを目指すことを目的に研修会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

期日	場所	研修内容	参加者(人)
R3 年 2 月 17 日（水）	市民体育館研修室 A	中高年の体力低下への対策 「人の一生の変化とスポーツ」	中止

○スポーツ情報提供事業〔スポーツ推進室〕

（１）スポーツカレンダー等による大会・施設の情報発信

日本スポーツ振興センターの助成事業を活用し、種目毎のスポーツイベントの開催、スポーツ施設の紹介、スポーツ少年団一覧、ニュースポーツ用具の貸出紹介など、本市のスポーツ情報を掲載したスポーツカレンダーを制作し、市民に配布を行い、スポーツ実施の機会づくりの啓発・普及を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率	目標値(%)	50.0	50.0	50.0	R5年度の目標値は、新スポーツ推進計画の中で設定	市スポーツ振興計画に掲げる目標値を基に設定。 [現状値：41.6%(H30年度実績)]
	実績値(%)	38.5				
	達成度(%)	77.0				

【指標達成度に対する要因分析】

- 本市のスポーツ振興計画では、「誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり」、「活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり」、「スポーツがしやすい環境づくり」の3つの基本施策のもと、各種事業を実施しています。
- 事業実施に当たっては、スポーツ都市宣言推進協議会、体育協会、スポーツ推進委員協議会等と連携し、コロナ禍の中でも、感染防止策を十分に講じた上で各種行事を開催するなど、可能な範囲で各種スポーツ活動の機会を提供しました。
- 成果指標については、38.5%と、前年度と比較して7.8ポイント減となっており、本市のスポーツ振興計画に掲げる目標値を達成することができませんでした。
- 減少した要因は、新型コロナウイルス感染症による外出等の自粛、また2度にわたる緊急事態宣言により施設利用や対外試合等が制限された時期があった等により、運動・スポーツの機会が激減したことが考えられます。
- 引き続き目標達成に向けて、日頃からスポーツや運動をしていない人への情報提供や実施に向けたアプローチが必要と考えます。

【今後の方向性】

- スポーツ・運動を普段していない人に向けて、スポーツ・運動の持つ効果を発信することにより、関心を持ってもらい、スポーツに気軽に参加できるような機会づくりに努めます。
- 市民の誰もがどこでも生涯にわたり、スポーツに親しみ健康で明るい生活を送るためには、さまざまな市民団体等との連携が必要であり、また、幅広い市民の方がスポーツに触れることができるよう、さまざまな機会を捉え、各種事業のタイムリーな情報提供を行い、参加者の増を図ります。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックが一年延期となったことを受け、引き続き、ホストタウン・交流事業や聖火リレーを通して、市民にスポーツの魅力を発信し、スポーツ振興、地域活性化に向けた諸事業を推進していきます。
- 特に、コロナ禍における感染防止の観点から、リモートやオンラインを活用した事業を実施していきます。
- (仮称)総合体育館に求められる構造、設備、機能等に関する検討結果をまとめた「(仮称)大牟田市総合体育館新築工事に伴う基本設計」に基づき、R3年に実施設計と工事施工を一括発注するデザインビルド事業者の選定を行い、事業を推進していきます。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第6章】 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち
郷土の歴史や遺産を大切に継承・活用し、郷土を愛する気持ちと誇りをはぐくむとともに、市民が文化芸術を通して心豊かで充実した生活を送ることができる文化の薫るまちを目指します。 そのため、郷土の歴史と遺産を学び、理解する機会づくりや、市民が文化芸術に親しみ、参加できる機会づくりを推進します。	

（視点1）まちの歴史や文化を知る・学ぶ

世界文化遺産に登録された三池炭鉱関連施設などをはじめ、地域に残されている近代化遺産や有形・無形の文化財の適切な保存や、それらの歴史を「見える化」するなどの活用に向けた取り組みを通して、郷土の歴史や文化に触れ、現在や未来とのつながりを理解する機会を充実します。

【主な事業】

○世界遺産保存・整備事業〔世界遺産・文化財室〕

（1）世界遺産の管理・修復・活用

①史跡「三井三池炭鉱跡」の保存・管理

ア 適切な施設の維持管理のため、外柵の補修や樹木の伐採、除草清掃を行いました。

イ 今後の史跡整備に向けて基本的な考え方をまとめた、「三池炭鉱跡の保存・公開・活用に関する計画（H29年度策定）」に基づき、専用鉄道敷跡の測量調査を行いました（文化庁補助事業）。

ウ 宮原坑第二堅坑巻揚機室の耐震補強工事（R2～4年度）に着手し、R2年度は実施設計を行いました（文化庁補助事業）。

エ R2年7月豪雨によって、専用鉄道敷跡の法面16箇所が崩れる被害が出ました。被災後、早急に応急処置を行いました。R2年度に実施設計を作成、R3年度より順次復旧工事を行っていきます（文化庁補助事業）。

②大牟田市近代化遺産保存活用基金

大牟田市近代化遺産保存活用基金を、市内の近代化遺産の保存・整備に活用するためにH18年度に設置しました。

今年度は市指定文化財「三井港倶楽部」所有者三井松島ホールディングス（株）から申請があり、三井港倶楽部屋外消火栓の更新事業で基金から990万円拠出しました。

（単位：千円）

R1年度決算に伴う 基金高 ①	R2年度中の増減額		R2年度決算に伴う 基金高①+②-③
	積立額 ②	取崩額 ③	
45,794	3	9,900	35,897

○世界遺産理解促進事業〔世界遺産・文化財室〕

（1）近代化産業遺産を活用したまちづくりの推進

①啓発グッズの作成

近代化産業遺産の記憶を次世代に伝えていくため、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会と共に、オリジナルポロシャツ等の啓発グッズを作成、販売しました。

②小学生を対象にした近代化産業遺産見学会の実施

市内小学校の全6年生を対象に、三池炭鉱関連の近代化産業遺産を見学する、バス見学会を実施しました。

参加者数 884人

③環境美化活動の実施

ア 宮原坑駐車場への団体による花の植栽

駛馬校区まちづくり協議会

イ 三川坑跡での市民、団体等による日本庭園の清掃等

NPO法人三池港未来のまちづくり会、市民の方々

④幼稚園・小学校・中学校・高校との協働

世界遺産学習に取り組む若草幼稚園、はやめ幼稚園、駛馬小学校、宮原中学校の子どもたちが絵を描いた木製プランター（三池工業高校の土木科生徒が作成したもの）20個を、宮原坑に寄贈を受けました。

（2）世界遺産関連施設の価値の啓発

①市内近代化遺産一斉公開の実施（中止）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を見送りました。

②宮原坑、三池港展望所、旧長崎税関三池税関支署の定期公開

宮原坑、三池港展望所は毎週月曜日および年末年始を除き毎日公開し、旧長崎税関三池税関支署は土日曜・祝日のみ公開しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全施設を4月9日（木）～5月19日（火）（月曜日、祝日翌日除く35日間）閉鎖、宮原坑、三池港展望所は4月7日（火）～8日（水）（2日間）ガイドなし、施設公開のみとしました。

見学者数 9,117人（宮原坑）、9,363人（三池港展望所）

696人（旧長崎税関三池税関支署）

③世界遺産登録5周年事業の実施

ア 小学校・中学校、記念給食の企画、記念グッズの配布

学務課の協力により、全市立学校の給食で、炭鉱にちなんだメニュー（小学校と特別支援学校：石炭ビーンズ、中学校：ちくわの石炭揚げ）を実施しました。記念グッズとして三池炭鉱をイメージした絆創膏を市内の小学校・中学校に配布しました。

イ 啓発動画の制作

福岡県世界遺産連絡会議（福岡県、大牟田市、北九州市、中間市）による三池炭鉱・三池港をPRする記念動画を制作し、公開しました。

④パンフレットの作成

世界遺産三池炭鉱・三池港について詳しく解説したパンフレットを改訂し、2万部増刷しました。

⑤出前講座等の実施

世界遺産の価値を広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア 講師派遣・視察対応

講師派遣 3件 視察対応 1件

イ 各種事業への共催等の実施

後援 2件

○文化財保護事業〔世界遺産・文化財室〕

（1）指定文化財の保護

①指定文化財の管理

ア 指定文化財地内除草清掃（潜塚古墳、萩ノ尾古墳、早鐘眼鏡橋、上内立花内膳家墓地）、指定文化財定期点検（毎月）、災害時点検を実施しました。

イ 国指定史跡「萩ノ尾古墳」の石室内部の保存環境について、定期的な記録管理を行いました。

ウ 令和２年７月豪雨によって、国指定史跡「潜塚古墳」の民家に隣接する崖面が崩落する被害が出ました。Ｒ２年度中にコンクリート擁壁を増設する復旧工事を行いました（文化庁補助事業）。

②新規国登録文化財

Ｒ３年２月４日、「古賀家住宅主屋」（谷町）が国の文化財登録原簿に登録されました。

（２）文化財の調査・公開・活用

①埋蔵文化財発掘調査（国・県補助事業）

ア 試掘・確認調査

各種開発に伴う事前の文化財の有無に関する問合せが６２３件あり、そのうち試掘・確認調査を行ったのは１５件でした。本調査に至ったものはありませんでした。

②文化財防火デー

ア 市指定文化財「三井港倶楽部」において、文化財防ぎょ訓練を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止となりました。

イ 文化財防火デーを周知するため、ポスターを国指定・登録文化財（建造物）所有者に配布し、掲示を依頼しました。

ウ 県指定文化財「慈覚大師坐像」「薬師如来坐像」が安置されている普光寺本堂と、旧長崎税関三池税関支署の防火設備の点検を行いました。

③文化財保護強調週間

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、近代化遺産一斉公開の開催を見送りました。

④ぜんでこ踊り保存会補助

市指定無形民俗文化財「ぜんでこ踊りとひゅうたん廻し」の保存団体であるぜんでこ踊り保存会へ補助金を交付しました。

⑤常設・企画展示の充実（三池カルタ・歴史資料館）

三池カルタ・歴史資料館が行う常設・企画展に対し、協力・助言・指導を行いました。

（常設・企画展の内容については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」（１５５～１５７ページ）を参照）

（３）文化財保護の啓発

①文化財説明板の更新

新たに国登録文化財となった「古賀家住宅主屋」の文化財説明板を新設しました。

②出前講座等の実施

大牟田の成り立ち・歴史について広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア 講師派遣・視察対応

講師派遣 ３件

イ 各種事業への共催等の実施

後援 ３件

【視点２）文化芸術事業の充実

質の高い文化芸術に触れる機会と、身近な場所で文化芸術に触れる機会の充実を図ります。あわせて、子どもが文化芸術に触れ、豊かな感性を育むとともに、若者が文化芸術に対する関心を高める機会の充実を図ります。また、誰もが気軽に文化芸術に親しめるよう、市民が参加しやすい事業の充実に努めます。

【主な事業】

○多様な文化芸術提供事業〔生涯学習課〕

（１）本市の特色を活かした文化芸術事業

①福岡県立美術館所蔵品巡回展「移動美術館展」

福岡県立美術館が所蔵する名品や大牟田市ゆかりの画家の作品を大牟田文化会館に展示し、中高生をターゲットに幅広い年齢層の方に、質の高い文化芸術に触れる機会を提供しました。また、会期中に福岡県立美術館学芸員によるギャラリートークを実施しました。

会 期 R 3 年 1 月 2 0 日（水）～ 2 月 1 1 日（木・祝） 2 1 日間

※ 1 月 2 5 日（月）、2 月 8 日（月）は休館日

場 所 大牟田文化会館 展示室

入場者数 1, 4 7 1 人

②作家に聞こう！なんでんかんでん～絵本のこと、童話のこと～

絵本美術館が R 3 年にオープンすることから、日頃接する機会がない絵本作家にふれることで子どもの想像力や発想力を養うとともに、読書意欲を促進する事業に取り組みました。

と き R 3 年 3 月 1 3 日（土）

場 所 大牟田文化会館 3 階研修室

参加者数 3 5 人

③萩尾望都展 in カルタックスおおむた

本市出身の漫画家・萩尾望都さんの市民栄誉賞授賞を記念し、また、多くの市民に萩尾望都さんを知っていただくため、萩尾望都さんの代表作品やポスター、ポストカード等を展示しました。

会 期 7 月 3 1 日（金）～ 9 月 2 2 日（火・祝）

場 所 市立図書館、三池カルタ・歴史資料館 館内

入場者数 1 6, 5 0 8 人（通常の利用者・観覧者を含む）

④カルタ文化の普及

三池カルタ・歴史資料館において、季節に即した企画展は実施していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、九州新人かるた競技大会は実施できませんでした（詳細については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」（155～157ページ）を参照）。

⑤本市の文化や歴史等に関する講座・企画展の開催

三池カルタ・歴史資料館の企画展に合わせた文化歴史講座や通年の講座を実施しました。詳細については、社会教育施設等の状況を参照してください。

（２）大牟田市民文化のつどい事業

市民の文化活動の発表の場を充実させ、芸術鑑賞の機会を設けることにより、市民の文化芸術に対する理解を深め、もって地域文化の創造と発展に資するために開催しました。

実施事業数 4 件（計画事業数は 1 9 件）

入 場 者 数 1, 4 6 3 人

事業名	主管団体名	と き	と ころ
三流派合同茶会	大牟田茶道連盟	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
第 67 回青々水彩画協会公募展	青々水彩画協会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
創作太鼓と郷土芸能の祭典	おおむた和太鼓愛好会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
第 28 回ありあけ山野草会展示会	ありあけ山野草会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
大牟田能楽会 素謡・囃子の会	大牟田能楽会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
歌謡フェスティバル 2020	九州歌謡連盟	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
大牟田押花フェスタ 2020	大牟田押花の会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
ふるさと大牟田の歴史と文化講座	三池史談会	10 月 17 日（土） 10 月 24 日（土）	文化会館研修室
俳句大会	大牟田俳句連合会	10 月 23 日（金）	文化会館研修室
第 63 回吟剣詩舞道大会	大牟田吟詠連盟	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
第 69 回大牟田美術展	大牟田美術協会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
三曲（箏・三絃・尺八）演奏会	大牟田三曲協会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
創作舞踊のつどい part35	大牟田民舞協会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
クラシックギターのつどい	大牟田クラシックギター愛好会	11 月 7 日（土）	文化会館大ホール
第 39 回大牟田市民音楽フェスティバル 2020 大牟田合唱祭	大牟田音楽連合会（大牟田合唱連盟）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
大牟田みやび舞踊の会 設立 15 周年記念公演	大牟田みやび舞踊の会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
第 13 回深浦バレエスタジオ発表会	大牟田バレエ協会	R3 年 1 月 24 日（日）	文化会館大ホール
各流派合同日本舞踊勉強会	大牟田日本舞踊協会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
第 14 回スプラウトダンス発表会	大牟田ストリートダンス協会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

○文化芸術体験を通じた子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕

（１）まちの芸術家派遣事業

子どもが質の高い文化芸術に触れ、豊かな感性を育む機会をつくるため、文化芸術活動者を学校へ派遣し、学校教育における文化芸術の鑑賞、体験等の機会の充実を図りました。

実施事業数 5 件

学校名	ジャンル	派遣団体	と き
吉野小学校	押花	花みずき会	7月21日（火）
吉野小学校	押花	花みずき会	7月27日（月）
駛馬小学校	書道	大牟田美術協会書道部	11月9日（月）
駛馬小学校	華道	大牟田文化華道連盟	R3年1月25日（月）
銀水小学校	華道	大牟田文化華道連盟	R3年2月15日（月）

（２）若者の関心に合わせた文化芸術事業〔生涯学習課〕

ダンスによる若者育成事業 ダンスチャレンジおおむた

高校生が小中学生にダンスを教えるダンスワークショップや市内高校ダンス部のステージ発表のほか、小学生から高校生を対象に市内外から参加者を募ったダンス大会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためR3年度に延期しました。

【視点３）文化芸術の環境づくり

文化芸術活動を行う市民団体への支援等により、市民が身近に文化芸術に親しめる環境づくりを進めます。また、文化芸術により生み出される様々な価値を人づくり、まちづくりの面で活かし、まちの魅力を高める取組みを進めます。あわせて、文化施設の適切な維持・補修を行うとともに、これからの文化施設が地域で果たす役割について改めて検討し、機能の充実を図ります。

【主な事業】

○市民（民間）団体等による文化芸術活動支援事業〔生涯学習課〕

（１）各種共催事業等の実施

各種文化芸術事業への共催等による支援を行いました。

共催・後援件数 ３４件

（２）大牟田市民文化のつどい事業における公募

大牟田市民文化のつどい事業において、広く公募を行い、文化のつどいの１事業として「大牟田みやび舞踊の会 設立１５周年記念公演」を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

○文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業〔生涯学習課〕

羽山台小学校演劇ワークショップ・講演会

講師に平田オリザ氏を招き演劇の手法を活用して他者と協力したり、自分を表現できるコミュニケーション能力を育むほか、多様な価値観をもつ人との対話に必要なことについて理解を深める講演会やワークショップを行いました。

内容	対象	とき	ところ
市民を対象としたワークショップ等	羽山台小校区住民、市民活動団体ほか	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
小学校ワークショップ	羽山台小学校６年生 羽山台小学校５年生	１０月２４日（土） １１月１９日（木）	羽山台小学校
講演会	教職員	１０月２４日（土）	羽山台小学校

○文化芸術による交流創出事業〔生涯学習課〕

（１）有明圏域定住自立圏文化振興会議

圏域４市２町による文化振興会議を開催し、効果的な文化芸術情報の発信や魅力的な共同文化事業の実施について協議する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送りました。

（２）広域連携の取組み

有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき、従前より実施している「有明美術展」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。また、圏域内の自治体４市２町で圏域内の文化事業に関する情報の効果的な発信として各自治体に定住コーナーを設けています。

○文化施設整備事業〔生涯学習課〕

大牟田文化会館はＳ６１年（１９８６年）、カルタックスおおむたはＨ３年（１９９１年）にそれぞれ開館しました。これらの施設は老朽化が進む中、計画的な予防保全が必要となっていることから、公共施設維持管理計画に基づき、維持補修に取り組みました。

- ・文化会館 外壁漏水補修工事、大ホール音響設備更新工事、圏民ロビーソファ更新など
- ・カルタックス 外壁補修工事、北側樹木剪定など

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合	目標値(%)	80.0	80.0	80.0	80.0	文化庁「文化芸術推進基本計画」に掲げる目標値を基に設定(R2年80.0%) [現状値:57.9%(H30年度実績)]
	実績値(%)	44.5				
	達成度(%)	55.6				

【指標達成度に対する要因分析】

- 市民文化のつどいとして年間で19の事業を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、15事業が中止となりました。また、文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業については、平田オリザ氏による教職員を対象とした講演会と羽山台小学校演劇ワークショップのみの縮小開催となり、市民を対象としたワークショップ等は中止となりました。このように、新型コロナの影響で各種イベント等が中止・延期となり、文化芸術活動への参加の機会が減少したことが、指標の実績値に影響した可能性があります。今後も感染対策を徹底したうえで、発表活動の場と鑑賞の場を設けるとともに、公募事業や賛助出演により新規参加の受入れを行い、多様な文化芸術活動の推進に努めていきます。
- 市民参加を促進するため、「広報おおむた」やホームページ、「愛情ねっと」等を活用するとともに、チラシやポスターを公共施設に配布するなどし、幅広く文化事業の開催等の周知を行いました。また、本市の特色を活かした文化芸術事業として、福岡県立美術館が所蔵する名品や大牟田市ゆかりの画家の作品を多数展示したイベント等を実施し、本市の魅力を市内外へ発信しました。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、近代化遺産一斉公開（炭鉱の祭典）などのイベント等の開催を縮小・中止しました。しかし、感染防止対策を行いながら、郷土の歴史への興味関心を高める事業として、バス見学会や出前講座など文化財に関する講座を実施したことで、郷土を愛する気持ちと誇りを育みました。

【今後の方向性】

- R元年度に策定した「大牟田市文化芸術振興プラン」に基づき、「文化芸術に親しみ心豊かに生活できるまち」を大きな目標としてさまざまな施策に取り組みます。特に本計画期間にあっては、次世代を担う人づくりに力を入れ、文化芸術を通した子どもや若者の育成を図る施策を推進します。
- 長引くコロナ禍においても文化イベント等が実施できるよう、文化芸術団体や大牟田市文化振興財団等と連携し、市民が文化芸術に直接触れる機会の充実を図ります。
- 世界遺産をはじめとする近代化遺産や文化財の保存・活用により、多くの市民がまちの歴史や文化に対する理解を深め、それがまちへの愛着と誇りにつながるよう取り組みます。また、オンラインや映像等を活用することで世界遺産の価値を広く内外に周知し、その魅力に触れてもらえるよう取り組みます。

学 識 経 験 者 意 見

大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価についての意見書

福岡教育大学
教授 石丸 哲史

このたび、大牟田市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った。今回は、「大牟田市学校教育振興プラン 2020～2023」にもとづく令和2年度大牟田市学校教育振興事業計画を対象としており、今年度は、このプランが反映した取組が行われたかどうかを点検・評価する最初の機会といえる。

事業計画に掲げられた各主要施策について、教育委員会関係分と、「大牟田市まちづくり総合プラン」の施策体系にもとづく市長部局関係分について、点検・評価の対象としていることは、教育に係るすべての施策が網羅され、いわゆる縦割りイメージが払拭されている。大牟田市の教育はどうなっているのかという市民の素朴な問いに対しても丁寧な答える姿勢の表明ともいえる。

一般的に、細分化された個々の施策に真摯に向き合い取組を深めていけばいくほど、基本理念、基本方針に立ち返る余裕がなくなり、教育施策の全体像を掴みにくくなるのが往々にしてある。こういった懸念を払拭すべく、学校教育振興プランにおいて基本方針自体にもかかる成果指標を設定していることは有意義であり、事業の軌道修正等に大いに貢献している。また、基本施策の名称を、令和元年度までのⅠ「特色ある学校教育の展開」から「未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開」とし、Ⅱ「知育・徳育・体育のバランスが取れた児童生徒をはぐくむ」から「子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる」としたことは、主要施策の実効性の再検討にもつながる。このように、内容や体裁などあらゆる点から検討を加えることが点検・評価の基本といえる。成果指標の達成状況についても、「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」を設けており客観性や合理性が担保されている。市民への説明責任を果たしているだけでなく、教育行政に対する市民の関心を高めるとともに、効果的な教育行政の推進にも貢献している。現状を把握する上で多面的・多角的な検討がなされ、成果は明確なエビデンスを伴い、今後の方向性には現状を確実に捉えたものであり、現実的かつ具体的なもので首肯できる内容となっている。

このような丁寧な市民目線の点検・評価の手法に至るまでにはたゆまぬ改善努力が背景にあったことと思う。施策の一貫性を堅持しつつも、今回のような学校教育振興プランの改訂に対応もするという臨機応変のスタンスがある。

○教育委員会の活動状況について

地域に根ざし各方面でご活躍の方々が、教育委員としての重責を担われている。教育委員会会議に出席し教育行政に関する重要事項等についての審議を滞りなく進められている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大によりさまざまな支障があるなか、感染防止対策を入念に講じながら、学校を訪問し関係者との懇談や意見交換を実現し、また卒業式等の三行事にも出席したことは、コロナ禍だからこそ現場の状況を把握しようと努める教育委員の姿勢の表れである。さらに、会議の円滑な運営と議論の活性化をめざした勉強会が前年度よりも多く開催されたことには驚かされる。

市民の意向を十分に反映した教育行政を展開するために、教育委員会の活動に関する広報について尽力していることも十分に看取できる。教育委員会会議の開催情報について開会前3日までに掲示場に告知するとともにウェブサイト上にも掲載するなど周知に努めている。にもかかわらず、傍聴者がなかったことは残念であるが、コロナ禍であることに鑑みると致し方あるまい。定着した年3回の「教育委員会だより」など常に広報機会を充実させてきており、今後も、引き続き広報および広聴活動の充実を図っていただきたい。

○教育委員会および市長部局関係分における重点事業について

教育委員会関係分については、令和2年度大牟田市学校教育振興事業計画に基づいた施策の総括を行っている。本市の学校教育の基本理念には、持続可能な社会の創り手となる子どもたちの育成を目指すとされている。予測困難な時代にあって、さまざまな課題を克服し、持続可能な社会を構築できる資質・能力を備えた人づくりこそが、大牟田市の学校教育の根幹であるとし、このことがまちづくりにつながるとしている。また、基本方針では、持続可能な社会の創り手になれるように、夢や目標に向かって意欲的に学ぶ力と、自ら課題を発見し、多様な人々と協働しながら主体的に解決する力を育成するために、ESD、郷土愛をはぐくむ学習などの特色ある学校教育を展開するとともに、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育を推進するとある。

上記のような力を育むために ESD などの特色ある学校教育を展開するとある。換言すれば、ESD 等は上記の力の育成に貢献するということであり、この趣旨に沿って施策が実施されているということになる。本稿ではこのことに焦点を当て、ESD 実践の延長線上に児童生徒の「生きる力」が担保されているか、各重点事業を検討していく。

一方、市長部局関係分については、まちづくりに資するひとづくりにかかり、社会教育、スポーツ及び文化の振興に傾注している。とりわけ、地域課題解決と地域

の未来像を描くための取組は特色あるものといえる。以下、個々の重点事業に対する管見を申し述べる。

◆教育委員会関係分

I-1 未来を創るESD推進事業について

本事業は大牟田市の中核事業ともいえる。「SDGs／ESD のまち・おおむた」をめざし、各学校が SDGs の達成に向かった ESD を充実すべく、さまざまな取組を深めてきた。「子どもは行事でも育つ」と言われるように、「SDGs／ESD 実践交流会」や「ユネスコスクール・SDGs／ESD 子どもサミット」など行事によって非認知能力を中心とした生きる力が育まれるであろうが、その実効性を精確に評価し、持続可能な社会を創る上での資質・能力の向上に本施策が貢献しているか今後厳密に検討する必要がある。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止策としてオンラインによる開催技術が大きく進展したことから、多様な取組を今後に期待したい。

I-3 英語教育のまち・OMUT A推進事業について

小学校において令和2年度より「外国語科」および「外国語活動」の必修化にかかり、大牟田市では早期より英語教育に目を向け、これまでの実績に基づいたノウハウが蓄積されてきた。5・6年生の外国語科の授業において、「聞く」「話す」「読む」「書く」の学習の充実を図っているが、英語を使う実践力の向上が必要であるとしている。この実践力こそが、英語圏との円滑な交流にもつながり、前掲の ESD の充実にも貢献することから、引き続き取組を深めていく必要がある。

II-1 「学びに向かう力」育成推進事業について

今日では、資質・能力の三つの柱である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」とともに「学びに向かう力」の涵養が重視されている。この力を育成することを目論んだ本事業は「学びを人生や社会に生かそうとする」ために必要なものであり、学力向上にも寄与する。しかし、かかる多くの取組が新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施できなかったとしている。防止策を講じながら今後進めていくとともに、教師の指導力向上をめざしていることから、授業改善など今後学力向上に向けた取組を再検討しつつ、特に効果的なものについてはさらに取組を深めていく必要がある。

II-2・IV-1 「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業について

いじめや不登校の問題を解消する取組が継続的に進められてきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、令和2年度は、各学校の取組の交流、良好な活動事例の全学校での共有、共通して実践する内容の採択等、ほとんどの取組ができ

なかった。しかし、各学校における個々の実践は成果を収めていることから、ポストコロナの事業内容・方法等を模索しながら、市全体での取組を進めていく必要がある。

Ⅱ-3 子ども大牟田体力検定推進事業について

大牟田市では、知育・徳育・体育のバランスにも意を注いでいる。学習意欲と同様に体力向上を図る上では、運動の喜びや楽しさを味わわせ、運動の習慣化が必要であるとしているように、なによりも主体性が重要である。「体力向上チャレンジカード」と「検定カード」の活用をその方途としてあげているが、あらゆる場面において体力向上の可能性があることから、これだけでなく、事業内容・方法等を工夫しながら、関連する事業を継続していただきたい。

V-1 人権・同和問題啓発事業について

人権・同和問題に対する理解と認識は未だ十分とはいえず、深化と拡充に向けた取組は、多くのSDGに適っている。若年層の参加者の割合が10.6%と低い状況にあることを課題としていることから、取組を改善していく必要がある。人権尊重意識の醸成度を指標とし100%を目標値として設定すること自体に意義があるので、100%達成に向けて推進していただきたい。

◆市長部局関係分

4-1 高校生まちづくり体験事業（次世代を担う人づくり事業）について

義務教育を終えると域外へ就業あるいは他市町村の高校に通学する生徒は多く、少なくともこれまでの生活圏が地域完結しないことが一般的である。せっかく義務教育において郷土への愛情や誇りを醸成することに成功していても、この段階で中断することがある。このような状況に鑑み、本事業に着手したことは実に意義が大きい。

すなわち、地域の持続可能な社会を創る上での資質・能力は発達段階とともに高度化していくなか、意欲の向上は必ずしも保障されていない。したがって、高校生まちづくり体験事業推進協議会を設立し、ふるさと魅力発見ウォークを実現できたことは喜ばしい。まちづくりに参画させることは生徒にその実践力を育むうえで重要であるだけに、魅力発見だけでなくより具体的で直接的なまちづくり事業に参画させ、自己有用感を高めるよう取組を深めていく必要がある。

4-2 学校ESD支援事業について

我が国の第3期教育振興基本計画では、「持続可能な社会を実現するためにも、一人一人が生涯にわたって活躍できる社会を実現することが不可欠である。」とされ、

地域課題の解決に向けた社会教育システムの構築においては、「地域における持続可能な社会教育システムの構築に向けての新たな政策展開が求められている。」とあり、ここに ESD が明確に位置づけられている。

地区公民館が学校教育の ESD に対して必要に応じた協力を行うことで社会教育における ESD の推進へと導こうとする試みは実に斬新であり、持続可能な社会づくりをめざした学校教育と社会教育の一体的取組といえる。地区公民館の機能や役割について、学校職員への周知が十分ではないため、提供できる支援についての理解が不足しているという課題が明らかになっており、わかりやすい仕組みを構築していくことが提示されていることから、市民目線に立ってより具体的な取組を検討していく必要がある。

本稿では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の趣旨に則り、事業・取組の内容だけでなく、その点検・評価の手法についても管見を述べた。大牟田市はこれまで ESD に傾倒し大きな成果をあげ、我が国においても先駆的な地域として名高い。そもそも、大牟田市が ESD に取り組んだ背景は、OECD が提唱したキーコンピテンシーを育むためと聞き及んでいる。現行の学習指導要領ではコンピテンシーベースの学力観が重視されていることからすると先見の明があったといえる。したがって大牟田市において ESD を展開していくことは、新しい学力観に立脚した学力向上ひいては生きる力を育むためでもある。つまり、ESD 実践の延長線上には学力向上が明確に位置づけられないといけない。持続可能な社会の創り手を育むことがうたわれている学習指導要領においても ESD 実践と学力向上は拮抗対立してはいない。

大牟田市の小中学校および特別支援学校においては、ユネスコスクールとしての役割を果たし、これまで多岐にわたる ESD の実践によって、国内外にその名を轟かせてきた。今一度確認していただきたいことは、大牟田市における ESD は、持続可能な世界とともに持続可能な大牟田市の実現のためにあるということである。両者の実現には、「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の涵養」「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の育成」が前提となる。

学校においては、ESD の実践とともに教科等の授業改善を着実に進めていき、その達成度を定量的に測りながら、恒常的な点検・評価に臨んでいただきたい。市民の負託に応えているかどうか振り返ることが点検・評価作業の第一義的目的である。このたびの点検・評価は、このことを再確認する機会としていただきたい。

以上

資 料 編

〔 歴代教育委員等 〕

1 歴代教育委員

氏 名	期 間
黒 田 潔	S27.10. 5～ 31. 9.30 31.10. 1～ 35. 9.30
藤 津 潔	27.10. 5～ 31. 9.30
米 倉 勇 喜	27.10. 5～ 31. 9.30 31.10. 1～ 34. 4.18
三 島 利 信	27.10. 5～ 31. 9.30
古 賀 初 男	27.10. 5～ 29. 9.30
堀 弘	29.10. 1～ 31. 9.30
湯 村 誠 男	31.10. 1～ 33. 9.30 33.10. 1～ 37. 9.30
水 町 キ ヲ	31.10. 1～ 32. 9.30 32.10. 1～ 36. 9.30 36.10.13～ 40.10.12
川 畑 昭二路	34. 5.19～ 35. 9.30
稲 員 鎌 造	36. 3.16～ 40. 3.15
平 木 次 郎	36. 3.16～ 40. 3.15 40. 4.21～ 41.10. 7
近 藤 広 蔵	37.10. 3～ 41.10. 2
古 崎 真 直	40. 4.21～ 41. 8.24
松 本 勇	40.11.13～ 41. 8.24
猿 渡 五三郎	41. 8.25～ 44. 4.20 44. 5. 1～ 48. 4.30
藤 田 光 雄	41. 8.25～ 42.10.15 42.12.21～ 46.12.20
小田原 武 則	41.10.14～ 45.10.13 45.10.14～ 49.10.13
坂 口 長一郎	40.10.14～ 44. 4.20 44. 5. 1～ 48. 4.30 48. 5.15～ 52. 5.14 52. 5.20～ 56. 5.19
清 水 龍 哉	46.12.24～ 50.12.23 50.12.24～ 54.12.23
相 島 壽	48. 5.15～ 52. 5.14 52. 5.20～ 56. 5.19 56. 5.20～ 60. 5.19
永 田 恒 久	49.10.14～ 53.10.13 53.10.14～ 57.10.13
蒲 池 當	56. 5.20～ 60. 5.19
大 隅 一 雄	54.12.24～ 58.12.23 58.12.24～ 62. 4.15
大久保 修 吉	57.11.20～ 61.11.19
辻 政 義	62. 7.24～ 62.12.23 62.12.24～ H3.12.23
河 口 政 俊	60. 5.27～ 元. 5.26 元. 5.27～ 5. 5.26
長 島 政 勝	60. 5.27～ 元. 5.26 元. 5.27～ 5. 5.26
圓 佛 洋 右	62. 3.12～H 3. 3.11 3. 3.13～ 7. 3.12 7. 3.13～ 11. 3.12 11. 3.13～ 15. 3.12
蓮 澤 浩 明	3.12.24～ 7.12.23 7.12.24～ 11.12.23 11.12.24～ 15.12.23
山 本 進 一	5. 5.27～ 9. 5.26 9. 5.27～ 13. 5.26 13. 5.27～ 15. 9.30

氏 名	期 間
木 村 和 子	5. 5.27～ 9. 5.26 9. 5.27～ 13. 5.26 13. 5.27～ 17. 5.26
山 本 和 夫	15. 3.13～ 19. 3.12 19. 3.13～ 23. 3.12 23. 3.13～ 27. 3.12 27. 3.13～ 31. 3.12 31. 3.13～
後 藤 和 子	15.10. 1～ 17. 5.26 17. 6. 1～ 21. 5.31
大 平 修	16. 3. 1～ 20. 2.29 20. 3. 3～ 24. 3. 2 24. 3. 3～ 28. 3. 2
古 後 八 重 子	17. 6. 1～ 21. 5.31
池 田 美 子	21. 6. 1～ 25. 5.31
嶋 田 桂 子	21. 6. 1～ 25. 5.31 25. 6. 1～ 29. 5.31 29. 6. 1～
本 山 清 美	25. 6. 1～ 29. 5.31 29. 6. 1～ 30. 5.31
東 秀 樹	28. 3.22～ 31. 3.21 31. 3.22～
笹 井 葉 子	30. 6. 1～

2 歴代教育長

氏 名	期 間
堀 次 助	S27.11. 1～ 31. 9.30
稲 員 鎌 造	31.10. 1～ 34. 9.30
樋 口 種 樹	34.10. 5～ 38.10. 4
安 元 薫	38.11. 8～ 41. 8.24
池 上 尚 司	41. 9. 5～ 44.11.12 44.11.13～ 46. 6. 7
枋 原 秋 雄	46. 7.23～ 48.11.12
池 田 喜 市	49. 3. 9～ 53. 2.26
黒 田 弘	53. 2.27～ 57. 2.26 57. 2.27～ 61. 2.26 61. 2.27～H 2. 2.26
西 田 茂	2. 3.10～ 6. 2.26
荒 木 和 久	6. 3. 4～ 10. 3. 1 10. 3. 2～ 14. 3. 1 14. 3. 2～ 18. 3. 1
宮 田 忠 雄	18. 3. 2～ 22. 3. 1 22. 3. 2～ 26. 3. 1
安 田 昌 則	26. 3. 3～ 27. 3.31 27. 4. 1～ 30. 3.31 30. 4. 1～R 3. 3.31

3 歴代教育長職務代理者

氏 名	期 間
山 本 和 夫	H27. 4. 1～ 30.3.31 30. 4. 1～R 3.3.31

4 歴代教育委員長

氏 名	期 間
藤 田 光 雄	S44. 5. 1～ 45. 4. 30 45. 5. 1～ 46. 4. 30
坂 口 長一郎	46. 5. 1～ 47. 4. 30 47. 5. 1～ 48. 4. 30 48. 5. 21～ 49. 5. 20
小田原 武 則	49. 5. 21～ 49. 10. 13
清 水 龍 哉	49. 10. 16～ 50. 10. 15 50. 10. 16～ 50. 12. 23 50. 12. 24～ 51. 12. 23
相 島 壽	51. 12. 24～ 52. 5. 14
永 田 恒 久	52. 5. 20～ 53. 5. 19 53. 5. 20～ 53. 10. 13
相 島 壽	53. 10. 14～ 54. 10. 13 54. 10. 14～ 55. 10. 13 55. 10. 14～ 56. 5. 20
永 田 恒 久	56. 5. 21～ 57. 5. 20 57. 5. 21～ 57. 10. 13
相 島 壽	57. 11. 22～ 58. 11. 21 58. 11. 22～ 59. 11. 21 59. 11. 22～ 60. 5. 19
大久保 修 吉	60. 5. 28～ 61. 5. 27 61. 5. 28～ 61. 11. 19
河 口 政 俊	62. 3. 12～ 63. 3. 11
長 島 政 勝	63. 3. 12～H元. 3. 11
圓 佛 洋 右	元. 3. 12～ 2. 3. 11
辻 政 義	2. 3. 12～ 3. 3. 11
河 口 政 俊	3. 3. 12～ 4. 3. 11
長 島 政 勝	4. 3. 12～ 4. 9. 11
圓 佛 洋 右	4. 9. 12～ 5. 9. 11
蓮 澤 浩 明	H 5. 9. 12～ 6. 9. 11
山 本 進 一	6. 9. 12～ 7. 9. 11
木 村 和 子	7. 9. 12～ 8. 9. 11
圓 佛 洋 右	8. 9. 12～ 9. 9. 11
蓮 澤 浩 明	9. 9. 12～ 10. 9. 11
山 本 進 一	10. 9. 12～ 11. 9. 11
木 村 和 子	11. 9. 12～ 12. 9. 11
圓 佛 洋 右	12. 9. 12～ 13. 9. 11
蓮 澤 浩 明	13. 9. 12～ 14. 9. 11
山 本 進 一	14. 9. 12～ 15. 9. 11
木 村 和 子	15. 9. 12～ 16. 9. 11
山 本 和 夫	16. 9. 12～ 17. 9. 11
後 藤 和 子	17. 9. 12～ 18. 9. 11
大 平 修	18. 9. 12～ 19. 9. 11
古 後 八 重 子	19. 9. 12～ 20. 9. 11
山 本 和 夫	20. 9. 12～ 21. 9. 11
	21. 9. 12～ 22. 9. 11
	22. 9. 12～ 23. 3. 12
	23. 3. 13～ 24. 3. 12
	24. 3. 13～ 25. 3. 12
	25. 3. 13～ 26. 3. 12
	26. 3. 13～ 27. 3. 12
	27. 3. 13～ 27. 3. 31

5 歴代教育委員長職務代行者

氏 名	期 間
坂 口 長一郎	S44. 5. 1～ 45. 4. 30 45. 5. 1～ 46. 4. 30
小田原 武 則	46. 5. 1～ 47. 4. 30 47. 5. 1～ 48. 4. 30 48. 5. 21～ 49. 5. 20
清 水 龍 哉	49. 5. 21～ 49. 10. 15
相 島 壽	49. 10. 16～ 50. 10. 15 50. 10. 16～ 50. 12. 23 50. 12. 24～ 51. 12. 23
永 田 恒 久	51. 12. 24～ 52. 5. 19
相 島 壽	52. 5. 20～ 53. 5. 19 53. 5. 20～ 53. 10. 13
永 田 恒 久	53. 10. 14～ 54. 10. 13 54. 10. 14～ 55. 10. 13 55. 10. 14～ 56. 5. 20
相 島 壽	56. 5. 21～ 57. 5. 20 57. 5. 21～ 57. 10. 21
蒲 池 當	57. 11. 22～ 58. 11. 21 58. 11. 22～ 59. 11. 21 59. 11. 22～ 60. 5. 19
大 隅 一 雄	60. 5. 28～ 61. 5. 27 61. 5. 28～ 62. 3. 11
長 島 政 勝	62. 3. 12～ 63. 3. 11
圓 佛 洋 右	63. 3. 12～H元. 3. 11
辻 政 義	元. 3. 12～ 2. 3. 11
河 口 政 俊	2. 3. 12～ 3. 3. 11
長 島 政 勝	3. 3. 12～ 4. 3. 11
圓 佛 洋 右	4. 3. 12～ 4. 9. 11
蓮 澤 浩 明	4. 9. 12～ 5. 9. 11
山 本 進 一	H 5. 9. 12～ 6. 9. 11
木 村 和 子	6. 9. 12～ 7. 9. 11
圓 佛 洋 右	7. 9. 12～ 8. 9. 11
蓮 澤 浩 明	8. 9. 12～ 9. 9. 11
山 本 進 一	9. 9. 12～ 10. 9. 11
木 村 和 子	10. 9. 12～ 11. 9. 11
圓 佛 洋 右	11. 9. 12～ 12. 9. 11
蓮 澤 浩 明	12. 9. 12～ 13. 9. 11
山 本 進 一	13. 9. 12～ 14. 9. 11
木 村 和 子	14. 9. 12～ 15. 9. 11
山 本 和 夫	15. 9. 12～ 16. 9. 11
後 藤 和 子	16. 9. 12～ 17. 9. 11
大 平 修	17. 9. 12～ 18. 9. 11
古 後 八 重 子	18. 9. 12～ 19. 9. 11
山 本 和 夫	19. 9. 12～ 20. 9. 11
後 藤 和 子	20. 9. 12～ 21. 5. 31
大 平 修	21. 6. 1～ 21. 9. 11
	21. 9. 12～ 22. 9. 11
	22. 9. 12～ 23. 3. 12
	23. 3. 13～ 24. 3. 12
	24. 3. 13～ 25. 3. 12
	25. 3. 13～ 26. 3. 12
	26. 3. 13～ 27. 3. 12
	27. 3. 13～ 27. 3. 31

〔 機構と職員数 〕

1 機構及び事務分掌

(令和3年3月31日現在)

教育委員会

事務局

総務課

教育委員会会議、規則・規程の制定及び改廃、公印管理、文書の收受及び発送、職員（教職員を除く）の人事・給与及び旅費、職員の研修・福利厚生及び表彰、職員団体その他労務管理、労働安全衛生、教育行政の各種統計調査、事務局及び教育機関の事務の管理調整、公示、教育行政に関する相談に関する事

学校再編推進室

市立学校の再編の推進、市立学校適正規模・適正配置検討委員会に関する事

教育みらい創造室

事務局及び教育機関の事務の企画に関する事

学校教育課

市立学校の設置及び廃止、児童生徒等の入退学及び転校、児童生徒等の就学の免除及び猶予、長期欠席中児童・生徒の調査及び出席の督促、通学区域、学級編制、教職員の人事・給与・免許・職員団体・福利厚生・表彰・調査・統計、学校施設の開放（学校体育施設の開放事業に係るものを除く）、学校運営の管理、市立学校通学区域審議会、情報管理に関する事

指導室

学校教育の指導、学校の教科内容、教職員の研修、教科用図書の採択、学校の教材及び教具の指導、児童・生徒の文化体育行事、児童・生徒の学力等の調査、教育研究所の運営についての指導助言、障害児就学指導委員会、いじめ防止対策委員会に関する事

教育研究所

地域、児童生徒の教育内容及び学習指導並びに教育評価等に関する調査研究、各種調査研究事項の刊行、教育相談事業と研究、資料収集と供覧、研修講座

ユネスコスクール
支援センター

市立学校におけるユネスコスクールの取組への支援、ユネスコスクール及びESDに関する資料及び情報の収集及び提供、知識の普及及び啓発、ユネスコスクール間の交流に関する事

学務課

学校基本調査、就学奨励補助金交付の認定、学校給食及び学校保健、児童・生徒及び教職員の健康診断・就学時健康診断、学校環境の衛生管理、児童・生徒の安全及び学校災害共済給付金・給食費及び医療費に係る補助金の交付、学校給食会、学校保健会、学校医・学校歯科医及び学校薬剤師、市立学校結核対策委員会、市立小学校給食調理業務委託者選定委員会、施設の建設計画及び教育財産の管理に関する事

中学校給食センター

市立中学校において実施する給食の調理及び配送に関する事、中学校給食の調理機器、食器、食缶等の洗浄、消毒及び保管に関する事

人権・同和教育課

社会教育における人権・同和教育の推進に関する事

市立学校 小学校19校、中学校8校、特別支援学校1校

市長部局

企画総務部

世界遺産・文化財室

世界遺産、近代化遺産保存活用基金事業補助金審査会に関する事
〔教育委員会補助執行事務〕
文化財の保護及び活用、大牟田市文化財保護審議会に関する事

市民協働部

地域コミュニティ推進課

中央地区公民館
三川地区公民館
勝立地区公民館
吉野地区公民館
三池地区公民館
手鎌地区公民館
駛馬地区公民館

地域住民組織の総合窓口、地縁による団体の認可等に関する事
〔教育委員会補助執行事務〕
社会教育の振興、社会教育委員の会議、社会教育指導員、社会教育計画及び社会教育についての調査等、社会教育施設の管理運営に対する指導助言及び連絡調整、社会教育関係団体の指導育成、地区公民館に関する事

生涯学習課

文化会館
多目的活動施設
リフレスおおむた
図書館
三池カルタ・歴史
資料館

生涯学習推進の啓発及び総合調整、延命庁舎の管理、市民活動の促進、青少年活動の支援、青少年行政の総合調整、青少年問題、少年センター、少年センター専門委員
〔条例による移管事務〕
芸術文化の振興、文化団体活動の奨励及び援助、文化芸術振興審議会に関する事
〔教育委員会補助執行事務〕
社会教育の振興、社会教育関係団体の指導育成に関する事
大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた、大牟田市立三池カルタ・歴史資料館等複合施設に関する事

スポーツ推進室

スポーツ施設
延命プール

〔条例による移管事務〕
社会体育団体の指導育成、市民スポーツの推進及び体力づくり、体育施設及び運動場、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員、スポーツ功労表彰、スポーツ功労表彰審査会、児童及び生徒の体育行事の助成に関する事
〔教育委員会補助執行事務〕
学校体育施設の開放事業に関する事

[職 員 数]

令和3年3月31日現在

区分		教育長	事務局長	事務局次長	課長（室長）	主幹	主査（館長）	指導主事	社会教育主事	事務職員	技術職員	計	再任用職員	会計年度任用職員	合計
教育長		1										1			1
事務局	事務局長		1									1			1
	事務局次長														
	総務課				(1) 2		(1) 5	1	(1)	3		(3) 11		4	(3) 15
	学校再編推進室				1		(1) 1					(1) 2			(1) 2
	教育みらい創造室				(1)		2	1	(1)			(2) 3			(2) 3
	学校教育課				2		3	3		1		9			9
	指導室				1			3				4			4
	学務課				2	1	(1) 1			3	6	(1) 13	2	6	(1) 21
	人権・同和教育課				1	1	(1) 2			1		(1) 5			(1) 5
	公民館						7					7		22	29
教育機関	教育研究所				(1)							(1)		6	(1) 6
	中学校給食センター				(1)		(1)			(1)	(4) 2	(7) 2			(7) 2
	小学校										11	11	2	18	31
	中学校													7	7
	特別支援学校										2	2			2
合 計		1	1		(3) 7	2	(4) 18	4	(1)	(1) 8	(4) 21	(13) 62	4	63	(13) 129

※1 学校再編推進室及び教育みらい創造室は総務課の内数

※2 指導室は学校教育課の内数

※3 教育みらい創造室長、学校再編推進室主査、学務課主査、人権・同和教育課主査の（ ）は事務取扱

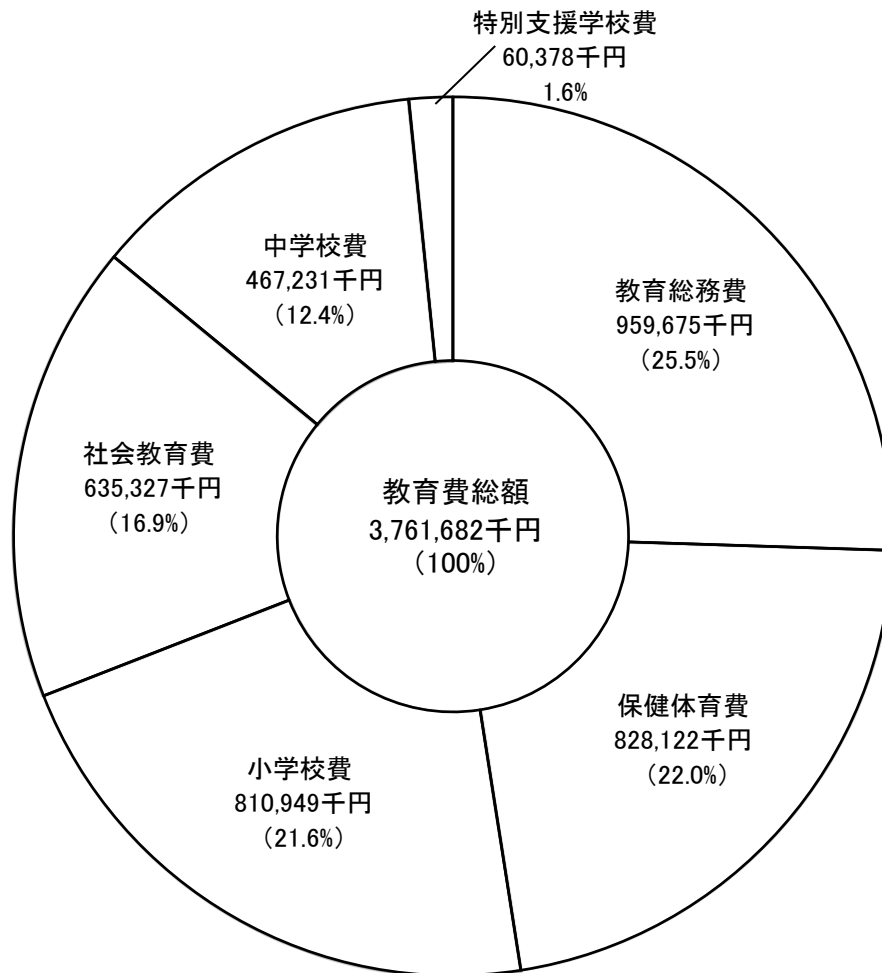
※4 総務課、学務課、人権・同和教育課の（ ）は事務取扱

※5 教育研究所及び中学校給食センターの（ ）は兼務

※6 給食センター給食調理員は学務課技術職員に含む

教 育 財 政

[令和 3 年度当初予算]

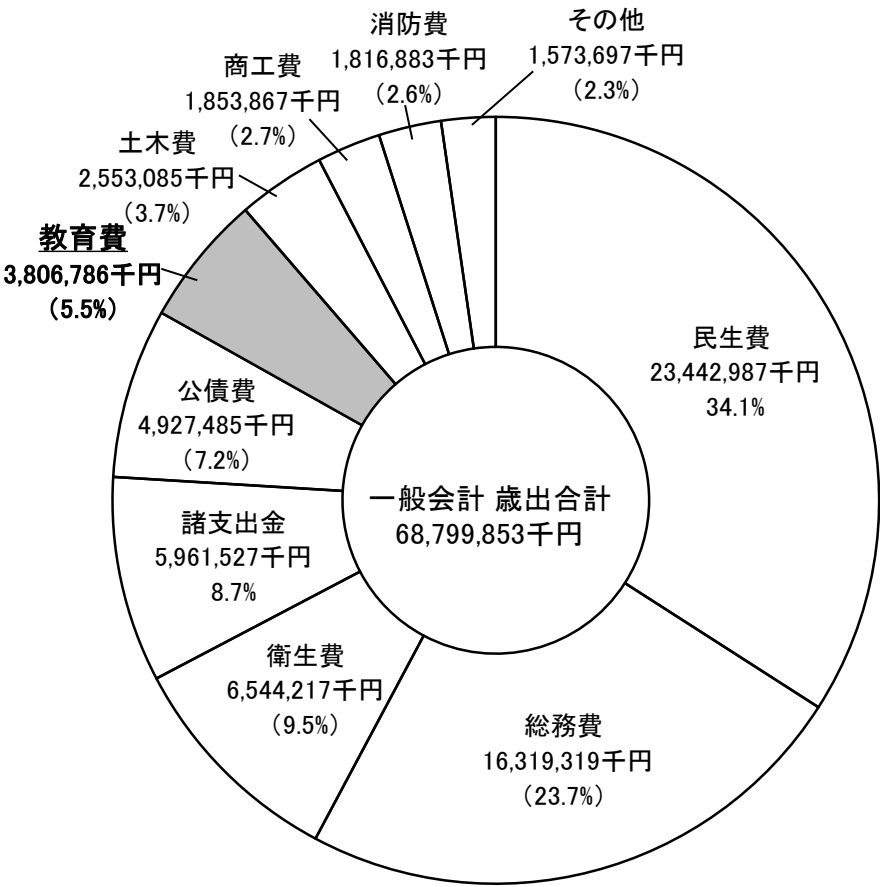


令和 3 年度大牟田市学校教育振興事業計画重点事業

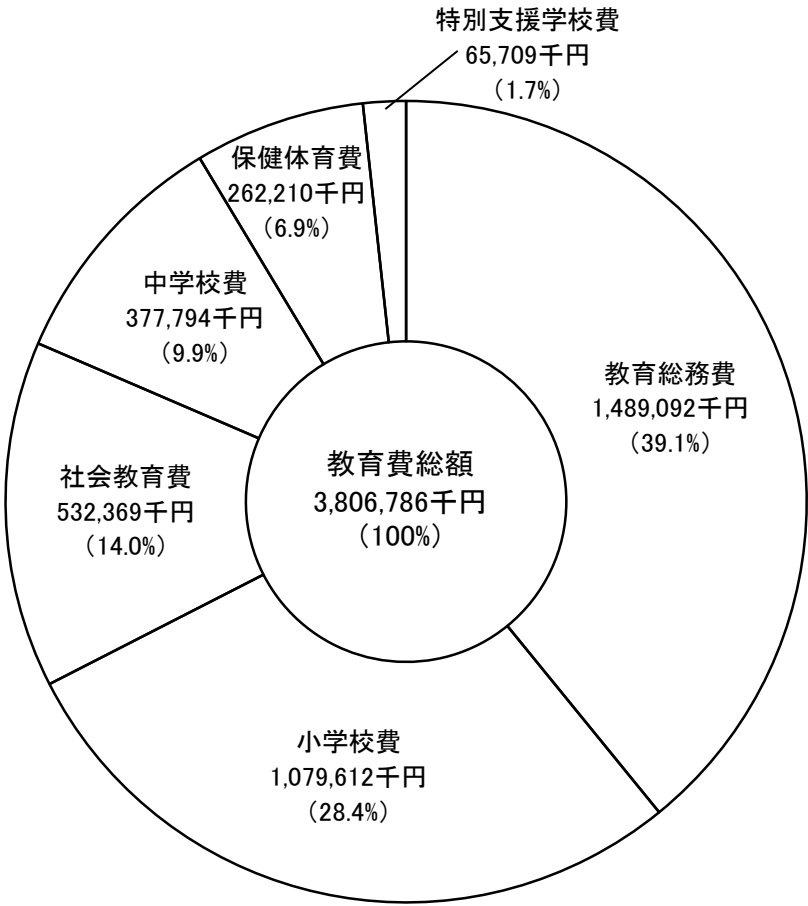
○未来を創る E S D 推進事業	2,744 千円
○英語教育のまち・OMU T A 推進事業	1,523 千円
○学校 I C T 活用推進事業	18,446 千円
○「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業	100 千円
○子ども大牟田体力検定推進事業	152 千円
○人権・同和問題啓発事業	376 千円

[令和 2 年度決算]

1 一般会計歳出決算（款別）

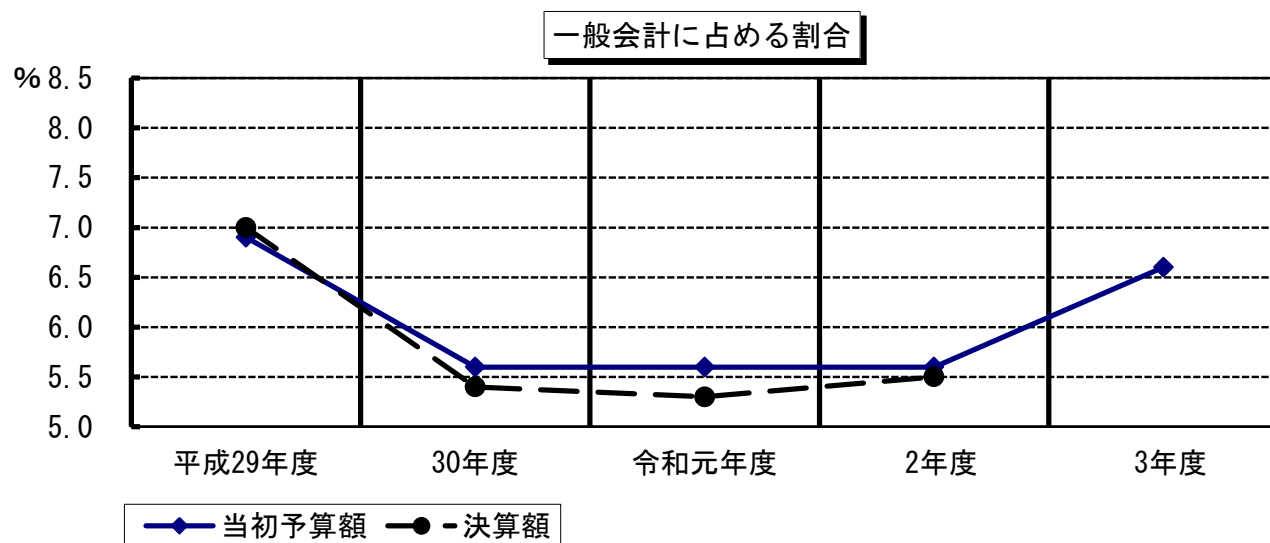
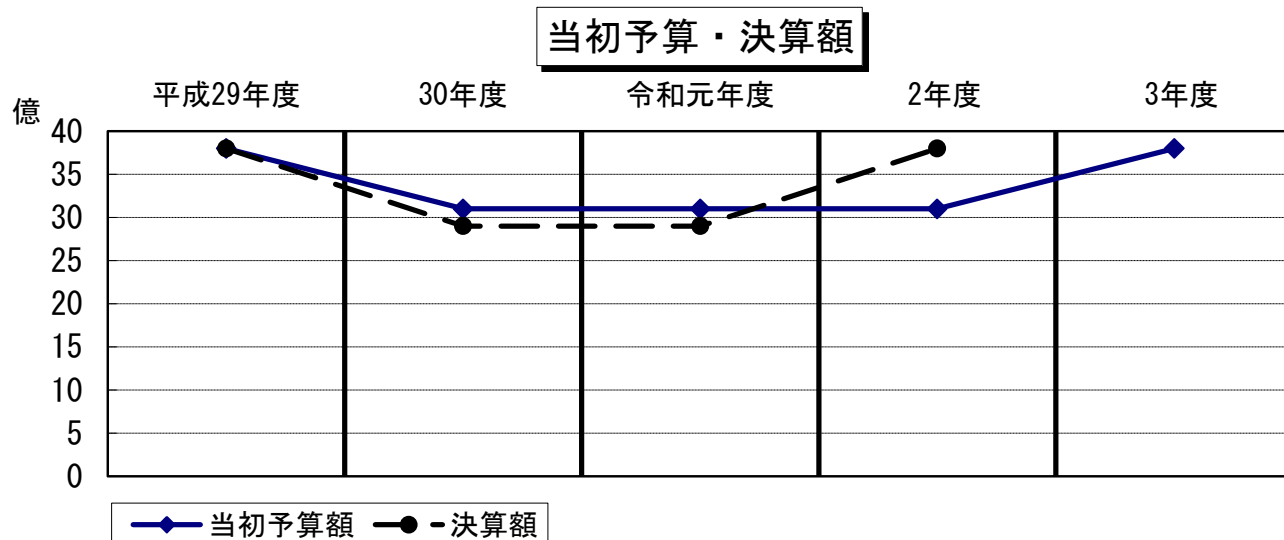


2 教育費歳出決算



[教育費の当初予算・決算推移]

※決算額には、前年度繰越予算による事業実施分を含む。



項目	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
教育費 決算額	3,813,769	2,864,298	2,854,988	3,806,786	
当初予算 (千円)	3,787,628	3,050,486	3,086,963	3,086,190	3,761,682
一般会計 決算額	54,449,063	52,574,570	53,738,012	68,799,853	
当初予算 (千円)	54,840,000	54,480,000	54,970,000	55,450,000	57,300,000
一般会計に 占める割合 決算額	7.0	5.4	5.3	5.5	
当初予算 (%)	6.9	5.6	5.6	5.6	6.6

〔 各種委員会等 〕

令和3年3月31日現在

大牟田市議会市民教育厚生委員会

委員長	塩 塚 敏 郎
副委員長	平 山 光 子
委 員	桑 原 誠
〃	境 公 司
〃	島 野 知 洋
〃	三 宅 智加子
〃	松 尾 哲 也
〃	崎 山 恵 子

大牟田市社会教育委員

堤 さゆり	小 学 校 長 会
金 子 尚 文	中・特別支援学 校長会
牧 菌 幸 司	小・中・特別支援 学校 PTA 連合会
堺 婦小与	子育てネットワーク
野 田 美智子	市 民 公 募
松 尾 龍 美	体 育 団 体
江 崎 君 子	校区コミュニティ 連絡協議会
江 崎 美津子	女 性 団 体
後 藤 和 子	文 化 団 体
黒 田 善 廣	公民館利用者
須 寄 孝 之	〃
柿 川 和 機	市 民 公 募
堺 裕	学 識 経 験 者

大牟田市障害児就学指導委員会

堺 裕	学 識 経 験 者
辻 克 郎	専 門 医
田 島 重 吉	〃
富 松 健太郎	〃
小 野 貴 也	〃
上 村 正 行	〃
石 橋 庸 司	〃
坂 口 明 夫	心 理 判 定 員
篠 崎 友加里	〃
飯 田 和 恵	〃
島 津 義 浩	小 学 校 長
古 賀 秀 徳	中 学 校 長
吉 田 雅 史	特別支援学校長
木 下 智 子	教 職 員
中 村 多 美	〃
富 安 美 香	〃

境 智 子	教 職 員
金 澤 礼	〃
森 昭 子	〃
西 水 秀 佳	〃
田 中 洋 子	〃
宮 本 美 樹	〃
江 崎 真由見	〃

大牟田市いじめ防止対策委員会

堺 裕	帝 京 大 学
中 尾 哲 郎	弁 護 士
辻 克 郎	専 門 医
境 元 弘	人権擁護委員
吉 光 哲 也	教 育 相 談 員
北 村 誠一郎	スクールカウンセラー
井ノ本 美 紀	児 童 相 談 所
高 口 恵 美	スクールソーシャルワーカー
牛 島 正 鏡	大牟田警察署

大牟田市立学校結核対策委員会

川 崎 雅 之	専 門 医
菅 原 謙 三	医 師 会
松 尾 知 幸	〃
松 尾 美智代	保 健 所 長
坂 本 智 典	小 学 校 長
遠 藤 雅 章	中 学 校 長
梶 村 侑 未	養 護 教 諭
吉 田 裕美子	〃

大牟田市スポーツ推進委員

山 田 征 士	み な と 校 区
三 宅 俊 之	〃
福 山 良 夫	〃
古 賀 達 也	天 領 校 区
荒 木 泰	〃
池 田 康 則	〃
内 田 勉	駛 馬 校 区
余 宮 信 吾	〃
大 石 利 男	〃
堺 美 穂	〃
塚 本 多 一	天 の 原 校 区
上津原 昭 一	〃
坂 本 道 治	〃
古 田 將 詞	玉 川 校 区
山 田 貴 正	〃

岩村義男
前山剛
古賀祥道人
高津康人
古賀正規
杉野知広
高口武士
大曲房代
石原良一
古賀義勝
田崎靖雄
池田正生
久富優生
大崎とめ子
中山地智志
宮地日出丸
堀際鈴子
佐藤常春
本田豊秋
坂寺昭
深浦千代子
笹尾泰教
河野博信
中川清博
佐藤誠子
松尾礼治
藤枝正治
藤間千代志
野田卓朗
松尾英樹
豊島邦雄
塚本幸子
野田広行
西山治幸
野田哲寛
辻井秀治
平川令子
島野知洋
末藤芳昭
中村政隆

大牟田中央校区
〃
〃
大正校区
〃
〃
明治校区
〃
〃
中友校区
〃
白川校区
〃
〃
平原校区
〃
〃
高取校区
〃
〃
三池校区
〃
〃
羽山台校区
〃
銀水校区
〃
〃
上内校区
〃
吉野校区
〃
〃
倉永校区
〃
〃
手鎌校区
〃
〃
〃

黒田洋
金崎克也
永松均
森田紘知
福山穂積
谷口靖宏
萩島弥穂
平井隆弘
葉玉千賀子
平間伸爾
古後八重子
金子福久美

スポーツ少年団
医師会
商工会議所
校区コミュニティ協議会
障害者協議会
右ふれあい健康クラブ
小学校校長会
中学校・樹木中学校校長会
高等学校校長会
福岡県職員
市民委員
〃

大牟田市文化芸術振興審議会

齋藤豊治
野中邦敏
深浦洋子
木村法子
堤隆明
梶原伸介
衛藤幸雄
野田環紀
右田忠義
香山眞理子

九州大谷短期大学
大牟田文化連合会
〃
大牟田音楽家協会
大牟田文化会館
三池カルタ・歴史資料館
高等学校校長会
中学校・特別支
援学校校長会
大牟田クラシックギター
愛好会
市民公募

大牟田市文化財保護審議会

大城美知信
片野博
井形進
江島香
木戸道男

古文書
建造物
仏教美術
近代史
地質

大牟田市スポーツ推進審議会

檜垣靖樹
白石政嗣
江頭信次
杉野健次郎
松尾礼子

学識経験者
体育協会
〃
〃
スポーツ推進委員協議会

〔 市立学校一覧 〕

1 市立小学校

令和3年3月31日

No.	学 校 名	電 話	FAX	所 在 地	校 長 名
1	み な と 小 学 校	53-6004	56-0914	上屋敷町2丁目3番地1	馬 籠 秀 典
2	天 領 小 学 校	53-6006	56-0912	天領町1丁目145番地1	荒 木 秀 敏
3	駛 馬 小 学 校	53-6008	56-0901	馬場町17番地	萩 島 弥 穂
4	天 の 原 小 学 校	53-6009	56-0895	笹原町3丁目116番地	高 口 直 喜
5	玉 川 小 学 校	53-6011	56-0885	大字榛野2710番地1	堤 さ ゆ り
6	大 牟 田 中 央 小 学 校	53-6014	59-0864	笹林町1丁目1番地3	戸 塚 俊 也
7	大 正 小 学 校	53-6015	59-0863	大正町5丁目5番地9	松 尾 博 之
8	中 友 小 学 校	53-6016	56-0497	中友町1番地20	島 津 義 浩
9	明 治 小 学 校	53-6017	59-0859	明治町2丁目21番地1	徳 永 秀 志
10	白 川 小 学 校	53-6018	59-0856	中白川町1丁目183番地	原 野 公 輔
11	平 原 小 学 校	53-6019	56-9044	平原町333番地	松 尾 直 子
12	高 取 小 学 校	53-6020	59-0854	大字歴木1807番地58	徳 丸 英 紀
13	三 池 小 学 校	53-6021	59-0853	大字新町289番地1	城 崎 清 彦
14	羽 山 台 小 学 校	53-6013	59-0857	大字草木587番地3	江 崎 文 博
15	銀 水 小 学 校	53-6022	59-0849	大字田隈239番地	中 野 一 成
16	上 内 小 学 校	58-0103	50-0497	大字上内1575番地1	上 田 幸 子
17	吉 野 小 学 校	58-1037	58-7990	大字白銀967番地17	坂 本 智 典
18	倉 永 小 学 校	58-1038	58-7987	大字倉永1307番地	石 橋 実
19	手 鎌 小 学 校	53-6025	59-0848	大字唐船395番地	竹 谷 浩 明

2 市立中学校

No.	学 校 名	電 話	FAX	所 在 地	校 長 名
1	宅 峰 中 学 校	53-6034	57-7098	右京町1番地	辛 川 和 秀
2	宮 原 中 学 校	53-6032	57-7094	米生町2丁目26番地	野 田 環 紀
3	松 原 中 学 校	53-6035	57-7143	大正町5丁目4番地16	長 裕 二
4	白 光 中 学 校	53-6036	57-7147	椿黒町32番地	吉 田 博 史
5	歴 木 中 学 校	53-6037	57-7164	大字歴木1150番地	平 井 隆 弘
6	田 隈 中 学 校	53-6040	57-7169	大字田隈338番地	古 賀 秀 徳
7	橘 中 学 校	58-0022	50-1359	大字橘664番地1	遠 藤 雅 章
8	甘 木 中 学 校	58-0033	50-1373	大字甘木613番地1	金 子 尚 文

3 市立特別支援学校

No.	学 校 名	電 話	FAX	所 在 地	校 長 名
1	大牟田特別支援学校	56-9671	52-0111	天道町24番地	吉 田 雅 史

〔市立学校の通学区域〕

令和2年4月1日現在

1 小学校通学区域

学校名	通学区域
みなと小学校	三里町1丁目、三里町2丁目、三里町3丁目、四山町、浪花町、早米来町1丁目、早米来町2丁目、新港町（1、4）、南船津町1丁目、南船津町2丁目、南船津町3丁目、南船津町4丁目、天領町3丁目、樋口町、姫島町、加納町1丁目、加納町2丁目、西港町2丁目（9、23、42～55）、高砂町、三川町2丁目、三川町3丁目、三川町4丁目、三川町5丁目、船津町、船津町1丁目、船津町2丁目、上屋敷町1丁目、上屋敷町2丁目、汐屋町、入船町、藤田町（55の2、56の1、56の3、57、58の1、58の4、59の2）
天領小学校	白金町、長田町、若宮町（駛馬北小学校通学区域以外の区域）、八江町、右京町、田端町、山下町、延命寺町、片平町、三川町1丁目、諏訪町1丁目、諏訪町2丁目、諏訪町3丁目、天領町1丁目、天領町2丁目、西港町1丁目、西港町2丁目（みなと小学校通学区域以外の区域）、新港町（みなと小学校通学区域以外の区域）、千代町、小川町、岬町
駛馬小学校	若宮町（35の1、35の2、36の1～36の3、37の1、37の2、38、39、40の1～40の3、41の1～41の5、42の1～42の4、43、44の1～44の5、45の1～45の3、48、49）、青葉町（天の原小学校通学区域以外の区域）、一部町、黄金町1丁目（上官小学校通学区域以外の区域）、黄金町2丁目、末広町、駛馬町、馬場町、馬込町1丁目、馬込町2丁目、宮原町1丁目、宮原町2丁目、合成町、飯田町、臼井町、臼井新町1丁目、臼井新町2丁目（天の原小学校通学区域以外の区域）、沖田町、神田町、桜町、野添町、藤田町（みなと小学校通学区域以外の区域）、米生町1丁目
天の原小学校	新勝立町1丁目、新勝立町2丁目、新勝立町3丁目、新勝立町4丁目（玉川小学校通学区域以外の区域）、新勝立町5丁目、新勝立町6丁目、笹原町1丁目、笹原町2丁目、笹原町3丁目、下池町、萩尾町1丁目、萩尾町2丁目、東萩尾町、大字勝立（71の6、71の8～71の12、71の15、71の18、71の20、102の2、109の1～109の4、109の9、109の11、109の13～109の25、122の20～122の24、227の2、227の4、227の5）、米生町2丁目、馬渡町、早鐘町、天道町、臼井新町2丁目（81、82、99の1～99の8、102、103の1、103の2、104の1、104の2、105の1～105の4、106の1、107、108の1～108の3、109の1、110、111、112の1～112の3、122～127、128の1～128の7）、青葉町（125の2～125の12、127の4）
玉川小学校	大字勝立（天の原小学校通学区域以外の区域）、大字教楽来、大字櫛野、新勝立町4丁目（3の8～3の25、3の69～3の104、17の1、17の2、20）
大牟田中央小学校	西宮浦町、東宮浦町、上官町1丁目、上官町2丁目、上官町3丁目、上官町4丁目、宮坂町、七浦町、三坑町、花園町、宮山町、真道寺町、黄金町1丁目（219の1、219の4～219の6、236の1～236の6、237の1～237の19、237の26、238の1、238の3、238の4、238の7～238の24）、不知火町1丁目、不知火町2丁目、不知火町3丁目、浄真町、宝坂町1丁目、宝坂町2丁目、一浦町、正山町、昭和町、原山町、築町、上町1丁目、上町2丁目、有明町1丁目、有明町2丁目、常盤町、松浦町、笹林町1丁目、笹林町2丁目、左古町、山上町、一本町、東泉町、曙町、出雲町、谷町、泉町、旭町1丁目、旭町2丁目、旭町3丁目、栄町1丁目、栄町2丁目
大正小学校	小浜町、小浜町1丁目、小浜町2丁目、小浜町3丁目、久保田町1丁目（3、4）、久保田町2丁目、本町3丁目（3、4、5）、本町4丁目、本町5丁目、本町6丁目、大正町4丁目、大正町5丁目、大正町6丁目、松原町（中友小学校通学区域以外の区域）、松原町2丁目（36の16、36の17）
中友小学校	本町1丁目、本町2丁目、本町3丁目（大正小学校通学区域以外の区域）、西浜田町、浜田町、中友町、住吉町、中島町、港町、古町、橋口町、松原町（1、2）、西新町、大正町1丁目、大正町2丁目、大正町3丁目、新地町、久保田町1丁目（大正小学校通学区域以外の区域）

学校名	通学区域
明治小学校	新栄町、明治町1丁目、明治町2丁目、明治町3丁目、北磯町、中町1丁目、中町2丁目、健老町、天神町、浜町、新開町、恵比須町、城町1丁目、城町2丁目、大黒町1丁目、大黒町2丁目、大黒町3丁目、大黒町4丁目、椿黒町（白川小学校通学区域以外の区域）
白川小学校	柿園町1丁目、柿園町2丁目、柿園町3丁目、東新町1丁目、東新町2丁目、通町1丁目（1、2、3）、長溝町、八尻町1丁目、八尻町2丁目、八尻町3丁目、日出町1丁目、日出町2丁目、日出町3丁目、椿黒町（1～7）、浅牟田町、鳥塚町、上白川町1丁目、上白川町2丁目、中白川町1丁目、中白川町2丁目、中白川町3丁目、下白川町1丁目、下白川町2丁目
平原小学校	通町1丁目（白川小学校通学区域以外の区域）、通町2丁目、亀甲町、八本町、大浦町、焼石町、瓦町、龍湖瀬町、亀谷町、稻荷町、平原町、大字歴木（972の1～1024、1807の45、1807の47～1807の49、1807の73～1807の83、1807の86、1807の88、1807の89、1807の112～1807の116、1807の118～1807の120、1807の213～1807の219、1807の296、1807の297、1807の309～1807の311、1807の359、1807の699、1807の863、1807の875～1807の880、1807の921～1807の923、1809、1810の1～1810の6）
高取小学校	大字今山（三池小学校通学区域以外の区域）、大字歴木（平原小学校通学区域、三池小学校通学区域及び羽山台小学校通学区域以外の区域）
三池小学校	大字三池（羽山台小学校通学区域及び銀水小学校通学区域以外の区域）、大字新町、大字今山（1～2278、2359～2851、3271～3387、3424～3484）、大字歴木（44、71～83、126、127、130～139、141の1、142の1、143～143の3、144の1、151～460の21、461～474、484～534、768～770、773～780、782～915、1025の1～1308、1310～1805、1817の1～1817の6、1820、1821）
羽山台小学校	大字三池（1～113、114の2、115～139の3、139の5～140の1、140の3、140の4、141の1、141の3～143、178～202、212、215～555、557の3、562～585、589～603）、大字歴木（460の22～460の24、475～483、916～971）、大字白川、大字草木（銀水小学校通学区域以外の区域）、大字田隈（400～445、746～757、774の2、774の3）
銀水小学校	大字宮部、大字久福木、大字田隈（羽山台小学校通学区域以外の区域）、大字橘（吉野小学校通学区域及び手鎌小学校通学区域以外の区域）、大字草木（110の3、110の6、110の10、110の11、111～114、117、120、128の2、128の8～128の10、129の2、129の6、131の6、131の9、131の13、132の1、132の3、132の8、132の9、132の12、132の13、133～135、137の3～137の5、139の3、139の5、140～303、359の2、360の1、360の4～360の7、361の1～361の3、361の6、361の7、361の9、362の2、362の7、362の8、363の4、363の6～363の8、364の3、364の5、364の8～364の14、1058～1302）、大字吉野（1615～1619、1622～1629、1632、1633、1643～1647、1650、1651、1653）、大字甘木（1～7、12の2、15、17の2、504の2、504の6、533、534、540～543、546、547の2、548、554、558）、大字三池（114の1、114の3～114の9、139の4、140の2、140の5～140の8、141の2、144～148の2、148の4、149～155の2、155の5、155の9～155の16、155の18、155の20、159の2）
上内小学校	大字上内（吉野小学校通学区域以外の区域）、大字四ヶ、四箇新町1丁目、四箇新町2丁目、四箇新町3丁目、大字岩本（吉野小学校通学区域以外の区域）、岩本新町1丁目（吉野小学校通学区域以外の区域）、岩本新町2丁目（吉野小学校通学区域以外の区域）
吉野小学校 （次ページにつづく）	大字白銀、大字上内（3430～3668）、大字岩本（2417～2496、2499、2523～2525、2549、2551～2937）、岩本新町1丁目（1、2、7の1～7の7）、岩本新町2丁目（1～3）、大字宮崎（1736～3151）、大字吉野（94～182、548～1093、1094の2、1094の3、1136、1137の1～1137の5、1137の7、1140、1141の1、1145の5、1220の1～1256の1）、大字橘（599の2、600の2～600の6、770～783、

学校名	通学区域
吉野小学校 (つづき)	785の1、785の5、785の8～787、788の1、788の4、788の5、789の3、790の3～790の6、798～834、838～840、845の2～917、918の3～918の6、922の1、923の2、924の1～927、932の1、932の3～934、935の2、935の3、935の6、935の7、936の1、936の3～1574)
倉永小学校	大字倉永、大字宮崎(吉野小学校通学区域以外の区域)、大字吉野(銀水小学校通学区域及び吉野小学校通学区域以外の区域)、大字甘木(614の1～620、622～648、1203の1～1203の45、1203の188、1203の190～1203の200)
手鎌小学校	大字手鎌、大字岬、大字甘木(銀水小学校通学区域及び倉永小学校通学区域以外の区域)、大字唐船、昭和開、大字橘(108、109の1、109の5、109の6)

2 中学校通学区域

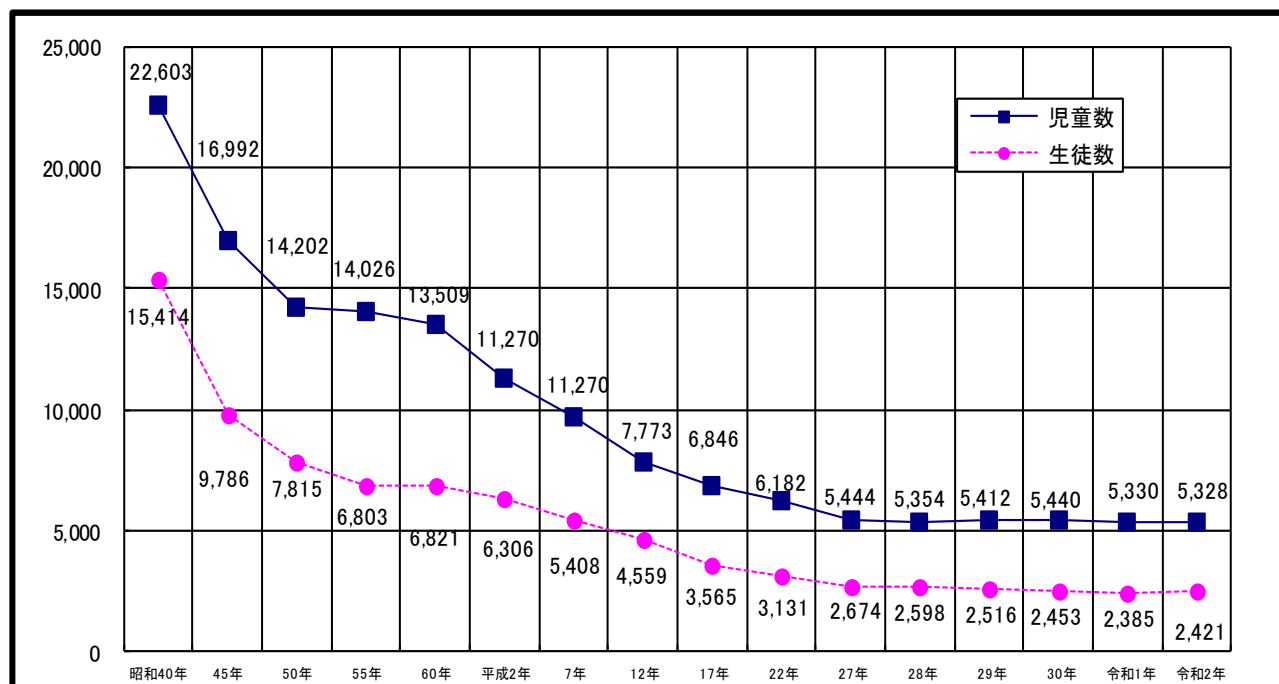
学校名	通学区域
宅峰中学校	みなと小学校通学区域、天領小学校通学区域、大牟田中央小学校通学区域
宮原中学校	駛馬南小学校通学区域、駛馬北小学校通学区域、天の原小学校通学区域、玉川小学校通学区域
松原中学校	大正小学校通学区域、中友小学校通学区域
白光中学校	明治小学校通学区域、白川小学校通学区域
歴木中学校	平原小学校通学区域、高取小学校通学区域、三池小学校通学区域のうち大字今山(297～351、583～789、915～1228、1255～2137、2359～2851、3271～3387、3424～3484)及び大字歴木(484～499、523～525、768～770、773～780、782～915、1025の1～1308、1310～1805、1817の1～1817の6、1820、1821)
田隈中学校	三池小学校通学区域のうち歴木中学校通学区域以外の区域、羽山台小学校通学区域、銀水小学校通学区域のうち橘中学校通学区域以外の区域
橘中学校	銀水小学校通学区域のうち大字宮部、大字橘、大字甘木及び大字吉野、上内小学校通学区域、吉野小学校通学区域
甘木中学校	倉永小学校通学区域、手鎌小学校通学区域

3 特別支援学校通学区域

学校名	通学区域
大牟田特別支援学校	市内全域

〔 児童生徒数の推移 〕

大牟田市立小・中・特別支援学校の児童生徒数の推移 （特別支援学校高等部の生徒は除く）



各年5月1日現在（学校基本調査より）

〔 卒業後の状況 〕

1 大牟田市立中学校の卒業後の状況

年度	卒業生総数 (A)	高等学校等 進学者(B)	専修学校等 入学者(C)	就職者 (D)	B・C・D以 外の者(E)	就職進学者・ 就職入学者(F)	高等学校等 進学率(B/A)	就職率 ((D+F)/A)
H30	894	879	2	2	11	—	98.3	0.2
R元	802	779	1	2	20	—	97.1	0.2
R2	749	737	2	4	6	—	98.4	0.5

※A=B+C+D+E-F

※就職率には就職進学者・就職入学者を含む。

2 県下中学校の卒業後の状況（国立・公立・私立）

年度	卒業生総数 (A)	高等学校等 進学者(B)	専修学校等 入学者(C)	就職者 (D)	B・C・D以 外の者(E)	就職進学者・ 就職入学者(F)	高等学校等 進学率(B/A)	就職率 ((D+F)/A)
H30	46,403	45,561	259	134	456	7	98.2	0.3
R元	45,416	44,625	278	142	375	4	98.3	0.3
R2	45,106	44,267	264	145	437	7	98.1	0.3

※A=B+C+D+E-F

※就職率には就職進学者・就職入学者を含む。

〔 学校別児童生徒・教職員数 〕

※ 特別支援学級の児童生徒数は再掲

学 校 名		合 計		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		特別支援学級	
		学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数
小 学 校	み な と	13	258	2	45	2	46	2	48	1	34	2	44	2	41	2	5
	天 領	20	467	3	73	3	72	3	77	3	87	3	85	3	73	2	10
	駛 馬	14	294	2	59	2	42	2	49	2	49	2	44	2	51	2	4
	天 の 原	13	241	1	34	2	41	2	46	2	38	2	40	2	42	2	3
	玉 川	7	64	1	7	1	7	1	11	1	17	1	10	1	12	1	2
	大牟田中央	15	399	2	56	2	69	2	68	3	73	2	64	2	69	2	9
	大 正	14	349	2	47	2	55	2	61	2	65	2	60	2	61	2	5
	中 友	7	143	1	22	1	30	1	17	1	33	1	19	1	22	1	1
	明 治	10	217	1	35	2	38	1	23	2	48	2	37	2	36		
	白 川	14	337	2	57	2	54	2	60	2	53	2	61	2	52	2	11
	平 原	9	163	1	24	2	37	1	18	1	27	1	30	1	27	2	5
	高 取	9	204	1	27	1	30	1	33	2	40	1	32	2	42	1	3
	三 池	14	334	2	48	2	55	2	50	2	66	2	62	2	53	2	5
	羽 山 台	13	315	2	51	2	46	2	49	2	48	2	59	2	62	1	5
	銀 水	19	452	3	80	3	77	3	77	3	73	3	74	2	71	2	6
	上 内	6	58	1	8	1	4	1	13	1	9	1	12	1	12		
	吉 野	15	373	2	60	2	50	2	55	2	68	2	65	3	75	2	7
	倉 永	10	199	1	26	2	42	1	30	2	45	1	31	1	25	2	3
	手 鎌	19	420	3	77	2	69	2	63	3	75	3	79	2	57	4	12
小 学 校 計		241	5,287	33	836	36	864	33	848	37	948	35	908	35	883	32	96
中 学 校	宅 峰	16	465	5	154	5	181	4	130	-	-	-	-	-	-	2	10
	宮 原	11	287	3	91	3	104	3	92	-	-	-	-	-	-	2	6
	松 原	7	218	2	78	2	69	2	71	-	-	-	-	-	-	1	3
	白 光	10	234	3	78	3	86	2	70	-	-	-	-	-	-	2	3
	歴 木	9	240	2	81	3	83	2	76	-	-	-	-	-	-	2	6
	田 隈	16	441	4	154	4	148	4	139	-	-	-	-	-	-	4	13
	橘	10	243	2	67	3	90	3	86	-	-	-	-	-	-	2	3
	甘 木	9	265	3	93	3	90	2	82	-	-	-	-	-	-	1	4
中 学 校 計		88	2,393	24	796	26	851	22	746							16	48
特別支援 大牟田	小学部	11	41	2	3	1	7	2	6	3	9	1	7	2	9	-	-
	中学部	9	28	2	7	3	9	4	12	-	-	-	-	-	-	-	-
	高等部	12	47	4	18	4	15	4	14	-	-	-	-	-	-	-	-

県 費 負 担 職 員													市 費 負 担 職 員					学 校 名	
計	校 長	教 頭	主 教 幹 諭	指 教 導 諭	教 諭	助 教 諭	養 教 護 諭	養 助 教 護 諭	栄 教 養 諭	栄 代 理 職 員	講 師	事 務 員	計	図 書 員	給 調 理 食 員	学 管 理 校 員	学 校 書 事 務 員		
19	1	1	1		13			1			1	1	2				2	みなと	小 学 校
29	1	1	1		21		1		1		2	1	2				2	天 領	
24	1	1	1		17			1	1		1	1	2				2	駛 馬	
21	1	1	1		14		1				2	1	2				2	天の原	
14	1	1	1		7		1				2	1	1				1	玉 川	
23	1	1	1		17		1				1	1	6		4		2	大牟田中央	
22	1	1	1	1	14		1				2	1	6		4		2	大 正	
13	1	1	1		8		1					1	1				1	中 友	
15	1	1	1	1	9			1				1	2	1		1		明 治	
22	1	1	1		15		1				2	1	2				2	白 川	
15	1	1	1		9		1				1	1	1				1	平 原	
15	1	1	1		9		1				1	1	2				2	高 取	
22	1	1	1		15		1		1		1	1	2				2	三 池	
20	1	1	1		14		1				1	1	6		4		2	羽山台	
26	1	1	1		20		1		1			1	2				2	銀 水	
11	1	1	1		6		1					1	1				1	上 内	
22	1	1	1		15		1				2	1	2				2	吉 野	
16	1	1			10			1			2	1	5		3		2	倉 永	
30	1	1	1		21		1		1		3	1	2				2	手 鎌	
379	19	19	18	2	254	0	15	4	5	0	24	19	49	1	15	1	32	小 学 校 計	
32	1	1	2		24		1				2	1	2				2	宅 峰	中 学 校
26	1	1	1		20		1				1	1	2				2	宮 原	
22	1	1			16			1	1		1	1	2				2	松 原	
22	1	1	1		16		1		1			1	2				2	白 光	
20	1	1	1		14			1			1	1	2	1		1		歴 木	
30	1	1	1		24			1			1	1	2				2	田 隈	
22	1	1	1		16		1				1	1	2				2	橘	
22	1	1	1		15		1				2	1	2				2	甘 木	
196	8	8	8	0	145	0	5	3	2	0	9	8	16	1	0	1	14	中 学 校 計	
71	1	1	1		40		2		1		21	4	2		2			小学部	特別支援 大牟田
																		中学部	
																		高等部	

〔学校施設一覧〕

校地・建物面積等の状況 令和2年5月1日現在（単位：㎡）

区 分		校地面積		建 物 面 積（文 部 科 学 省 基 準）										プール (M×コース)
		建 物 敷 地	運 動 場	校 舎			ランチ ルーム ※1	校舎内 の学童 保育所 ※1	食堂	給食室	屋 内 運 動 場	地域連 携施設	武道場	
				鉄筋	鉄骨	木造								
小 学 校	みなと	6,587	10,600	3,922	680		130			155	919	77		25 × 7
	天領	5,024	8,639	3,927	53					134	919	180		25 × 7
	駛馬	8,460	9,440	3,850	59					151	919	180		25 × 7
	天の原	11,319	13,068	2,788	63	128			270	134	894	180		25 × 7
	玉川	5,724	6,051	2,849	24	41				142	※3 420			25 × 6
	大牟田中央	5,859	7,874	4,282	63				510	168	919	135		25 × 7
	大正	9,853	9,697	4,121	23			86		※3 140	919	270		25 × 7
	中友	9,030	11,680	4,130				127		150	725			25 × 7
	明治	7,777	7,085	4,023	53			65		150	919	250		25 × 7
	白川	11,705	14,692	4,532	53		130	130		170	919	270		25 × 7
	平原	7,713	8,922	3,522	65	20	130			153	894	250		25 × 7
	高取	7,011	10,853	4,595	51	62		72		170	※3 626			25 × 7
	三池	9,334	9,944	4,736	51					168	974			25 × 7
	羽山台	9,512	10,335	4,111						168	※3 725			25 × 7
	銀水	10,379	9,514	5,222	51					231	※3 1,055			25 × 7
	上内	5,486	5,290	1,892					270	112	※3 797			25 × 7
	吉野	10,206	8,311	3,659	110					168	919	200		25 × 7
	倉永	7,867	8,176	3,209	17				390	198	919	250		25 × 6
	手鎌	5,295	9,634	5,059	83					168	1,215	200		25 × 7
小学校計(19)		154,141	179,805	74,429	1,499	251	390	480	1,440	3,030	16,596	2,442		
中 学 校	宅峰	11,656	21,592	4,724	153						1,142		※4 607	25 × 7
	宮原	12,598	14,886	4,337	103						981	200	350	25 × 8
	松原	9,993	9,228	4,821	92						※3 650			25 × 6
	白光	11,636	15,646	4,609	176	7					981	200	450	25 × 8
	歴木	13,822	16,370	6,123							※3 1,222	200	350	25 × 8
	田隈	14,061	12,584	5,695	52						1,519	250	450	25 × 6
	橘	9,107	10,355	4,372	92	5					※3 650			25 × 6
	甘木	22,401	※5 13,266	4,797	91						1,222	200	350	25 × 6
中学校計(8校)		105,274	113,927	39,478	759	12					8,367	1,050	2,557	
大牟田特別支援		17,351	8,400	5,962	358				150	125	※3 747	※2 (61)		25 × 7
合計(28校)		276,766	302,132	119,869	2,616	263	390	480	1,590	3,155	25,710	3,492	2,557	

※1:ランチルームと学童保育所は校舎内にあるが、面積は外数

※2:屋内運動場面積の内数に含む。

※3:鉄骨造(地域連携施設及び武道場は屋内運動場と同一構造)
(食堂・給食室・屋内運動場で※3以外は主面積が鉄筋コンクリート造)

※4:宅峰中は弓道場を含む。(延命庁舎に隣接)

※5:甘木中は校庭夜間照明施設(学校開放)あり。

〔 教育施設一覧 〕

令和3年3月31日現在

施設名 (開館年月)	所在地 電話番号 (FAX)	建物面積 [敷地面積]	施設の主な内容	開館時間	休館日
カルタックスおおむた (平成3年4月)	宝坂町2丁目2番地3	3,764㎡ [4,400㎡]			
三池カルタ・歴史 資料館	53-8780 (53-8781)	共有部分 742㎡ 資料館 819㎡	展示室	10:00～ 17:00	月曜、毎月最 終の木曜(祝 日の場合は翌 日)、年末年 始
図 書 館	55-4504 (43-1167)	図書館 2,203㎡	開架室、書庫 視覚障害者サービス室	9:30～20:00 土日祝 18:00	
中央地区公民館 (平成4年4月)	原山町13番地3 53-1502 (59-0614)	1,567㎡ [1,702㎡]	創作室、視聴覚室、研修 室、幼児室 他		
三川地区公民館 (平成14年4月)	上屋敷町1丁目12番地3 52-5957 (52-5998)	1,343㎡ [1,386㎡]	研修室、和室、図書コー ナー、多目的ホール 他		
勝立地区公民館 (昭和55年6月)	新勝立町4丁目1番地1 51-0393 (43-4053)	972㎡ [2,826㎡]	研修室、和室、料理室、 図書コーナー、会議室 他		
吉野地区公民館 (昭和63年7月)	大字白銀781番地3 58-3479 (50-0494)	1,122㎡ [2,452㎡]	研修室、和室、図書コー ナー、視聴覚室、会議室 他	9:00～21:30 日曜 17:00	第1月曜、年末 年始
三池地区公民館 (平成4年10月)	大字三池629番地2 53-8343 (43-6814)	1,256㎡ [1,373㎡]	展示ギャラリー、料理室、幼児 室、図書コーナー 他		
手鎌地区公民館 (平成5年12月)	大字手鎌1300番地42 56-6008 (56-6824)	1,471㎡ [2,480㎡]	創作室、視聴覚室、図書 コーナー、陶芸小屋 他		
駿馬地区公民館 (平成6年12月)	馬込町1丁目20番地1 57-5443 (57-5444)	1,527㎡ [1,910㎡]	創作室、音響室、プレイホ ール、図書コーナー 他		
多目的活動施設 リフレスおおむた (平成11年7月)	大字四ヶ1221番地 58-7777 (41-7300)	2,375㎡ [1.9ha]	キャンプ場、体育館、和 室、創作室、研修室、料 理室、音楽室、陶芸用窯	9:00～22:00	第1・第3月曜 (祝日の場合 は翌日)、年 末年始
市民体育館 (昭和49年9月)	宝坂町2丁目86番地 53-6003 (59-0186)	6,337㎡ [3,217㎡]	アリーナ、柔道室、剣道 室、卓球室(2)、研修室(2)	9:00～21:00	第1・第3火曜、 第3水曜、年末 年始
御大典記念グラウンド (昭和4年4月)	黄金町1丁目123番地 (問合せ 市民体育館)	[25,971㎡]	400mセパレート(8)、 フィールド、スタンド 他	8:30～19:00	年末年始
延 命 プ ール (平成19年8月)	黄金町1丁目68番地 53-7337	[16,208㎡]	25m、幼児用(2)、 ウォータースライダー 他	10:00～ 18:30	[R元年度開場 期間]7月6日 ～8月31日
延 命 球 場 (昭和32年12月)	原山町200番地 (問合せ 市民体育館)	[19,450㎡]	グラウンド、スタンド、 本部諸室	8:30～17:00	年末年始
武 道 場 (昭和26年5月)	浄真町19番地 (問合せ 市民体育館)	198㎡	柔剣道場	8:30～21:00	年末年始
笹林庭球コート (昭和27年1月)	笹林町1丁目1番地2 (問合せ 市民体育館)	[1,400㎡]	クレーコート(2面)	(4月～8月) 9:00～19:00 (9月～3月) 9:00～17:00	年末年始
諏訪公園 テニスコート (平成11年4月)	岬町5番地3 (問合せ 緑地運動公園 51-5744)	[8,400㎡]	砂入り人工芝コート (6面)	8:30～21:00	年末年始
手鎌北町公園 テニスコート (平成13年4月)	大字手鎌1520 (問合せ 緑地運動公園 51-5744)	[2,800㎡]	全天候型コート(4面)	(4月～8月) 8:30～18:30 (9月～3月) 8:30～17:00	年末年始
第二市民体育館 (平成19年2月)	黄金町1丁目111番地 (問合せ 市民体育館)	2,194㎡	アリーナ、柔道室、剣道室	9:00～21:00	第1・第3火曜、 第3水曜、年末 年始
第二グラウンド (平成19年2月)	黄金町1丁目111番地 (問合せ 市民体育館)	[5,100㎡]	グラウンド	9:00～19:00	年末年始
教育研究所 (昭和30年10月)	黄金町1丁目34番地 52-5845	269㎡	研究室、図書室、資料室、 会議室	8:30～17:00	

〔社会教育施設等の状況〕

《地区公民館》〔地域コミュニティ推進課〕

公民館は、未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまちを目指し、次の3つの視点による事業を実施しています。

視点① 次世代を担う子どもをはぐくむ

取組み① 子どもの体験活動の強化・充実

取組み② 高校生等のまちづくりへの参画の推進

取組み③ 各世代に応じた学習活動の提供・支援

視点② ESDを通じた、人づくり、つながりづくり、地域づくり

取組み① SDGsを念頭に置いた持続可能な社会を形成するESD事業の展開

取組み② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成

取組み③ 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出

視点③ 学習環境の整備・充実

取組み① 生涯学習、ボランティア活動、地域活動に関する情報提供の強化

取組み② 身近な地域における学習の場の提供

取組み③ 社会教育施設の機能向上

1 全館合同事業

事業名	事業の概要	回数	参加者 (人)
視点① 「高齢者生きがいがいづくり社会参加促進事業」 アクティブシニアデビュー塾	高齢者の学習機会及び学習成果を生かした活動の機会や、心と身体の健康づくりの機会を提供することで、高齢者の生きがいがいづくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを実施しました。 講座終了後は、新規に自主学習グループ8団体が結成され75人が入会し、講座の指導をした既存サークル2団体へ13人が入会しました。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため1講座中止。】	ボランティアデビュー編 2 講座	28
		地域デビュー編 6 講座	88
		健康実践デビュー編 5 講座	74
		展示発表 1 回 (地区公民館)	-

2 中央地区公民館

(中央地区)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	大正校区の地域の輪！子ども食堂で広げよう！	中学生が準備から調理、配膳等全ての工程に参画することで「役に立っている」との達成感や喜びを得ることに繋がります。郷土愛の醸成やまちづくり参画のきっかけづくりとして、地域の人材育成の課題解決に繋がる一歩とします。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	おおむたわくわく体験隊	大牟田の歴史や文化について、専門家の講話、竹細工で郷土玩具の制作などを通して新たな大牟田市の魅力を発見することで、郷土愛の醸成と「大牟田自慢」ができる子どもに成長することを目的として実施しました。	3 回	子ども 23

(中央地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	子どもの体験活動事業	交流教育地域推進事業ふれあい共室	障害のある子どもと障害のない子どもがボランティアと交流しながら、レクリエーションなどの活動を通して人間性や社会性を育むこと、ボランティアが活動の意義を認識することを目的に実施しました。	事前研修 1回 保護者との懇談会 2回 定例会 6回	子ども 107 ボランティア 74 保護者 (懇談会) 15
	子どもの居場所づくり支援事業	なかよし広場文化サークル	公民館施設を子どもの居場所として「なかよし広場」文化サークル実行委員会への支援を行いました。	5回	子ども 26 ボランティア 37
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	アクティブシニアデビュー塾	地域デビュー編 大人が楽しむ折り紙講座～指先を使って健康づくり～	折り紙は脳に刺激を与えて老化予防に効果があると言われています。講座を受講することで、仲間との活動や地域活動への興味を持ち、健康づくりに役立てることを目的に実施しました。	6回	79
		健康実践デビュー編 からだのバランス整えます！～気軽に始める操体法～	「人生100年時代」を見据え、気軽に無理なく出来る操体法を通して体のバランスを整え、健康維持に繋がります。受講生同士のふれあいを通して活動することで心に刺激を受けるため、介護予防の一助になりました。(受講生のうち4人が講師を務めたサークルに入会)	5回	52
	われらふれあい訪問団！		定期利用登録サークルが学童保育所で、水彩画の指導等ボランティア活動を行うことにより、子どもたちが地域の人との活動を通して地域社会の一員であることを意識して行動できるようになることを目的とします。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点② 地域 ESD 支援事業	大正校区の地域の輪！ 子ども食堂で広げよう！【再掲】		中学生が準備から調理、配膳等全ての工程に参加することで「役に立っている」との達成感や喜びを得ることに繋がります。郷土愛の醸成やまちづくり参画のきっかけづくりとして、地域の人材育成の課題解決に繋がる一歩とします。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	おおむたわくわく体験隊【再掲】		大牟田の歴史や文化について、専門家の講話、竹細工で郷土玩具の制作などを通して新たな大牟田市の魅力を発見することで、郷土愛の醸成と「大牟田自慢」ができる子どもに成長することを目的として実施しました。	3回	子ども 23
視点② 人材育成・地域活動促進事業	視聴覚ボランティア支援事業	土曜ふれあい映画会 (中央)	視聴覚ボランティアが、主に小学生を対象とした子どもの居場所において、16ミリフィルムやVHSなどを使い、道徳や交通安全などに関する映画の上映会を開催しました。	8回	子ども 3 大人 9 ボランティア 25

(中央地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
		日曜ふれあい映画会 (他館)	視聴覚ボランティアが、主に小学生を対象に各地区公民館を巡回し16ミリフィルムやVHSなどを使い、道徳や交通安全などに関する映画の上映会を開催しました。	7回	子ども 21 大人 9 ボランティア 13
		健康映画会(デイサービス)	視聴覚ボランティアが、高齢者施設や地域のサロンなどで健康に関する映画の映写会を開催しました。	7回	大人 137 ボランティア 14
		地域ふれあい映画会(学童等)	学童保育所・学童クラブ・子ども会等の要望に応じて映写会を開催しました。	1回	子ども 20 大人 10 ボランティア 1
	サークル社会参加促進事業		研修会等の実施によりサークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ○第1回 (安全講習会) ○第2回 (応急手当講習会)	2回	56
視点② 学習成果活動促進事業	大正校区の地域の輪！ 子ども食堂で広げよう！【再掲】		子ども食堂において、中学生が準備、調理、配膳等全ての工程に参画することで達成感や喜びを得ることに繋がります。郷土愛の醸成やまちづくり参画のきっかけづくりとして、地域の人材育成の課題解決に繋がる一歩とします。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点③ 学習情報提供事業	子どもの居場所づくり支援事業	なかよし広場文化サークル【再掲】	公民館施設を子どもの居場所として「なかよし広場」文化サークル実行委員会への支援を行いました。	5回	子ども 26 ボランティア 37

3 三川地区公民館

(三川地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 家庭教育支援事業	家族みんなの子育て講座～ENJOY！ 子育て～		子ども家庭支援センターあまぎやまのセンター長による「子育てについて」の講話、家庭でも気軽に子どもと一緒に出来る「親子でリトミックヨガ」、「子どもに多い事故の対応と処置」についての講演を行いました。 仕事を持つ人が参加しやすい日曜日に実施しました。	3回	15人
	親子リズム遊び		親子の直接的なスキンシップやコミュニケーションを取ることで、子育てへの効果が期待できることから、天領保育所と共催で、親子で楽しめるリズム遊びを行い、親子の絆を深めることを目的とします。 【7月は大雨で中止、12月は多目的ホール使用不可のため中止】	—	—

(三川地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流 体験事業 (次世代を 担う人づく り事業)	子どもの居場所 づくり支援事業	友・遊広場	公民館施設を子どもの居場所として毎週土曜日に開放し、友・遊広場見守り隊への支援を行います。 【4～10月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、及び水害の影響により中止】	2回	子ども 22 ボランティア 14
	子ども体験活動事業	2020 子どもバージョンアップ体験講座	健全な青少年の育成を図る目的から、夏休みと冬休みを利用して、異学年の子どもたちや地域の大人たちとふれあいながら、多様な価値観に触れ、感じ、考え、行動する様々な体験学習として、自分の作品の展示など学んだことを発表する機会を設け、自分に自信を持ち、挑戦する力を養います。 【夏休みは水害の影響により中止】	4回	子ども 33 ボランティア 20
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	アクティブシニアデビュー塾	地域デビュー編 公民館 de 夜活！大人世代が楽しむInstagram講座	おもに写真で共感をひろげるInstagramを使って地域情報等を発信してもらうことで、新たな視点で地域を見直し、地域の良さや問題点を再発見することを目指しました。また、今後、SNS上で緩やかに人とつながり、人の輪を広げていくことで地域活動デビューの第一歩となることを期待して実施しました。	5回	68
		ボランティアデビュー編 私にぴったりリメイク！ミシンボランティア養成講座	思い出のある洋服をリメイクしする講座を開催し、小学校の家庭科の授業において、今までミシンを扱ったことのない子どもたちが、より安全にミシンを扱えるよう授業を支援するボランティア養成講座を実施します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点② 人材育成・地域活動促進事業	サークル社会参加促進事業		サークルの自主運営の向上、社会参加、社会貢献等の促進を目指すために研修等を行い、活動の場を広げ、より質の高いサークルとなるよう支援します。 ○研修会等 ①「防災研修会」②「春待ちコンサート」 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため、及び水害の影響により中止】	—	—
視点② 地域 ESD 推進事業	春に誘われ、天領の歴史を感じるウォーキング♪		H30年度に実施した「天領の歴史をたどり、学び、まちの魅力を伝えよう！」のアンケートでの「歴史講座で紹介された場所を訪ねてみたい。」との要望を受け、石炭産業科学館長のガイドにより、みんなの記憶から忘れ去られた歴史にゆかりのある場所を新たな視点で探訪しました。また、まち歩きをすることで心身の健康促進に繋がり、地域への愛着の醸成と、コロナでの閉塞感の解消を図りました。	1回	10

4 勝立地区公民館

(勝立地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流 体験事業 (次世代を 担う人づく り事業)	子どもの居場所 づくり支援事業	勝立地区ア ンビシャス 広場	地域の大人が見守り子どもが安心して遊べる環境をつくるため、公民館施設を子どもの居場所として毎週土曜日に開放し、アンビシャス広場委員会への支援を行いました。 【4、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10月は水害の影響により中止】	37回	子ども 222 ボランティア 169
	夏休み 勝立キッズランド		高学年を対象に、ものづくりや生活体験、自然体験を通して、異年齢の仲間づくりや交流を行い、考える力・協調性等を育み、ESDの実践につなげることを目的とした講座を開催します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点① 家庭教育支 援事業	はあとふる子育て講座～イヤイヤ期の子どもとの付き合い方～		イヤイヤ期と呼ばれる第一次反抗期の子を持つ保護者を対象に、この時期の発達の特徴や対処方法を知り、育児に前向きになれるための講座を開催しました。	2回	23
視点② 学習成果活 用促進事業	サークル社会参加促進事業		サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図るための研修会を開催します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点① 各世代に応 じた学習活 動支援事業	アク ティ ブ シ ニ ア デ ビ ュ ー 塾	健康実践デビ ュー編 無理なく！楽 しく！～コア エクササイズ フラ～	フラダンスの動きを取り入れたエクササイズで下半身を鍛えることにより身体機能を強化し、将来介護の心配なく豊かな生活を送るための講座を開催しました。 講座終了後、サークル「ブルメリア」が立ち上がりました。	5回	71
		地域デビュー 編 生活を楽しく アクティブに ～シニアパソ コン講座～	地域の担い手として活躍できる人材の発掘、育成を目的に、高齢者が地域活動を行うために役立つパソコンの基礎知識や操作技術を学ぶ講座を実施しました。 講座終了後、「パソコンもみじ会」が立ち上がりました。	5回	70
視点② 地域 ESD 推 進事業	～防災から考える地域ネットワーク作り～「玉川校区令和2年7月豪雨から学ぶ防災講座」		令和2年7月豪雨災害で被災した地区の地域住民を対象に、防災力及び防災意識の向上を図るための講座を開催し、避難行動や自分の避難計画の作成等をワークショップ形式で学習しました。	玉川 1回	玉川 18
	～防災から考える地域ネットワーク作り～「天の原校区防災研修会」		防災力の向上を図るため、町内公民館長や民生委員等を対象に「支え合いマップ」の見直しを図る研修会をワークショップ形式で開催しました。	天の原 1回	天の原 50
	玉川校区の自然と歴史ロビー展		玉川校区ESD/SDGs活動委員会が、校区の歴史遺産、田舎遺産等の地域の宝物を多くの市民に紹介し、次世代に伝えるロビー展の広報活動及び準備を支援しました。	—	—

(勝立地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点② 学校 ESD 支援事業	天の原校区 ～心を届ける～ 絵手紙ボランティア	地域の大人が子どもたちに絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア養成講座を開催しました。天の原小学校、宮原中学校と協力して地域の75歳以上の高齢者950人に届ける絵手紙を制作しました。	6回	91
	玉川校区 ～心を届ける～ 絵手紙ボランティア	地域の大人が子どもたちに絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア講座を開催しました。校区内の一人暮らしのお年寄りの家を訪問し、励ましの絵手紙を届けました。	1回	4
視点② 人材育成・地域活動促進事業	(地域行事支援) 勝立大蛇山まつり	天の原・玉川校区住民のふれあい、連帯意識の醸成、青少年健全育成及び地域の活性化を図る為、実行委員会の取組みを支援します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

5 吉野地区公民館

(吉野地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	子どもの居場所 づくり支援事業 吉野ふれあい広場	公民館施設を子どもの居場所として、毎月1回、土曜日に開放し、子どもの居場所委員会事業の支援を行いました。 【4、5月、1月、2月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	7回	子ども 125 ボランティア 58
	おもしろチャレンジ友・遊・塾～明るく！楽しく！新年を迎えよう！！～	冬休み期間中の小学生を対象とし、異なる年齢の子どもや高校生、大人世代との交流により、豊かな人間性と社会性を育むことを目的として、『お正月』をテーマに飾り作りと書初めを実施しました。	2回	小学生 12 高校生 16
視点① 高校生まちづくり体験事業(次世代を担う人づくり事業)	未来の匠の技講座 ～“全集中”で花壇作りにチャレンジ！～	高校生が部活動で学んだ知識を小学生に教えながら一緒に作業をすることで、教える喜びや達成感、コミュニケーション能力向上を目的に実施の予定でしたが、当日は都合により高校生が参加できなかったため、内容を変更し実施しました。	1回	小学生 12
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	ボランティアデビュー編 ～美味しいコーヒーを届けよう～『ゆた～っとカフェ』ボランティア講座	コーヒーの効能や基本の淹れ方を学び、地域のサロン等からの要望に応じ、『美味しいコーヒー』とともに『ゆた～っとしたくつろぎの時間』を届けるボランティアを養成しました。講座終了後は、サークルが立ち上がりました。	5回	58
	健康実践デビュー編 植物のチカラでセルフケア！フィットセラピー講座	フィットセラピーの基礎知識やアロマセラピーで使用する精油の効能、効果的な使用方法を学び、免疫力アップ、アンチエイジング、デトックスなど、健康維持を目的に実施しました。講座終了後は、サークルが立ち上がりました。	5回	73

(吉野地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点② 地域 ESD 推 進事業	令和2年度上内校 区防災研修	7月豪雨での経験をもとに、課題を整理し、事 前行動計画を作成し、一人ひとりの備えについて 改めて検討を行います。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期】	—	—
視点② 学校 ESD 推 進事業	上内小学校、吉野 小学校、倉永小学 校、橘中学校	各学校が取り組むE S D事業を支援します。 R 2年度は橘中学校と上内小学校の取組を館 内で展示しました。	—	—
視点② 人財育成・ 地域活動促 進事業	サークル社会参加 促進事業	サークル会員を対象に、研修会等を実施し、生 涯学習の推進とサークル活動の活性化を図りま した。 ①研修会「歩行環境シュミレーター・わたりジョ ーズ君体験」 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】 ②救急法講習・消防避難訓練	2回	① — ② 31
	サークル体験事業	サークルの社会参加の促進を目的として、一般 成人を対象とした春・秋のサークル体験事業を実 施しています。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	「吉野さくら絆プ ロジェクト」支援	「吉野さくら絆プロジェクト」の活動を支援し ています。 R 3年1月29日（金）、通玄寺で桜の苗木の 植樹を行いました。	—	—

6 三池地区公民館

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流 体験事業 (次世代を 担う人づく り事業)	子ども体験事業	15歳までの子どもを対象に、地域等の様々な 人と関わり、交流体験を通じて、人間性、社会性、 郷土愛等を育む事業を実施します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	子どもの居場所 づくり支援事業	三池みんな の広場	6回	子ども 75 ボランティア 39
		高取みんな の広場	4回	子ども 54 ボランティア 29
	夏休み!子どもサ ークル体験事業	様々な体験活動を通して、学ぶ意欲やより豊か な知識を深めるきっかけとするとともに、異世代 の人との交流により子ども達の豊かな人間形成 を図る目的により実施します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

(三池地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	アクティブシニアデビュー塾	健康実践デビュー編 未来に向けて身体づくり！ 気軽にはじめるシニアピラティス講座	健康寿命を延ばし、元気な体づくりをするために、高齢者でも無理なくできるピラティス講座を実施しました。継続して心と体の健康づくりをするために、講座終了後は、サークル「シニアピラティス」が立ち上がりました。	5回	68
		地域デビュー編 始めてみませんか！未来に伝えたい郷土玩具講座	三池の地で伝統的に作られてきたとされる郷土玩具「キジ馬」の技術の継承をするために、郷土玩具作り講座を実施しました。作品作りと通じて、人とのつながりを持ち、講座終了後は、指導サークルへ加入されました。	5回	55
	(一般成人事業) 三池の太祖 高橋紹運 ～宗茂と直次を生んだ戦国の名将		郷土の歴史に関わりの深い高橋紹運を学ぶことで、郷土に対する理解を深め、郷土愛を育むことを目的に実施しました。 希望者全員が受講できるよう、ビデオ放映の日を設けました。	2回	48
視点① 家庭教育支援事業	子育てふれあい広場 「じゃじゃり子み～け」		親子が自由に集い、交流できる場を提供するため、毎月第2～4月曜日（月3回）に地区公民館の一室を開放し、ボランティアスタッフとともに、ふれあい広場「じゃじゃり子み～け」を開催しました。	10回	保護者 51 子ども 58 ボランティア 22
視点② 地域 ESD 推進事業	防災から考える地域の未来 ～羽山台校区の防災の取り組みを考える～		校区まちづくり協議会主催の防災研修をきっかけとして、校区の防災分野の人材育成を目指し、希望者が集まって行う協議の場を設定しました。参加者は、2か月に1回継続して学習を行います。 防災研修 1回 学習会 1回	2回	83
視点② 学校 ESD 支援事業	「銀水校区花いっぱい“絆”プロジェクト」		R元年度に引き続き、ESD、地域の絆づくりの視点を踏まえた事業を実施しました。コロナ禍でありましたが、地域、学校による花の植えから行い、花を育て、地域の絆が深まりました。また、田隈中学校も当プロジェクトに参加し、地域と連携し中学校の花壇整備を図りました。	4回	340
視点② 地域団体連携・支援事業	地域団体連携事業		地域住民とのふれあいと連携を深め、生涯学習の推進と町内公民館活動の活性化を図ります。 ○羽山台春まつり 4月（中止） ○三池光竹 11月（中止） ○三池初市 3月（延期） 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止又は延期】	—	—
視点② 学習成果活動促進事業	第28回ふれあい文化祭（10月）		公民館利用サークル会員の学習成果の発表と地域住民の参加・協力等により、地域とのふれあいおよび連携を深めます。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	サークル連絡会展示・発表会	文化祭に代わるものとして、サークルの学習成果の発表の場として、まちかどギャラリーを活用した展示や普段の活動を撮影し、ロビーにて放映する展示・発表会を行いました。 【サークル連絡会展示発表会実行委員会事業】 10月～12月	1回	参加サークル数 19
	サークル社会参加促進事業	サークルの自主的な活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図るため研修会等を実施します。 ○研修○ 「リサイクルから地域との関わりを考える」	1回	35
	春のサークル体験	高齢化や趣味の多様化で会員の減っている定期利用サークルの活性化のため、地域住民が「何か」を始めたいとか感じるであろう春にサークル体験を行います。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

7 手鎌地区公民館

区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流 体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	子どもの居場所づくり支援事業	わくわく広場	手鎌校区、明治校区の子どもたちを対象に月2・3回実行委員会が実施する子どもの居場所づくり事業への支援を行いました。 (手鎌地区公民館、手鎌小学校)	6回	子ども 67 ボランティア 36
		きらめき広場	明治校区の子どもたちを対象に、年2回、季節のイベントを企画し子どもの居場所づくり事業への支援を行います。(明治会館) 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	子どもの体験活動事業	子ども未来 デッサン事業	市内小学校3～6年生の児童を対象に、職業を持っている大人が講師となり、その職業に関する知識や経験、その職業を目指された理由やどのような努力をされたのか等の生き様や考え方を伝えることで、児童が自らの将来像を描き、その実現に向けて歩むきっかけとなることを目的として講座を実施しました。	前期3回 後期3回	子ども 53 保護者 31 子ども 39 保護者 22
視点① 家庭教育支援事業	思春期のころに届く“言葉かけ”講座		思春期の子どもたちへの言葉かけに重点をおき、家庭での子どもとの向き合い方を学び、これからの子育てに活かしてもらうこと、思春期の子育てにおける悩みを少しでも解消するように働きかけ、子育てに役立ててもらうことを目的とし実施しました。	4回	39

区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	子育てふれあい広場 「れもんぐらす」		子育て中の保護者とその子どもが自由に集い、交流できる場を提供するため、毎月第1～3金曜日（月3回）に、ボランティアスタッフを中心として、子育てふれあい広場「れもんぐらす」を開催しました。 【4～9月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、1～2月は寒波及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	11回	子ども 107 保護者 88 ボランティア 38
視点② 学習成果活動促進事業	（一般成人事業） 春のサークル体験会		年度の始めにサークル活動を体験し、新たに自分の趣味や好きなことを見出し、生きがいをづくり、社会参加を目的に実施しました。また、新たな会員増加をめざしてサークル会員の学習意欲向上、サークル活動の活性化を図る事業です。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	サークル社会参加促進事業		サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ○研修会 ①新型コロナウイルス感染症予防のお話 ②消防訓練	2回	① 24 ② 31
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	アクティブシニアデビュー塾	地域デビュー編 60歳から始める“男のええ加減料理講座”	料理初心者の男性が料理の基本を学び、自分の健康や毎日の食事の大切さを理解し、食を見直す機会として実施しました。また退職などしたシニア世代の男性が地域デビューするきっかけとなるよう、講座終了後は地域のイベント等で実践できるようボランティアサークルが発足しました。	5回	39
		ボランティアデビュー編 サロンに癒しを届けよう～中国茶でボランティア～	中国茶について学ぶとともに、ボランティア経験者からボランティア活動のやりがいや楽しさを聞き、自分と仲間が楽しみながらお茶をふるまい、ボランティア先のサロンに集う方々に癒しを届けることができました。講座終了後には、サークルが発足しました。	5回	62
視点② 地域ESD推進事業	〔手鎌校区〕 てがま歴史講座～干拓と甘木山～		手鎌校区の干拓や寺社、甘木山の歴史について学び、先人の努力によって現在があることを知り、地域を愛する心を醸成しました。手鎌地区公民館や手鎌歴史と里山の会歴史部会が作成した資料の活用も図りました。	5回	97
	〔手鎌校区〕 今、私たちにできること～もしもに備えるいつも～		手鎌校区まちづくり協議会、手鎌校区災害訓練実行委員会との共催で、地域課題である「防災」をテーマに事業を実施します。東日本大震災、熊本地震を経験した防災士を講師に招き、地域での情報伝達や避難支援、日ごろの備えや災害時の心構えを学びます。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のためR3年度に延期】	—	—

区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	手鎌歴史と里山の会への支援	手鎌歴史と里山の会を支援します。 ○里山整備活動 ○どんど焼きと昔遊び大会 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため支援対象事業の実施なし】	—	—

8 駿馬地区公民館

(駿馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流 体験事業 (次世代を 担う人づく り事業)	夏休み PTA ふれあ い合宿	駿馬小学校の児童と保護者の絆及び P T A 会 員相互の親睦を深め、P T A 活動の活性化を図る ことを目的に、駿馬地区公民館で 1 泊 2 日の合宿 の支援をします。(駿馬小学校 P T A、駿馬地区 アンビシャス広場と共催で実施) 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	はやめ・ふれあい カヌーデー	諏訪川でのカヌー乗船体験をすることで自然 を愛する心を育むとともに、家族、友人等との ふれあいを深めることを目的に実施しました。 (アンビシャス広場との共催)	1 回	参加者 91 カヌーサポーター 13 アンビシャス 関係者 14
	駿馬地区アンビシ ヤス広場	子どもたちが自主的・主体的な活動の中で生き る力を育むための自由な遊び場や居場所を提供 し、円滑な運営の支援をしました。 (豪雨災害の影響により、7 月から駿馬小学校体 育館にて開所)	23 回	子ども 417 アンビシャス 関係者 184
視点① 各世代に応 じた学習活 動支援事業	アク ティ ブシ ニア デビ ュー 塾	地域デビュー編 大人の駿馬歴史 まち探検	5 回	87
	健康実践デビ ュー編 気軽に楽しく！ 心も体も元気ア ップ講座	仲間とニュースポーツを楽しむことで、健康増 進と生きがいを見つけることを目指し、講座を実 施しました。	5 回	54
視点② 地域 ESD 推 進事業	S N S を活用した 駿馬ネットワーク づくり講座	地域住民が情報を共有できるシステムをつく ることで、安心、安全に暮らすことができるまち づくりと、地域コミュニティの構築を目指し、講 座を実施しました。	7 回	62
	諏訪川清掃活動支 援	地域団体主催の諏訪川清掃活動をカヌーサポ ーターとともに支援しました。 ・駿馬社協主催「諏訪川浄化活動」 ・駿馬まち協主催「精霊流し片付け」	2 回	カヌーサポーター 15
視点② 学校 ESD 推 進事業	駿馬小学校クラブ 活動支援	駿馬地区公民館サークル連絡会のサークルが 駿馬小学校のクラブ活動(4~6 年生)を支援し ます。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

(駿馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	カヌー体験活動支援	児童の健やかな成長に寄与するため、近隣小学校が実施する体験学習（海洋教育としてのカヌー乗船体験）を支援しました。	3回	児童+PTA 223 カヌーサポーター 36
視点② 人材育成・ 地域活動促進事業	第22回はやめカップ祭り	諏訪川をシンボルに、世代間交流の促進、地域の連帯意識の醸成を図ることを目的に開催されるイベントを支援します。 ＜はやめカップ祭り実行委員会主催＞ 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため、及び水害の影響により中止】	—	—
	第22回諏訪川な の花まつり	諏訪川河川敷において環境美化及び青少年の健全育成を目的に開催されるイベントを支援します。 ＜諏訪川なの花まつり実行委員会主催＞ 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	炭鉱の祭典（宮原 坑フェスタ）	世界遺産構成資産である宮原坑で開催される「宮原坑フェスタ」イベントを支援します。 ＜炭鉱（やま）の祭典実行委員会主催＞ 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	カヌーボランティア 活動支援	新たなボランティアを育成することで、カヌー事業の継続を図ることを目的に、カヌーサポーターボランティア養成講座を開催しました。	1回	受講者 7 カヌーサポーター 6
	サークル社会参加 促進事業	サークルの自主活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図ります。 ・研修会、交流会の開催 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点② 学習成果活動 促進事業	展示コーナー・ロ ビーの活用促進 （はやめほっとギ ャラリー）	館内の展示コーナーを活用し、サークルや小・中学校の作品展などを開催することにより学習活動の成果発表の機会を提供しました。	8回	—
視点② 学習情報提 供事業	公民館だよりの発 行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために機関紙を発行しました。	3回	—
視点③ 社会教育機 能向上事業	炭鉱の祭典（宮原 坑フェスタ） 【再掲】	世界遺産構成資産である宮原坑で開催される「宮原坑フェスタ」イベントを支援します。 ＜炭鉱（やま）の祭典実行委員会主催＞ 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

9 登録サークル活動

区 分		中央	三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駛馬	合計
H30	サークル数	31	38	24	28	41	31	35	228
	会員数（人）	379	561	327	381	601	411	363	3,023
R 元	サークル数	30	37	17	27	42	30	35	218
	会員数（人）	336	541	244	354	566	396	365	2,802
R2	サークル数	26	30	20	28	41	29	35	209
	会員数（人）	279	440	279	357	551	361	352	2,619

10 図書関連事業

(1) 各地区公民館別図書貸出冊数

(単位：冊)

区 分		三 川	勝 立	吉 野	三 池	手 鎌	駛 馬	合 計
H30	一 般	4,371	2,372	4,041	7,176	4,380	1,520	23,860
	児 童	1,285	673	3,101	4,886	3,297	875	14,117
	計	5,656	3,045	7,142	12,062	7,677	2,395	37,977
R 元	一 般	3,772	2,042	3,908	7,845	3,708	2,008	23,283
	児 童	1,655	474	2,995	4,844	3,033	747	13,748
	計	5,427	2,516	6,903	12,689	6,741	2,755	37,031
R2	一 般	1,740	1,695	3,280	7,615	3,686	818	18,834
	児 童	528	322	1,467	2,830	1,570	190	6,907
	計	2,268	2,017	4,747	10,445	5,256	1,008	25,741

※令和2年7月豪雨により被災した三川地区公民館は10月11日まで、駛馬地区公民館は9月30日までの間臨時休館し、図書の貸し出しを中止しました。

(2) 図書関連事業

新刊コーナー、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行いました。また、地区公民館において絵本の読み聞かせなど行いました。

11 施設利用状況

R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用中止や開館時間の短縮を行いました。また、三川、駛馬の2館は7月豪雨により被災し臨時休館としました。

(単位：人)

区 分		中央	三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駛馬	合計
H30	件数	4,277	3,558	2,046	2,846	3,267	3,942	3,076	23,012
	延人員	43,335	42,280	23,013	31,685	38,115	41,618	42,694	262,740
R 元	件数	3,921	3,600	1,908	2,600	3,138	3,535	2,947	21,649
	延人員	40,542	41,487	21,564	27,419	35,067	38,683	43,128	247,890
R2	件数	2,608	1,461	1,515	1,774	2,038	2,389	1,006	12,791
	延人員	22,314	12,076	12,301	17,069	19,319	21,963	8,319	113,361

○新型コロナウイルス感染症の影響

施設利用中止 4月7日（火）～5月17日（日）

開館時間短縮 R3年1月18日（月）～2月28日（日）（午後8時まで）
R3年3月1日（月）～3月20日（土・祝）（午後9時まで）

○豪雨の被害による臨時休館

三川地区公民館 7月7日（火）～10月11日（日）

駿馬地区公民館 7月7日（火）～9月30日（水）

1.2 施設改修・施設整備

（1）社会教育施設・設備充実事業

地区公民館の利用者が、安心、安全に施設を利用できるように、必要に応じて施設修繕を実施しました。

また、令和2年7月豪雨により被災した三川、駿馬の両地区公民館の復旧に取り組みました。

	三川地区公民館	駿馬地区公民館
被災状況	床上浸水（約15センチ） ・床全面、壁面の一部、トイレ汚損 ・エレベーター、音響設備の損壊 ・書架、展示パネル、キャビネット、カウンター、卓球台等備品の汚損 ・図書（約2,800冊）の汚損 ・その他消耗品の汚損	床上浸水（本館：約5センチ、プレイホール：約40センチ） ・床全面、壁面の一部汚損 ・エレベーター、プレイホール音響設備・空調設備の損壊 ・書架、卓球台等備品の汚損 ・その他消耗品の汚損
R2年度の復旧状況	・図書コーナー、事務室、コミュニティセンター他床下清掃及び床張替 ・エレベーター修繕 ・備品、消耗品の購入 ・図書の購入	・図書コーナー、事務室、コミュニティセンター他床下清掃及び床張替 ・備品、消耗品の購入 ・図書の購入
R3年度の工事予定	・多目的ホール床全面、壁面の一部張替、音響設備更新（9月末完成予定）	・プレイホール床全面、壁面の一部張替、音響設備・空調設備更新（9月末完成予定） ・エレベーター更新（12月末完成予定）

1.3 研修・研究

毎月第1月曜日（休館日）に開催する地区公民館職員研修会において、各種研修及び各種計画の紹介等を行ったほか、社会教育センター等で開催される研修に参加しました。

《多目的活動施設リフレスおおむた》〔生涯学習課〕

リフレスおおむたは、市民の文化、スポーツ及び教養の向上並びに青少年の健全育成のための野外活動の充実を図るとともに、広域的な住民の交流の場を確保し、もって生涯学習の振興に資するため、H11年に設置しました。青少年の多様な体験活動の場、生涯学習・生涯スポーツの場、広域的な住民交流の場の提供に努めています。

また、野外・自然体験活動等の事業をはじめ、施設設備の有効的な利活用を図るための指導者養成事業、施設ボランティア養成事業等の実施により、青少年の健やかな成長と豊かな心を育むことを目指しています。

H19年度から指定管理者制度を導入し、H29年度からR3年度までの5年間は公益財団法人熊本YMCAを指定管理者に指定しています。

1 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の事業については、実施を中止・縮小しました。

(1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

事業名	事業の概要	時期	回数	延べ参加者数（人）
農業生活体験がまだす隊	小学校1年生から2年生を対象に、子どもたちの生きる力を育てることを目的として、収穫体験や自然の大切さを学ぶ事業です。	10月～12月	3	42
リフレスなんでもやる隊	小学校3年生から6年生までを対象に、「自然体験」を中心として、命の尊さ、食の大切さを自然から学ぶ実践体験事業です。	9月～12月	4	51
春の野草を食べよう	施設周辺で春の野草などの自然観察を行いながら、草木にふれあう機会と、専門ボランティアの解説、試食等を通して、参加者同士の交流を深める事業です。	中止		
リフレスキャンプ2020 (長期宿泊体験事業)	キャンプ体験初心者の家族を対象としたファミリーキャンプを実施し野外活動の楽しさや大切さを感じてもらう機会を提供しました。また、小学校の異学校、異学年での日常生活活動や特別活動（キャンプファイヤー、野外炊飯）を通して、自主性・社会性を養うと共にコミュニケーション能力を高める集団宿泊体験事業です。	中止		
キャンパーズコネクション (野外活動指導者養成事業)	高校生・大学生を対象に、野外活動の楽しさを知り、体験したことを指導者として発揮できるための講座です。	11月	2	6
レクリエーション指導（青少年団体支援事業）	学校や子ども会などを対象に、要請に応じて指導者を派遣して、レクリエーションや野外活動の指導を行う事業です。出前講座にも登録しています。	9月 11月	4	181
楽しいキャンプファイヤー指導（青少年団体支援事業）	要請に応じて学校や子ども会、地域行事などに職員を派遣し、キャンプファイヤーやレクリエーション指導を行う事業です。（R2年度は依頼なしのため未実施）	—	—	—

事業名	事業の概要	時期	回数	延べ参加者数（人）
青少年ボランティア活動支援	野外活動や自然活動を支援するリーダー育成を目指す事業です。	10月	2	8
星空観察会	夏・冬の星座観察を通して、星座の成り立ちや神話、星に関わる疑問等を学び、自然の大切さを理解し環境保護について考える機会とすることを目的に、大牟田市環境保全課と星空観察ボランティアとの共催で実施する事業です。	8月 10月	2	21
ほたるの観察会	ほたるについての学習会などを行い、観察だけでなく、自然環境のほたるへの影響などを学び、自然保護の意識を醸成させることを目的に、市環境保全課と四ヶ友和会との共催で実施する事業です。	中止		
かっぱ飯作り体験	竹を使った「かっぱ飯」作りの体験を中心に、様々な竹細工（竹箸、竹茶碗）の経験を通して、自然を感じ、交流を深める機会とすることを目的に、四ヶ町活性化協議会と協力して実施する事業です。	12月	1	18
学習の相談及び支援	学校やスポーツ団体等、リフレスを利用される野外活動などの相談支援を行う事業です。	通年		160

（２）提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した特性を生かした事業）

事業名	時期	延べ参加者数（人）
陶芸教室（大人対象）	11、12月	18
陶芸教室（親子対象）	中止	
クライミング講習会	1月	4
高齢者向け健康体操	11月	6
リフレスクッキング教室	11月	16
物づくり教室（パッチワーク風縫い方）	10月	55
ヨガ&健康体操教室	毎週火、水曜日	403
クリスマスリース作り教室	12月	32
寄せ植え教室	中止	
ペン字講座	11月	22
大牟田市児童支援リフレッシュデイキャンプ	11月	29

２ 利用状況

（１）開所日数 ３４０日

(2) 利用者数等

年度	件数	利用者数(人)	施設利用内訳			利用者内訳		
			屋内宿泊	キャンプ宿泊	日帰り利用	大人	高大生	中学以下
H30	3,253	29,644	1,986	262	27,396	19,681	1,040	8,923
R元	2,868	26,705	1,638	202	24,865	17,002	1,039	8,664
R2	1,854	13,120	189	16	12,915	7,129	722	5,269

(R2年度内訳)

区分別	件数	利用者数(人)	施設利用内訳			利用者内訳		
			屋内宿泊	キャンプ宿泊	日帰り利用	大人	高大生	中学以下
個人	970	3,430	0	16	3,414	2,123	98	1,209
少年	205	3,777	58	0	3,719	652	2	3,123
学校	34	607	0	0	607	62	430	115
他団体	533	4,368	131	0	4,237	3,487	169	712
主催事業	112	938	0	0	938	805	23	110
計	1,854	13,120	189	16	12,915	7,129	722	5,269

※「利用者数」には利用した実人数を計上しています。

※「個人」とは、団体名を持たない利用者（複数人を含む）をいいます。

※「少年」とは、青少年を主とした団体で、「学校」及び「他団体」以外の団体をいいます。

※「学校」とは、小学校以上の学校の団体をいいます。

※「他団体」とは、一般団体やサークル、幼児の団体をいいます。

※「主催事業」とは、リフレスおおむたが主催する事業に参加した利用者をいいます。

(3) 新型コロナウイルス感染症への対応

- | | |
|--------------------|----------------|
| ① 施設利用（貸出し）の中止 | 4月7日～5月18日 |
| ② 新規予約受付の停止（20時以降） | R3年1月18日～2月28日 |
| （21時以降） | R3年3月1日～3月7日 |

3 施設整備等

R2年度は令和2年7月豪雨により施設内の数か所で雨漏りが発生したため、災害復旧として体育館、ロビー、非常口付近、和室の雨漏り改修工事を実施しました。また、体育館ステージに設置しているクライミングウォール付近の雨漏りが別途生じたため、防水塗装工事を実施しました。

さらに、駐車場の白線が消えかかっていたため、白線を更新し、利便性の向上を図りました。

《大牟田文化会館》〔生涯学習課〕

大牟田文化会館は、事業の企画・実施や、市民の文化活動に係る施設や付属設備等の提供、文化活動に関する相談・支援・情報収集、プラネタリウム投影などを通して、大牟田市、柳川市及びみやま市の圏域における文化の向上と住民の福祉の増進に資するためにS 6 1年に設置しました。文化事業については音楽や古典芸能、講演など幅広いジャンルの催しを開催することを目的としています。

H 1 8年度から指定管理者制度を導入し、H 2 9年度からR 3年度までの5年間は公益財団法人大牟田市文化振興財団を指定管理者に指定しています。

1 事業の実施状況（プラネタリウム関連事業を除く）

文化の向上と住民の福祉の増進に資する文化芸術事業を、「大牟田文化会館管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

（1）必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

①第18回ありあけジュニアピアノコンクール

日頃からピアノの練習に励んでいる児童・生徒に広く発表の機会を提供し、豊かな音楽の感性を持った子どもたちと音楽活動者の育成を図るとともに、文化の振興・発展に寄与することを目的として開催しました。

と き Aコース 本選 11月3日（火・祝）
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Aコース予選・チャレンジBコースは中止

と ころ 大ホール

参加資格 小学生から高校生まで

参 加 者 Aコース 本選 48人
（Aコース）グランプリ1人、準グランプリ1人、西日本新聞社賞1人、部門賞（小学3・4年生の部、小学5・6年生の部、中学生の部、高校生の部）12人以内

※Aコース：予選・本選があるレベルの高いコース（課題曲1曲、自由曲1曲）

Bコース：予選がなく、自由曲1曲のみで気軽に参加できるコース

②プレミアムアンサンブルコンサート

第18回ありあけジュニアピアノコンクールグランプリ上位受賞者の特典コンサートとして3月に開催しました。

と き R 3年3月21日（日）

と ころ 小ホール

延期していた第17回ありあけジュニアピアノコンクールグランプリ上位受賞者の特典コンサートについては、下記のとおり開催しました。

と き 9月22日（火・祝）

と ころ 小ホール

③第44回九州青年美術公募展

若い力の創造的美術活動とその作品の鑑賞を通じて、地方美術の振興・普及を図り、加えて新人・青年作家の優れた才能を発見し、育てる場として開催しました。

と き 11月22日（日）～11月28日（土）（表彰式 11月22日（日））

と ころ 大牟田文化会館 展示室等 入 場 者 280人

公募作品 平面絵画

応 募 数 197点（165人） 入 選 62点

賞 文部科学大臣賞1点、河北記念賞1点、藤田記念賞1点、審査員特励賞3

点、朝日新聞社賞 1 点、福岡県教育委員会賞 1 点、大牟田市長賞 1 点、大牟田市教育委員会賞 1 点、NHK福岡放送局賞 1 点、九州朝日放送賞 1 点、内藤額縁店賞 1 点、大牟田文化会館賞 1 点、奨励賞 5 点

④第 7 6 回福岡県美術展覧会（県展）筑後ブロック展

県展の日本画、洋画、書及び写真の 4 部門の入賞作品並びに筑後地域から出品された福岡県美術協会会員作品と入選作品を展示する巡回展を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

⑤第 3 8 回有明美術展

日本画、洋画、彫刻、書、写真、染織、陶芸の各部門で活躍する、有明広域市町村圏域の美術家の優れた作品を展示する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

⑥学校鑑賞事業 演劇公演「ウラシマコタロウ」

劇場で生の舞台を鑑賞する機会を提供するとともに、表現活動への関心を喚起し、子どもたちの創造力や感性を育む演劇公演を開催しました。

と き 10 月 19 日（月）

と ころ 小ホール

入 場 者 177 人

（2）提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特性を生かした事業）

多様な文化にふれ親しむ鑑賞型、市民が主体的に参加する参加型、将来の文化を担う人材を育成する育成型の文化芸術事業を地域の音楽・文化関係団体等と連携して実施しました。

①鑑賞型事業

事業名	と き	と ころ	入場者等
特選コンサート	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	文化会館	—
令和 2 年度福岡県立美術館所蔵品巡回展「移動美術館展おおむたアートミュージアム」	R3 年 1 月 20 日（水） ～2 月 11 日（木・祝）	文化会館	1,523 人

②参加型事業

事業名	と き	と ころ	入場者等
第 14 回びあの 1 日マラソン	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	文化会館	—
サロンコンサート ～古閑裕而とその時代を彩った仲間たち～	10 月 10 日（土）	文化会館	154 人
文化体験講座「バイオリンを弾いてみよう！」	7 月 19 日（日） ※R 元年度延期分 10 月 4 日（日） 11 月 8 日（日）	文化会館	108 人
クリスマスファミリーコンサート	12 月 20 日（土）	文化会館	256 人
文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業	講演会	10 月 24 日（土）	羽山台小学校
	羽山台小学校演劇ワークショップ	①10 月 24 日（土） ②11 月 19 日（木）	羽山台小学校

令和2年7月豪雨 がんばろう・ありがとうチャリティコンサート～響け！復興のハーモニーずっとずっと絆の輪～	11月29日（日）	文化会館	696人
大牟田市わくわくシティ基金事業 ダンスチャレンジおおむた	新型コロナウイルス感染拡大防止のため R3年度へ延期	文化会館	—
星にお願い	6月23日（火）～8月8日（土）	文化会館	324人
ツリーにお願い	11月16日（月）～12月25日（金）	文化会館	138人
おむタンおみくじ	R3年1月10（日）～2月6日（土）	文化会館	450人
音楽の贈り物コンサート スプリングコンサート	R3年3月14日（日）	吉野地区公民館	46人
憩いの mori 事業 絵本コンサート	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	文化会館	—
文化コーディネーター講座	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	文化会館	—

③育成型事業

事業名	とき	ところ	入場者等
マロプロジェクト in 大牟田 ～子どもたちの未来へ 音のメッセージ～	新型コロナウイルス感染拡大防止のため R3年度へ延期	文化会館	—
コロナに負けるな！ 中高生吹奏楽部応援企画	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	文化会館	—
マロプロジェクト in 大牟田関連事業 “音楽”は魔法のコミュニケーション ～マロ先生のお話とミニコンサート～	R3年1月17日（日）	文化会館	200人
サロン de アート	R3年3月19日（金）～3月21日（日）	文化会館	183人
大牟田文化会館・有明高専合同 「アクリル星座板工作教室」	12月6日（日）	文化会館	16人
大牟田文化会館・有明高専合同 「はじめてのプログラミング教室」	12月6日（日）	文化会館	19人
大牟田文化会館・有明高専合同 星空観望会 ほしぞら☆探検隊	11月6日（金）	有明工業高等専門学校	23人

2 プラネタリウム関連事業の実施状況（指定管理者提案事業）

プラネタリウムでは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4月から7月初めまでは土・日・祝日の一般投影や平日の団体投影、特別投影等は全て中止し、6月下旬に入場制限による団体投影のみを行いました。7月以降の入場制限については120人の定員を20人程度に縮小し、土・日・祝日及び小中学校の長期休暇期間中に1日2回、番組を入れ替え、四季に応じた星座の解説を入れた一般投影を行ったほか、オリジナル番組の無料特別投影を行いました。平日は、予約による団体投影を行い、学校、幼稚園・保育園、病院施設など圏域内外より幅広い団体の依頼に対応しました。

また、大人向けの特別投影や有明工業高等専門学校との協働による共同研究などに取り組みました。

事業名	とき	ところ	入場者等
音とアロマのプラネタリウム 「星空ヒーリング」(6, 9, 12, 3月の計4回)	①6月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ②9月12日(土)～13日(日) ③12月12日(土)～13日(日) ④R3年3月27日(土)	文化会館	107人
大牟田文化会館・有明高専合同 「ドーム投影研究」	R3年2月26日(金)	有明工業高等専門学校、文化会館	6人

プラネタリウム来場者数の推移

年 度	H30	R 元	R2
来場者数	6,454人	4,432人	1,202人

3 利用状況及び収入状況

(1) 利用状況

	稼働率(%)			利用人数(人)		
	H30	R 元	R2	H30	R 元	R2
大ホール	36.0	34.2	24.6	51,162	54,576	13,872
小ホール	59.4	54.8	43.5	39,012	42,017	11,201
その他				96,811	86,127	37,519
計				186,985	182,720	62,592

(2) 収入状況

(単位：千円)

会場使用料・観覧料	付属設備使用料・冷暖房料	その他	合計
18,352	10,828	1,687	30,867

(3) 新型コロナウイルス感染症への対応

【施設利用(貸出し)中止】

4月7日(火)～5月17日(日)

【新規予約受付停止】

(20時以降) R3年1月18日(月)～2月28日(日)

(21時以降) R3年3月1日(月)～21日(日)

《三池カルタ・歴史資料館》〔生涯学習課〕

三池カルタ記念館は、H 3 年に開設しました。その後、H 1 8 年に歴史資料館と統合し、三池カルタ・歴史資料館として現在に至っています。カルタや歴史に関する展示を中心とした企画展の開催をはじめ、資料の収集・保存、調査研究、文化・歴史講座等の実施により、市民の文化的教養の向上に努め、市民の豊かな心と郷土を愛する心を育み、地域社会の文化の向上に資することを目的としています。

H 1 9 年度から指定管理者制度を導入し、H 2 9 年度から R 3 年度までの 5 年間は T R C ・アクティオグループを指定管理者に指定しています。

1 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

(1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

①企画展

事業名	期間	内容	入館者
春の企画展 新収蔵カルタ展 2020	4 月 1 日（水）～ 6 月 28 日（日） ※うち臨時休館 4 月 7 日（火）～ 5 月 17 日（日）	近年収集したカルタの中から、特徴的なものや学習に役立つカルタなど厳選した約 30 点を紹介する展示を行いました。	大人 282 人 子ども 64 人 計 346 人
平和展 2020 教科書とカルタでみる戦中・戦後	7 月 7 日（火）～ 9 月 27 日（日）	戦時資料の中から、子どもたちにも影響を及ぼした戦前から戦中・戦後にかけての教科書やカルタの変遷をたどる展示を行いました。	大人 1,297 人 子ども 202 人 計 1,499 人
秋の企画展 カルタで楽しむ植物園～カルタガーデンへようこそ～	10 月 6 日（火）～ 12 月 6 日（日）	草花や野菜など「植物」をテーマとしたカルタやトランプを紹介することで、少しでも行楽地（植物園）を訪れた気分を味わってもらう展示を行いました。	大人 1,148 人 子ども 169 人 計 1,317 人
冬の企画展 地図・絵葉書でみる三池炭鉱	12 月 15 日（火）～ R3 年 3 月 28 日（日）	戦前から戦後にかけて描かれた三池炭鉱関連の地図や絵葉書等を紹介することで、石炭産業の隆盛に沸き立つ“炭都”大牟田発展の歩みを振り返るとともに、世界遺産登録 5 周年の節目にその価値を再認識する機会として展示を行いました。	大人 1,225 人 子ども 276 人 計 1,501 人

②市民カルタフェア 2 0 2 0

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

③第 2 9 回三池カルタ・歴史資料館杯《小倉百人一首》九州新人かるた競技大会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

④普及・啓発事業

ア カルタの貸出（小倉百人一首かるた等） 3 0 件 延べ 5 6 組

イ 講座等の開催

内 容	と き	受講者数
文化講座① 暮らしの中に花とカラーセラピーを！	11 月 8 日（日）	20 人
歴史講座① 炭鉱と美術 ―美術を通して見る炭鉱町―	12 月 20 日（日）	14 人
歴史講座② 三池炭鉱の過去・現在・未来	R3 年 1 月 24 日（日）	19 人
文化講座② 古版タロットへの誘い	R3 年 3 月 14 日（日）	16 人

（２）提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特性を生かした事業）

①企画展関連イベント等

事 業 名	期 間	内 容	参加者等
令和２年度 夏期平和事業	8 月 9 日（日）	大牟田の空襲を記録する会と共催で、空襲体験講話と講話「大刀洗空襲を語りつぐ」を中央地区公民館で行い、戦争と平和について考える機会を広く提供しました。	31 人
カルタックスおおむた 平和事業 「平和の映画上映会」	8 月 15 日（土）	大牟田市立図書館との共催事業として、戦争と平和についてのアニメーション映画を上映しました。	4 人
公開展示 「昔の道具とくらし展」	10 月 6 日（火）～ 12 月 6 日（日）	小学３年生が「くらしのうつりかわりと昔の人々の生活」を学ぶ時期に合わせて、昭和初期から中頃に日常で使われていた生活道具や遊具等を展示しました。	小学校からの 団体観覧なし
秋の企画展関連講座 お花にふれてみましょう（生け花初級編）	10 月 25 日（日）	秋の企画展「カルタで楽しむ植物園～カルタガーデンへようこそ～」に合わせて、初心者でも気軽に楽しめる生け花講座を開催しました。	17 人
秋の企画展関連講座 災害から身を守ろう！	11 月 13 日（金）	秋の企画展では、7 月豪雨災害を教訓とするため、被災状況やハザードマップを紹介するとともに、ミニコーナーとして「防災カルタ」を展示しており、この展示に合わせた講座を開催しました。	9 人
冬の企画展関連事業 ミュージアムガイド	①12 月 27 日（日） ②R3 年 1 月 31 日（日） ③R3 年 2 月 21 日（日） ④R3 年 3 月 28 日（日）	収蔵資料、調査研究などで得られた成果や情報などを来館者に対して説明を行い、疑問や質問に答える対話型の展示案内を行いました。	① 1 人 ② 1 人 ③ 7 人 ④ 2 人 計 11 人

事業名	期 間	内 容	参加者等
アフリカルタで知る！ アフリカの生活 「アフリカルタとパネル展」	R3 年 2 月 20 日(土) ～3 月 21 日(日)	国際協力機構 JICA 九州センターと共催で、「アフリカルタ」や JICA 海外協力隊の写真パネルの展示をしました。 予定していた講演会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。	—

②普及・啓発事業

ア 博物館学芸員実習受け入れ

期 間 8 月 1 8 日 (火) ～ 2 2 日 (土)

参加者 1 人 (福岡大学人文学部 4 年生)

イ 講座等の開催

講 座 名	と き	受講者数
かな文字入門講座 (第 8 期)	全 20 回 6 月 5 日 (金) ～ R3 年 3 月 19 日 (金)	延べ 145 人
古文書入門講座 (第 6 期)	全 20 回 6 月 5 日 (金) ～ R3 年 3 月 19 日 (金)	延べ 293 人
『源氏物語』の光と影を読む (第 7 期)	全 20 回 6 月 7 日 (日) ～ R3 年 3 月 21 日 (日)	延べ 321 人

2 報道関係等への資料提供と P R の状況

新聞 3 3 件 テレビ・ラジオ 1 1 件 機関紙・雑誌等 1 5 件

3 観覧者数等の状況

年 度	開館日数	入 館 者 数 (人)			図 録 関 係 頒布収入 (千円)
		一 般	児童生徒	合 計	
H30	275	9,588	3,014	12,602	163
R 元	258	8,367	2,842	11,209	136
R2	240	3,952	711	4,663	167

※ 観覧料については、H 1 9 年度に指定管理者制度導入後、無料となっています。

※ H 1 8 年度の入館者数は、5, 4 7 9 人です。

○新型コロナウイルス感染症の影響

臨時休館 4 月 7 日 (火) ～ 5 月 1 7 日 (日)

《図 書 館》〔生涯学習課〕

市民の図書資料に対する要求に応え、自由で公平な図書館資料の提供を中心とする諸活動によって、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とした事業を実施します。また、施設設備を有効に活用し、読書ボランティア養成講座事業、おはなし会等を実施します。

三池カルタ・歴史資料館との複合施設であり、H 1 9 年度から指定管理者制度を導入し、H 2 9 年度から R 3 年度までの 5 年間は T R C ・アクティオグループを指定管理者に指定しています。

1 利用状況

(1) 図書貸出の登録者及び利用者

(単位：人、団体)

区 分				計	本 館	地 区 公 民 館					
						三 川	勝 立	吉 野	三 池	手 鎌	駛 馬
登録者数	個人	新規登録者	小学生以下	152	131	2	2	8	3	6	0
			中 学 生	21	20	0	0	0	0	1	0
			高 校 生	49	49	0	0	0	0	0	0
			成 人	810	754	9	6	14	13	13	1
			計	1,032	954	11	8	22	16	20	1
		登録者数		26,280	24,107	344	168	434	587	427	213
	団体	新規登録団体数		24	24						
		登録団体数		286	286						
利用者数	個人	実利用者数		6,751	6,269	79	43	84	146	105	25
		のべ利用者数		91,393	82,328	833	900	1,641	3,609	1,639	443
	団体	実利用団体数		70	70						
		のべ利用団体数		365	362	0	0	0	0	3	0

(2) 図書貸出冊数及びその他資料貸出数

(単位：冊、点、日)

区 分		計	本 館	地 区 公 民 館					
				三 川	勝 立	吉 野	三 池	手 鎌	駛 馬
図 書 資 料	一般書	224,051	205,217	1,740	1,695	3,280	7,615	3,686	818
	児童書	114,835	107,928	528	322	1,467	2,830	1,570	190
	小 計	338,886	313,145	2,268	2,017	4,747	10,445	5,256	1,008
	開 館 日		250	206	303	303	303	303	219
	1 日 平 均		1,252.6	11.0	6.7	15.7	34.5	17.3	4.6
そ の 他 資 料	A V 資 料 (CD・DVD 等)	15,891	15,831	0	0	12	8	38	2
	雑 誌	16,871	16,443	8	16	33	133	225	13
	小 計	32,762	32,274	8	16	45	141	263	15
総 計		371,648	345,419	2,276	2,033	4,792	10,586	5,519	1,023

※本館館内閲覧受付 6 7 8 冊

○新型コロナウイルス感染症の影響

臨時休館 4月7日（火）～5月17日（日）

開館時間短縮 5月19日（火）～5月31日（日）（午後5時まで）

6月2日（火）～6月30日（火）（午後6時まで）

○豪雨の被害による臨時休館

三川地区公民館 7月7日（火）～10月11日（日）

駿馬地区公民館 7月7日（火）～9月30日（水）

（3）図書貸出冊数（一般書・児童書）と予約・リクエストの推移

区分 年度	貸 出 （冊）		予約・リクエスト	
	個 人	団 体	件 数	そのうち 購入した冊数
H30	441,483	7,625	26,399	1,335
R元	412,838	7,923	23,235	1,058
R2	332,370	6,516	20,536	905

（4）障害者サービス

	登録者	貸出数	市内送付サービス	市外送付サービス
点字サービス	27人	54タイトル 189点	54タイトル 189点	0タイトル 0点
録音サービス (デージー*含む)	106人	298タイトル 365点	296タイトル 363点	2タイトル 2点
計		352タイトル 554点		

※ デイジー（DAISY）は、視覚障害者向けデジタル録音図書。Digital Accessible Information SYstem の略。ただし、本表では広報・新聞コラム等を除いています。

※ R元年度より、フリーペーパー「どがしこでん」のDAISYの貸出しを開始しました。

（5）予約処理状況

一般書・児童書 17,981冊

雑誌 2,365冊

AV資料（CD・DVD等） 190点 合 計 20,536件

（6）文献複写サービス（有料）

複写枚数 4,528枚

（7）人口類似都市図書館との比較

区 分	大 牟 田 市		人口類似都市平均 (R元年度実績)
	R元年度	R2年度	
市民1人当たりの図書等貸出冊数	4.07冊	3.34冊	3.82冊
全市民中に占める貸出登録者の割合	24.47%	23.60%	40.88%
蔵 書 回 転 率	1.51回	1.22回	1.15回
市民1人当たりの蔵書冊数	2.69冊	2.75冊	3.34冊

市民 1 人当たりの図書等購入費	174.29 円	230.07 円	167.04 円
職員 1 人当たりの図書等貸出数	28,675 冊	23,228 冊	15,814 冊

※「人口類似都市平均」は、『日本の図書館（2020）』日本図書館協会2021年刊から、人口11万人以上13万人未満の10市の平均

※大牟田市以外の数値は、2020年の公共図書館調査票の数値をもとに平均値を算出

2 図書館資料

拠点別蔵書冊数

(R3年3月31日現在)

区 分	一 般 書		児 童 書		計	
	冊数（冊）	比率（％）	冊数（冊）	比率（％）	冊数（冊）	比率（％）
本 館	200,437	81.3%	46,233	18.7%	246,670	100.0%
三川地区公民館	6,874	58.0%	4,968	42.0%	11,842	100.0%
勝立地区公民館	6,551	67.1%	3,205	32.9%	9,756	100.0%
吉野地区公民館	6,063	60.5%	3,963	39.5%	10,026	100.0%
三池地区公民館	5,906	53.0%	5,237	47.0%	11,143	100.0%
手鎌地区公民館	4,811	53.5%	4,184	46.5%	8,995	100.0%
駛馬地区公民館	4,084	55.7%	3,242	44.3%	7,326	100.0%
計	234,726	76.8%	71,032	23.2%	305,758	100.0%

3 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

(1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

① 定例事業

ア おはなし会（おおむた読書推進ボランティアネットワークの協力を得て開催）

おはなし会名	開 催 日	開催回数	参加者 (のべ人数)	協力ボランティア (のべ人数)
幼児及び小学生低学年を対象としたおはなし会	毎週土曜日	35 回	442 人	108 人
乳幼児のためのおはなし会	毎週木曜日 (最終木曜日は除く)	23 回	108 人	49 人
赤ちゃんのためのおはなし会	毎週火曜日	27 回	184 人	73 人

イ ブックデビュー事業

保護者と赤ちゃんが「初めての絵本」の楽しさを実感できる方法を提案するとともに、図書館の利用案内を行いました。

当初は、ブックスタート事業「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」内での実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、代わりに、R3年1月から「赤ちゃんのためのおはなし会」で実施しました。

実施回数 8回 参加者（のべ人数）22人

ウ ブックリサイクルの実施

図書館で不用になった図書・雑誌を市民、学校及び施設に無料提供しました。

(ア) 子どもの本限定！ブックリサイクル と き 8月10日(月・祝)

(イ) ブックリサイクル(一般書・雑誌) と き R3年3月20日(土・祝)

R3年3月21日(日)

(ウ) 学校向けブックリサイクル と き 9月8日(火)～11日(金)

ブックリサイクル提供図書総数 5,819冊

②行 事

ア イベント的事業

事業名	内 容	と き	参加者
「子ども読書の日 記念イベント2020」	特設「絵本ミュージアム！」	4月1日(水)～ 5月27日(水)	—
	ぬいぐるみおとまり会〔延期〕	11月22日(日) 11月23日(月・祝)	5人
	子ども読書の日記念おはなし会	中止※	—
	子どもの本限定！ブックリサイクル〔再掲〕	8月10日(月・祝)	73人
特別おはなし会	子ども読書の日記念おはなし会〔再掲〕	中止※	—
	七夕おはなし会	7月4日(土)	13人
	平和おはなし会	8月1日(土)	8人
	クリスマスおはなし会	12月19日(土) 同じ内容を2回実施	①21人 ②19人
カルタックス おおむた平和事業	① 平和パネル展・平和の本	7月31日(金)～ 8月26日(水)	—
	② 平和のほん(子どもの本)	7月31日(金)～ 8月26日(水)	—
	③ 平和おはなし会〔再掲〕	8月1日(土)	8人
	④ 平和の映画上映会	8月15日(土)	4人

イ 講座及び研修会

読書ボランティア養成講座

内 容	講 師 ・ 実 演	と き	受講者
読み聞かせの基本	講師：本村尚子 おはなしのへやプリマヴェーラ所属	12月2日(水)	10人
おはなし会の実演と実技	おはなしネット・おおむた おはなしびよびよ	12月9日(水)	10人
読みつがれた絵本の魅力	講師：中村文 小郡市立図書館司書	12月16日(水)	6人

③有明圏域定住自立圏に係る取組み

有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき、H24年度から柳川市及びみやま市、H26年度から荒尾市、南関町及び長洲町との図書サービスの相互利用を実施しています。

【大牟田市立図書館における相互利用状況】

登録者数 2, 375人（うち新規登録者数 101人）
 のべ利用者数 7, 855人
 図書等貸出数 35, 362冊

(2) 提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特性を生かした事業）

①展示会（主に図書の展示と貸出し）ほか

ア 返却カウンター前 展示分

展示テーマ	内 容	と き
失敗はダメ？挫折したら終わり？間違ったらおしまい？	5月の連休明けに増えるといわれる五月病にあわせ、立ち直り方や失敗談等を集めた展示・貸出しを行いました。	5月29日(金)～ 6月24日(水)
事典と辞典どう違う？	図書館での調べものに活用してもらえるよう、知っているようで知らない「じてん」の違いを紹介し、調べる学習コンクールとあわせて展示・貸出しを行いました。	6月26日(金)～ 7月29日(水)
シニアを応援！	9月に敬老の日がある事や、大牟田市の高齢化率が全国平均を上回っていることから、高齢者本人や高齢者を抱える家族を応援（サポート）する本の展示・貸出しを行いました。	8月28日(金)～ 9月22日(火・祝)
つくってみた。～図書館スタッフが図書館の本を参考に作ってみた作品のはっぴょうかい～	図書館の本を使って、物づくりを楽しむことができることを知ってもらうため、実際に作った作品の展示と手芸・工作等物づくりの本の展示・貸出しを行いました。	9月25日(金)～ 10月28日(水)
大人も大好き絵本	長く読み継がれてきたスタンダードな絵本や、細部まで作り込まれている絵本など、大人でも楽しめる絵本の展示・貸出しを行いました。	10月30日(金)～ 11月25日(水)
郷土のニューフェイス	現在、活躍する大牟田出身の作家や漫画家、特に近年デビューした方々よりサインやコメントをいただき、本と共に展示を行いました。	11月27日(金)～ 12月23日(水)
大河ドラマ 60 作品記念	2021 年 1 月から放送予定の大河ドラマが 60 作品目であることを記念して、歴代の原作本を展示・貸出しを行いました。	12月25日(金)～ R3 年 1 月 27 日(水)
こんな本買いました！	市民からのリクエストで購入した本のうち、市立図書館に所蔵している本を集め、展示・貸出しを行いました。	R3 年 1 月 29 日(金)～ 3 月 24 日 (水)

イ 児童コーナー 展示分

展 示 名	展示冊数	と き
春のえほん	75 冊	4 月 1 日(水)～4 月 5 日(日)
おかあさんのほん	59 冊	5 月 19 日(火)～5 月 27 日(水)
おとうさんのほん	60 冊	5 月 29 日(金)～6 月 24 日(水)
七夕のほん	36 冊	6 月 26 日(金)～7 月 29 日(水)
平和のほん〔再掲〕	61 冊	7 月 31 日(金)～8 月 26 日(水)
おじいちゃんおばあちゃんのほん	45 冊	8 月 28 日(金)～9 月 22 日(火・祝)
食べ物のほん	89 冊	9 月 25 日(金)～10 月 28 日(水)
写真えほん	70 冊	10 月 30 日(金)～11 月 25 日(水)
クリスマスのほん	158 冊	11 月 27 日(金)～12 月 25 日(金)
お正月のほん	24 冊	12 月 25 日(金)～R3 年 1 月 27 日(水)
雪のほん	80 冊	12 月 25 日(金)～R3 年 1 月 27 日(水)
児童BOX特設「動物のえほん」	80 冊	R3 年 1 月 5 日(火)～1 月 27 日(水)
児童BOX特設「命のえほん」	25 冊	R3 年 1 月 29 日(金)～2 月 24 日(水)
ねこのほん	97 冊	R3 年 1 月 29 日(金)～2 月 24 日(水)
節分のほん	28 冊	R3 年 1 月 29 日(金)～2 月 24 日(水)
ひなまつりのほん	26 冊	R3 年 2 月 26 日(金)～2 月 28 日(日)

ウ ヤングアダルトコーナー 展示分

展 示 名	内 容	と き
恋する小説	古典から現代までの恋愛小説を集めて、展示・貸出しを行いました。特設期間が新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館と重なり、特設期間が短縮しました。	4 月 1 日(水)～4 月 5 日(日)
オモシロ写真集	動物の骨格標本写真集や世界の少数民族の写真集など、面白い視点で撮られた写真集を集めて展示・貸出しを行いました。	5 月 19 日(火)～5 月 27 日(水)
仕事と未来	進路に悩む学生に向けて、進路に関する本、将来の仕事や生き方に関する本を集めて、展示・貸出しを行いました。	5 月 29 日(金)～6 月 24 日(水)
読書感想文におすすめの本	中学生・高校生におすすめの読書感想文課題図書と読書感想文の書き方の本を集めて、展示・貸出しを行いました。	6 月 26 日(金)～8 月 26 日(水)
ここではない何処か～ある日、異世界に迷い込んだ～	主人公が異世界に迷いこんでしまう小説や、神隠しなどの不思議な体験をまとめた本などを集めて展示・貸出しを行いました。	8 月 28 日(金)～9 月 22 日(火・祝)

挑戦！！（チャレンジ）	勉強・スポーツ・夢・新しいことへのチャレンジする小説や入門書を集めて展示・貸出しを行いました。	9月25日(金)～ 10月28日(水)
食について	「食について」というテーマで、断食、ダイエット食、介護食、フードロスなどの資料を集めて展示・貸出しを行いました。	10月30日(金)～ 11月25日(水)
本と魔法	魔導書や魔法道具についての本、本と魔法が関わっている小説を集めて展示・貸出しを行いました。	11月27日(金)～ 12月23日(水)
〇〇時代の物語	さまざまな時代の小説を集めて展示・貸出しを行いました。	12月25日(金)～ R3年1月27日(水)
ゲームで読書をしませんか？	県内のいくつかの図書館が合同で、ゲームをテーマにした一斉展示を行いました。	R3年2月3日(水)～ 3月31日(水)
鬼の物語	鬼について考察した本や、鬼が出てくる小説などを集めて展示・貸出しを行いました。	R3年1月29日(金)～ 3月24日(水)

エ 常設展示

展 示 名	内 容
SDGsってなんだろう	市内小中学校、特別支援学校が取り組む「ESD」や「SDGs」に関する資料を集めて展示・貸出しを行っています。
認知症コーナー 「認知症って？」	認知症にやさしい図書館＆博物館プロジェクトとして、認知症に関する医療、介護、体験記などの関連本、地域の認知症に関する情報や資料を集めて展示しています。
科学道 100 冊ジュニア	理化学研究所と、本の可能性を追求する編集工学研究所の共同プロジェクト「科学道 100 冊ジュニア」の展示・貸出しを行っています。
内田麟太郎さんコーナー	大牟田市出身の児童文学作家・内田麟太郎の作品や絵本の原画を展示しています。

②行 事

ア イベント的事業

事 業 名	内 容	と き	参加者
第4回大牟田市立図書館を使った調べる学習コンクール	「子どもたちだけでなく多くの市民が図書館を活用することによって生きる力を身につけていただきたい」ということから、自分の身近な疑問や課題を図書館、学校図書館を活用して調べまとめた作品を発表するコンクールを行いました。	募集期間 6月2日(火)～ 10月11日(日) 審査会 10月21日(水) 表彰式 11月15日(日)	応募数 130 点
新春運試し!!雑誌のふろくが当たる福引き大会	雑誌のふろくの活用、利用者への還元と読書推進のために、本を借りた利用者を対象に、福引き券を配布し、雑誌のふろくをプレゼントしました。	福引き券配布期間 R3年1月5日(火) ～10日(日) 福引き会 1月10日(日)	52 人

理科読 「空気～真空～」	科学の本への興味関心のきっかけづくりとして、理科実験と科学絵本の読み聞かせを組み合わせた「理科読」を開催しました。	R3年1月11日(月・祝)	児童のみ 13人
どうぶつおはなし会	大牟田市動物園共催で、どうぶつ絵本の読み聞かせと、大牟田市動物園の方による動物のおはなし会を開催しました。	R3年1月23日(土)	24人
バリアフリー映画上映会	視覚や聴覚に障害があっても同じように映画を楽しめるよう、字幕と音声ガイドを使用した映像作品の上映を行いました。	R3年2月14日(日)	12人
どうぶつ愛護おはなし会	大牟田市保健衛生課共催で、動物愛護に関する絵本の読み聞かせと、大牟田市保健衛生課の職員による動物愛護のおはなし会を開催しました。	R3年2月6日(土)	29人

イ 講座及び研修会

(ア) 第4回大牟田市立図書館を使った調べる学習コンクール応援教室

内 容	講 師	と き	受講者
図書館を使った調べ方を学ぼう	講師：図書館スタッフ	①7月19日(日) ②7月26日(日)	①3人 ②0人

(イ) 講座：野菜づくりのコツと裏ワザ

内 容	講 師	と き	受講者
野菜づくりのコツと裏ワザ	講師：佐藤圭 一般社団法人農山漁村文化協会	R3年3月24日(水)	19人

《スポーツ施設》〔スポーツ推進室〕

人々の健康に対する関心の高まりと共にスポーツ参加への関心も高く、身近に利用できる安全で快適性が高いスポーツ施設が望まれています。市民や利用者の健康保持と体力増進のためにスポーツ施設の充実を行い活用していきます。

1 体育施設の管理運営

体育施設 7 施設（市民体育館、延命球場、御大典記念グラウンド、武道場、笹林庭球コート、第二市民体育館、第二グラウンド）については、H 1 9 年度から指定管理者制度を導入し、R 2 年度から R 5 年度までの 4 年間は特定非営利活動法人大牟田市体育協会を指定管理者に指定しています。

同法人は、競技の専門知識・大会運営のノウハウ・各団体との連絡や協力体制を活かした各種スポーツ事業の実施により社会体育の普及促進に寄与しており、本市では、事業の計画的な実施状況や必要な保守点検業務の実施状況などについて、指定管理者からの聞き取りや月例報告書などによるモニタリングを行い、随時協議・連携を行っています。

延命プールについては、H 2 0 年度から指定管理者制度を導入しており、H 2 9 年度から R 3 年度までの 5 年間は特定非営利活動法人大牟田市体育協会を指定管理者に指定し、プール開場中は各種イベントの実施や施設の衛生面や利用者の安全管理に努めています。

2 利用状況

（単位：人）

区 分		H30 年度	R 元年度	R2 年度
延命球場		24,039	26,991	10,825
市民体育館		115,066	101,977	57,895
御大典記念グラウンド		60,700	54,875	31,164
延命プール		16,324	13,263	4,882
武道場		5,195	5,103	2,620
宅峰中学校弓道場（※1）		6,003	5,873	4,228
第二市民体育館		38,093	39,292	23,190
笹林庭球コート		3,971	3,696	3,182
第二グラウンド		9,395	9,363	7,853
諏訪公園テニスコート		14,548	13,654	10,217
大牟田港 緑地運動 公 園 （※2）	ソフトボール場	6,125	4,270	3,546
	野球場	8,211	6,987	4,575
	運動広場	22,432	18,909	18,532
	庭球場	16,492	15,484	13,407
甘木中学校夜間照明		1,123	1,113	577
手鎌北町公園テニスコート		365	332	201
合 計		348,082	321,182	196,894

※1 宅峰中学校弓道場については、一般利用分のみの数値を計上しています。

※2 大牟田港緑地運動公園は県営施設ですが、市が管理委託を行っており参考に記載しています。

3 施設の維持補修等

スポーツ施設を適切に管理運営するため、老朽化した箇所や設備について補修工事等を行い、利用者の利便性及び安全性の向上を図る工事を実施しました。

4 評価・課題

体育施設は、健康で豊かなスポーツライフを送るため、気軽に利用できる施設として親しめるよう利用者の拡大や事業の充実に努めています。

R2年度の施設利用者数は、すべての施設で前年度を下回りました。これは、新型コロナウイルス感染拡大と、令和2年7月豪雨の影響で利用者が減少したためと考えられます。

今後とも、利用者が気軽に利用できるよう施設情報等の提供を行うことにより、利用者数の増加に努めていきます。

市民体育館をはじめ、本市の体育施設は老朽化が著しいため、施設の機能維持や、利用者に対して安全性・快適性をどのように確保していくかが課題となっており、今後は、主に機能性・安全性の向上に係る工事や設備の更新を計画的に行っていきます。

〔指定・登録文化財一覧〕

(令和3年3月31日現在)

区 分		種 類	指定・登録年月日	文化財の名称	所 在 地
国指定	1	建 造 物 (重要文化財)	S 4 5 . 6 . 1 7	早鐘眼鏡橋 (附 旧水路 1 0 m)	早鐘町 1 2 8 番地
	2	〃	H 1 0 . 5 . 1	三井石炭鉱業株式会社 三池炭鉱宮原坑施設	宮原町 1 丁目 8 6 番地 3
	3	史 跡	S 3 6 . 4 . 5	萩ノ尾古墳	東萩尾町 2 8 9 番地 ほか
	4	〃	S 5 2 . 2 . 1 7	潜塚古墳	黄金町 1 丁目 4 6 9 番地 ほか
	5	〃	H 1 2 . 1 . 1 9 (追加指定 H25. 3. 27) (追加指定 H26. 10. 6) (追加指定 H28. 10. 3)	三井三池炭鉱跡 宮原坑跡 万田坑跡 専用鉄道敷跡 旧長崎税関三池税関支署	宮原町 1 丁目 8 6 番地 3 ほか 桜町 2 0 1 番地 2 ほか 新港町 1 番地 2 5
国登録	6	建 造 物	H 1 0 . 1 . 1 6	旧三池炭鉱宮浦坑煙突	西宮浦町 1 3 2 番地 8
	7	〃	H 1 2 . 1 2 . 4	旧三池炭鉱三川電鉄変電所 (信号電材株式会社本社)	新港町 1 番地 3 0
	8	〃	H 1 7 . 1 2 . 2 6	大牟田市役所本庁舎旧館	有明町 2 丁目 3 番地
	9	〃	R 3 . 2 . 4	古賀家住宅主屋	谷町 1 番地 1 2 ほか
県指定	10	史 跡	H 1 5 . 2 . 5	黒崎観世音塚古墳・経塚	岬 2 6 0 8 番地 2 ほか
	11	建 造 物	H 8 . 5 . 3 1	旧三池集治監外塀及び石垣	上官町 4 丁目 7 7 番地 三池工業高等学校
	12	〃	H 2 6 . 3 . 1 4	旧長崎税関三池税関支署	新港町 1 番地 2 5
	13	彫 刻	S 3 3 . 4 . 3	木造薬師如来坐像	大字今山 2 5 3 8 番地 普光寺境内
	14	〃	S 3 8 . 1 . 1 6	木造慈覚大師坐像	〃
	15	考古資料	S 3 2 . 8 . 1 3	黒崎山舟形石棺	宝坂町 2 丁目 2 番地 3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	16	〃	S 3 3 . 4 . 3	宮原石層塔残欠	宮原町 1 丁目 1 9 1 番地 駛馬天満宮境内
	17	〃	S 3 3 . 1 1 . 1 3	不動明王板碑 (附 梵字阿弥陀三尊板碑)	大字今山 2 5 3 8 番地 普光寺境内
	18	〃	S 3 3 . 1 1 . 1 3	石造六地藏	大字倉永 8 7 2 番地 法雲寺境内
	19	〃	S 3 3 . 1 1 . 1 3	南無阿弥陀仏名号板碑 (附 四面仏石塔残欠)	藤田町 7 4 3 番地 藤田天満宮境内
	20	〃	S 3 4 . 3 . 3 1	石甲	宝坂町 2 丁目 2 番地 3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館 (九州国立博物館へ貸出・展示)
	21	〃	S 3 6 . 4 . 1 8	今山普光寺ならびに定林寺石塔群	大字今山字本村、字大塔
	22	〃	S 3 7 . 4 . 1 9	宮原天満宮石幢残欠	宮原町 1 丁目 1 9 1 番地 駛馬天満宮境内
	23	〃	S 3 8 . 1 . 1 6	蜜柑山舟形石棺	宝坂町 2 丁目 2 番地 3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	24	〃	S 4 5 . 5 . 2	乙宮神社の石殿	宮坂町 2 0 番地 乙宮神社境内
	25	〃	S 5 7 . 4 . 1	倉永古墳壁画残欠	宝坂町 2 丁目 2 番地 3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	26	〃	S 5 7 . 4 . 1	高塚舟形石棺	宝坂町 2 丁目 2 番地 3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	27	〃	S 5 7 . 4 . 1	古城山家形石棺	宝坂町 2 丁目 2 番地 3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	28	有形民俗文化財	S 3 8 . 1 . 1 6	湯谷柳川領境界石	大字四ヶ字湯谷
	29	天然記念物	S 3 3 . 4 . 3	臥龍梅	大字今山 2 5 3 8 番地 普光寺境内
	30	〃	S 5 4 . 3 . 6	土穴のエノキ	大字櫛野字土穴 9 2 8 番地
	31	〃	H 1 8 . 3 . 3	米ノ山断層及び石炭層の露頭	大字櫛野字石坂 2 9 6 4 焼石山公園内
市指定	32	建 造 物	H 1 7 . 1 2 . 9	旧三井港倶楽部	西港町 2 丁目 6 番
	33	彫 刻	H 5 . 3 . 1 0	普光寺仁王像	大字今山 2 5 3 8 番地 普光寺堂内
	34	〃	H 1 2 . 4 . 1 4	教楽来天満神社石造狛犬	大字教楽来字権現堂 1 1 1 4 番地 教楽来天満神社
	35	考古資料	S 3 4 . 1 2 . 1 2	四方佛塔 (附 五輪塔地輪)	宝坂町 2 丁目 2 番地 3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	36	〃	S 4 2 . 1 0 . 1 1	大間劫月院跡の石造遺物	大字三池 2 2 6 番地
	37	〃	S 4 2 . 1 0 . 1 1	明正寺六地藏蔵幢	大字三池 7 7 9 番地 明正寺境内
	38	〃	S 5 0 . 3 . 1 8	定林寺中興開山塔	大字今山字大塔 定林寺境内
	39	〃	S 5 0 . 3 . 1 8	本村の四仏塔婆	大字勝立字本村
	40	〃	S 5 0 . 3 . 1 8	三池氏供養塔	大字今山字大塔 定林寺境内
	41	有形民俗文化財	S 3 7 . 7 . 1 6	焚石山鎮守社稻荷石祠	岬町 6 番地 2 3 大牟田市石炭産業科学館
	42	無形民俗文化財	S 5 0 . 3 . 1 8	岡天満宮祭礼行事	大字上内 岡・坂井地区
	43	無形民俗文化財	H 2 2 . 4 . 1 4	三池地区祇園社祭礼行事 “三池の大蛇山”	大字三池・大字新町
	44	史 跡	S 3 7 . 7 . 1 6	歴代三池藩主墓地	大字今山 2 5 8 5 番地 紹運寺境内ほか
	45	〃	S 3 8 . 7 . 1 1	上内立花内膳家墓地	大字上内字栴 2 2 4 8 番地
	46	天然記念物	S 4 1 . 9 . 3 0	上内八幡宮のイチイガシ	大字上内 1 5 2 8 番地 上内八幡宮境内
	47	〃	S 4 4 . 6 . 1 1	玉垂神社の大樟	大字岬 2 3 6 3 番地 玉垂神社境内
	48	〃	S 6 1 . 4 . 1 6	下正原のシラカシ	大字勝立字下正原 1 6 8 5 番地
	49	〃	S 6 1 . 4 . 1 6	一ノ尾のアラカシ	大字教楽来字一ノ尾 8 4 1 番地

令和3年度版（令和2年度実績）

大牟田の教育

令和3年10月

発行 大牟田市教育委員会
大牟田市
編集 大牟田市教育委員会事務局
総務課 教育みらい創造室

〒836 - 8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
電話 0944 - 41 - 2867 ファクシミリ 0944 - 41 - 2862
電子メール e-kyoikusoumu01@city.omuta.fukuoka.jp
大牟田市教育委員会ホームページ
<http://www.city.omuta.lg.jp/kyouiku/>